

行 財 政 委 員 会

《 令和7年12月11日 》

(案 件)

- 1 指定管理者制度評価委員会の評価結果について
- 2 令和7年度行政評価について
- 3 令和6年度決算地方公会計について
- 4 その他

令和 7 年 12 月 11 日

令和 7 年度泉佐野市指定管理者制度評価委員会の評価結果について

市においては、平成 18 年度から導入している指定管理者制度導入施設の適正かつ確実な管理運営を確保するとともに、指定管理者の業務改善及び利用者サービスの一層の向上に資するため、学識経験者、利用者代表などから構成する指定管理者制度評価委員会を設置し、利用者アンケートや事業報告に基づき、その運營業務、維持管理業務、収支状況などについて確認し、指定管理者が仕様書に適合した業務を行っているかどうかを評価いたしました。

1 開催日程

令和 7 年 10 月 28 日

2 委員会名簿

委員長 竹内 亮 (大阪体育大学教授)
 委員 向井 太志 (弁護士)
 委員 浅沼 由希子 (公認会計士)
 委員 西願 幸雄 (泉佐野市社会福祉協議会会長)
 委員 中藤 辰洋 (泉佐野市人権協会理事長)

3 指定管理者制度評価対象施設

| No | 担当課 | 施設名 | 指定管理者 | 選定方式 |
|----|---------|-----------------------|---|------|
| 1 | 人権推進課 | 泉佐野市立北部市民交流センター・北部公民館 | NPO 法人泉佐野市人権協会鶴原地域協議会、NPO 法人おおさか若者就労支援機構、社会福祉法人水平会事業共同体 | 公募 |
| 2 | 人権推進課 | 泉佐野市立南部市民交流センター | NPO 法人あゆみ、NPO 法人いきいきくらぶ事業体 | 公募 |
| 3 | 地域共生推進課 | 泉佐野市立鶴原共同浴場 | 鶴原東町会 | 公募 |
| 4 | 地域共生推進課 | 泉佐野市立樫井共同浴場 | 樫井西町会 | 公募 |

4 評価の基準等

評価は、仕様書に基づいた運営管理を行っているかどうかなどの観点から、以下の5段階評価により行いました。

- 5 特に優れている : 提案内容（仕様書、募集要項内容を含む）を上回った
- 4 優れている : 提案内容（仕様書、募集要項内容を含む）をやや上回った
- 3 良好 : 提案内容（仕様書、募集要項内容を含む）どおり
- 2 一部、良好でない : 提案内容（仕様書、募集要項内容を含む）をやや下回った
- 1 良好でない : 提案内容（仕様書、募集要項内容を含む）を下回った

5 委員会評価の概要について（委員長総括）

泉佐野市では、平成18年度に指定管理者制度が導入されて以来、令和7年度始めには複合施設を含めて24施設で指定管理者による管理運営が実施されるに至っております。本委員会では、これらの指定管理者である民間事業者が、施設設置の主旨目的を理解し、住民の財産たる各公共施設を適正かつ有効に管理しているのかどうかということについて、指定管理期間である概ね5年のうちに1回、客観的な視点で検証し評価を行うという役割を担っています。

今回評価対象となる施設は、複合施設を含めて4施設となっており、それぞれ3回目の外部評価となります。今回の対象施設の特徴として、市民交流センターや共同浴場はそれぞれの地域特性や成り立ちがあり、指定管理者も一般の民間企業ではなく、地域団体やNPO法人、社会福祉法人との共同体であるといった特徴があります。それぞれの評価を行うにあたり、一概には同じ基準で判断をすることが非常に難しい状況でした。今回はこれらの指定管理施設のそれぞれの特性を踏まえつつ、基本的には仕様書に基づいて指定管理者がその内容を満たしているか、さらにはそれを上回る実績となっているのかといったところについて検証し、①運営業務、②維持管理業務、③利用状況、④収入状況、⑤収支状況、⑥運営体制、⑦独自の取り組みの7項目に分けて評価を行った上で総合的な評価を行いました。委員の皆様からは様々なご指摘・ご意見を頂戴し、大変意義のある論議が行えたと思います。

委員会での評価の概要は次のとおりです。

①運営業務では、2施設で「優れている」、2施設で「良好」の評価となりました。「優れている」とされた2施設は、様々な自主事業や自主講座等を実施しており、アンケートでも高い満足度であった点を評価されました。また、本来の運営方法以外にも憩いの場としての活用方法などを検討してみてはどうかといった意見がありました。

②維持管理業務では、2施設で「優れている」、2施設で「良好」の評価となりました。すべての施設で適宜保守点検や修繕を行っており、仕様書に沿った維持管理が行われていると評価されま

した。その上で「優れている」とされた2施設では、仕様書に定めている業務以外にも独自で修繕を実施している点を評価されました。

③利用状況では、1施設で「特に優れている」、2施設で「優れている」、1施設で「良好」の評価となりました。「特に優れている」とされた1施設は、2万人以上利用者を増やしている点を評価されました。他3施設でも利用者数をコロナ禍前以上に増加させており、「良好」以上の評価とされました。今後は、多種多様なニーズに対応しつつ、各特性を活かした管理運営を行い、利用者を増加させることを期待するといった意見がありました。

④収入状況では、すべての施設で「良好」の評価となりました。多くの施設で利用者数の増加に伴い利用料金収入が増加しており、コロナ禍前と同程度であると考えられるため、「良好」との評価となりました。

⑤収支状況では、すべての施設で「良好」の評価となりました。利用料金収入の増加があったものの、人件費や物件費の増加に伴い、多くの施設で収支均衡となっており、「良好」との評価となりました。

⑥運営体制では、1施設で「優れている」、3施設で「良好」の評価となりました。「優れている」とされた1施設は、ローテーションを工夫し、効率的な配置を行い、利用者サービスの向上を図っている点を評価されました。その他の施設は、それぞれ仕様書に沿った適正な体制が整えられていて「良好」であるとの評価となりました。

⑦独自の取り組みでは、すべての施設で「優れている」の評価となりました。すべての施設において、就労支援・相談事業、イベント開催やこども園との連携等を通じて多数の地域連携や地域貢献を行っている点を評価されました。

総合評価で見ましても、4施設中2施設で「優れている」、2施設で「良好」となり、すべての施設が仕様書に沿った適正な管理運営が行えているという評価となりました。

以上が本委員会での評価結果の概要となります。

今回の対象施設では、利用者数の回復・増加や適切な管理運営を心掛ける努力が見受けられました。今回の評価結果については、市、指定管理者ともに真摯に受け止めていただき、相互理解のもと、市民の皆様のためにより良い施設運営に努めていかれることを切に願います。

最後になりますが、委員の皆様におかれましては、公私ともにご多忙の中、現地視察も含めて長時間にわたる委員会の運営にご理解・ご協力を賜りましたことに対しまして、深く感謝申し上げます。委員長総括とさせていただきます。

令和7年10月28日

泉佐野市指定管理者制度評価委員会委員長 竹内 亮

令和7年度指定管理者制度評価委員会評価一覧表

資料番号 1-2

| No | 担当課 | 施設名 | 指定管理者 | 評価区分 | 運営 業務 | 維持 管理 | 利用 状況 | 収入 状況 | 収支 状況 | 運営 体制 | 独自の 取組 | 総合評価 結果 | 総合評価所見 |
|----|---------|-----------------------|---|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|------------|--|
| 1 | 人権推進課 | 泉佐野市立北部市民交流センター・北部公民館 | NPO法人泉佐野市人権協会鶴原地域協議会、NPOおおさか若者就労支援機構、社会福祉法人水平会事業共同体 | 自己評価 | 4 | 3 | 5 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 適正で安定的な経営状況であり、利用者も増加しており、効果的に施設を運営できていると評価できる。 |
| | | | | 市の評価 | 4 | 3 | 5 | 3 | 3 | 3 | 4 | | |
| | | | | 委員会評価 | 4 | 3 | 5 | 3 | 3 | 3 | 4 | | |
| 2 | 人権推進課 | 泉佐野市立南部市民交流センター | NPO法人あゆみ、NPO法人いきいきくらぶ事業体 | 自己評価 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 3 | 適正で安定的な経営状況であり、地域に大きく貢献していると評価した。 |
| | | | | 市の評価 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | | |
| | | | | 委員会評価 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | | |
| 3 | 地域共生推進課 | 泉佐野市立鶴原共同浴場 | 鶴原東町会 | 自己評価 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 日ごろの保守点検に基づき適正な管理運営業務が実施されている。利用者数についても、増加傾向で推移しており、利用者の要望を活かし、良好な運営を行っている。また、こども園等への協力事業を実施するなど、地域と連携した運営に努めている。 |
| | | | | 市の評価 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 | 4 | | |
| | | | | 委員会評価 | 3 | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 | 4 | | |
| 4 | 地域共生推進課 | 泉佐野市立樫井共同浴場 | 樫井西町会 | 自己評価 | 3 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 日ごろの保守点検に基づき適正な管理運営業務が実施されており、利用者数については近年、増加傾向で推移している。令和6年度においては、一時的な臨時休業を実施したものの、収支黒字を継続している点は評価できる。また、付近の公共施設と連携し、良好な運営管理を行っている。 |
| | | | | 市の評価 | 3 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | | |
| | | | | 委員会評価 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 | | |

令和7年度 行政評価について

<資料一覧>

| | ページ |
|---------------------------------|-------|
| 資料1 令和7年度行政評価（施策・事務事業）集計表 | 2 |
| 資料2 令和7年度行政評価 施策評価一覧表 | 3 |
| 資料3 令和7年度行政評価 進捗経過 | 2 2 |
| 資料4 令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表 | 3 0 |
| 資料5 行政評価シートの見方について | 1 0 5 |

令和 7 年度行政評価（施策評価）集計表

| 施策評価（3次評価） | | | | | | | | | | |
|------------|--|------------|------------|-------------------|------------------------|------------------|----------------|----------|-----|----|
| | 評価 | 活力・ 賑わい | 子育て ・教育 | 自律・ 協働・ 多様性 | 支え合 い・社 ・福 健康 | 安全・ 防災・ 環境 | 快適・ 生活 盤 | 適い・ 基 | その他 | 計 |
| 進 捗 | A 計画以上に進捗しており、 このまま継続して施策を推 進する。 | 1 | 2 | | 2 | 2 | | | | 7 |
| | B ほぼ計画どおり進捗してお り、継続して施策を推進す る。 | 6 | 4 | 3 | 3 | 1 | 8 | | | 25 |
| | C 目標をやや下回る要因の分 析と施策の見直しを要す る。 | 4 | 6 | 2 | 1 | 4 | | | | 17 |
| | D 目標を大きく下回る要因の 分析と施策の見直しを要す る。 | | 2 | 3 | | | | | | 5 |
| 計 | | 11 | 14 | 8 | 6 | 7 | 8 | | | 54 |

| 事務事業評価 | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|------------|------------|-------------------|------------------------|------------------|----------------|----------|-----|---|
| | 評価 | 活力・ 賑わい | 子育て ・教育 | 自律・ 協働・ 多様性 | 支え合 い・社 ・福 健康 | 安全・ 防災・ 環境 | 快適・ 生活 盤 | 適い・ 基 | その他 | 計 |
| 方 向 性 | A 拡大 | 4 | 15 | 1 | 7 | | 2 | 13 | 42 | |
| | B 現状維持 | 34 | 73 | 19 | 45 | 20 | 12 | 60 | 263 | |
| | C 縮小 | | | | | | | | 0 | |
| | D 中止 | | | | | | | | 0 | |
| | E 段階的に廃止 | | | | | | | | 0 | |
| | F 即廃止（完了） | | | | | | | | 0 | |
| 計 | | 38 | 88 | 20 | 52 | 20 | 14 | 73 | 305 | |

（一部重複事業を含む）

令和7年度行政評価 施策評価一覧表
第1章 活力・賑わい

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベ ル (4) | 市民満足 度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) | | | |
|-----|-----------|----------------|-------------|-------------|------------------------|-----------|--|--------------------|------------------|------------------|--------|------|----|----|--------|--|----|---------|---------|
| | | | 満足度 (前回) | 重要度 (前回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | | | | | 達成度 | 1次 | 2次 | | | 3次 | | |
| 1 | 観光 | 観光産業の発展 P6 | 46.4 | 49.8 | 市内の年間宿泊者数(延べ数)(人)【暦年値】 | 2,060,000 | 1,737,140 | 84.33% | 7 | 3 | 2 | 2 | B | B | B | コロナ禍も落ち着いたところで、改めて目標(あるべき姿)を明確にしている。EBPMに基づいた施策の展開に努められたい。 | | | |
| | | | | | (38.4) | (35.8) | イベント集客数(市内で開催するもの)(人) | 176,000 | | | | | | | | | | 89,548 | 50.88% |
| | | | | | | | 観光交流プラザ「りんくうまち処」・観光おもてなしプラザ「泉佐野まち処」・泉佐野市観光情報センターの年間利用者数(人) | 113,600 | | | | | | | | | | 155,455 | 136.84% |
| | | | | | | | 市内の年間外国人宿泊者数(延べ数)(人)【暦年値】 | 1,460,000 | | | | | | | | | | 986,700 | 67.58% |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 観光 | 良好な景観の形成 P9 | 47.4 | 54.8 | 屋外広告物許可の申請件数(件) | 160 | 147 | 91.88% | 7 | 3 | 2 | 2 | B | B | B | 更なる重要度・満足度向上のために現状分析を行ない、何が不足しているかを明確にし、新たな指標の設定まで努められたい。 | | | |
| | | | (45.9) | (36.5) | | | | | | | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表
第1章 活力・賑わい

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベ ル (4) | 市民満足 度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------|------------------------|-------------|-------------|----------------------------------|--------|---|---------|--------------------|------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|---|---|---------|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | 満足度 (前回) | 重要度 (前回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 観光 | 歴史文化の保存活用 P12 | 51.8 | 43.1 | 史跡日根荘遺跡 の総指定箇所数 (箇所) | 16 | 16 | 100.00% | 7 | 4 | 2 | 1 | B | B | B | 文化財所有者・管理者の後継者不足・技術継承が問題とされるなか、それらを解消すべく具体的な対策を今後求められると想定されるので、先進的なアイデアだしに努められたい。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | (64.2) | (46.1) | 歴史的・文化的景 観の保護活用にか かる計画地区数 (箇所) | 1 | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 旧新川家住宅・旧 向井家住宅の入 館者数(延べ数) (人) | 8,634 | | | | | | | | 8,537 | | 98.88% | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 歴史館いずみさ のの利用者数(延 べ数)(人) | 8,900 | | | | | | | | 14,342 | | 161.15% | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 歴史館いずみさ のの利用者満足 度(%) | 97.5 | | | | | | | | 97.2 | | 99.69% | | | | | | | | | | | |
| 4 | 国際化 | 国際化の推進 P15 | 43.7 | 45.1 | 国際交流イベント 参加者数(延べ 数)(人) | 840 | 738 | 87.86% | 5 | 2 | 1 | 2 | C | C | C | 海外の友好都市が増加しており、今後より一層交流を深め、立地的なポテンシャルを最大限に活かし、国際化の推進に努められたい。 | 外国人人口、海外友好提携都市との交流事業が増え、国際化が着実に進む中、多文化共生に向けたまちづくりに取り組むこと。 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | (55.9) | (45.9) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 国際化 | りんくうタウンを生かした国際化 P18 | 52.8 | 54.6 | アイススケートリ ンク場の利用者 数(延べ数)(人) | 13,000 | 12,249 | 94.22% | 8 | 4 | 2 | 2 | B | B | B | コスト的にアイススケート場をどのように利用するかが鍵になると見受けられる。新たな目標・指標の設定に努められたい。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | (-) | (-) | 誘致活動に伴う MICE 開催(成功) 年間件数 | 3 | | | | | | | | | | 4 | 133.33% | | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表
第1章 活力・賑わい

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベ ル (4) | 市民満足 度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|--|-------------|-------------|---------------------|-------|--------|---------|--------------------|------------------|------------------|--------|------|----|----|---|----------------------------|
| | | | 満足度 (前回) | 重要度 (前回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1次 | 2次 | 3次 | | |
| 6 | 産業 | 農業振興 P21 | 66.5 | 54.6 | 農地利用権設定 面積(ha) | 21.2 | 51.4 | 242.45% | 9 | 4 | 3 | 2 | A | B | B | 市民満足度は高水準ではあるが、市としての課題認識は深刻で、KPIの成長率も伸び悩んでいる状況であると見受けられる。今後、市民と行政とで共通の課題認識をもてるよう、重要度の向上に努められたい。 | |
| | | | | | エコ農産物の栽培 面積(ha) | 42.7 | 39.9 | 93.44% | | | | | | | | | |
| | | | | | 認定農業者総数 (人) | 117 | 100 | 85.47% | | | | | | | | | |
| | | | | | 地域特産野菜の 作付面積(ha) | 226.0 | 173.0 | 76.55% | | | | | | | | | |
| | | | | | 遊休農地の面積 (ha) | 3.6 | 11.6 | 31.03% | | | | | | | | | |
| 7 | 産業 | 森林保全 P24 【R3年度議会評価対象施策】 ⇒拡充 | 50.1 | 49.5 | 保安林指定面積 (ha) | 660.0 | 654.2 | 99.12% | 7 | 3 | 2 | 2 | B | B | B | 満足度・重要度ともに中間水準である。今後、目先ではKPIの達成に努め、中・長期的には、具体的なニーズ対応に努められたい。 | |
| | | | | | 間伐促進面積 (ha) | 77.4 | 74.6 | 96.38% | | | | | | | | | |
| 8 | 産業 | 漁業振興 P27 【R3年度議会評価対象施策】 ⇒現状維持 | 56.0 | 49.9 | 漁獲量(t) | 817.0 | 845.90 | 103.54% | 9 | 4 | 3 | 2 | A | A | A | 漁獲量はかなり伸び、KPIも達成した。なぜ漁獲量が伸びたのかの要因を分析していただき、今後低迷した際の解決手段の一助として講じられるよう努められたい。 | |
| | | | | | 漁業就業者数 (人) | 176 | 183 | 103.98% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表
第1章 活力・賑わい

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レ ベル (4) | 市民満 足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|--------------------------|-------------|-------------|---|---------|---------|---------|--------------------|------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--|--|
| | | | 満足度 (前回) | 重要度 (前回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 9 | 産業 | 商工業振興 P30 | 37.7 | 56.2 | 泉佐野市中小企 業総合支援制度 利用事業者数 (件) | 73 | 24 | 32.88% | 5 | 1 | 1 | 3 | C | C | C | 昨今のスタートアップ企業の増加傾 向の波を取り入れるような施策を実 施し、新たな雇用の創出に努められ たい。 | 金利動向や他の利子補給などの状 況を踏まえた制度運用により、中小 企業者が求める支援の充実に努め、 物価高騰等を背景に低迷している景 気を打開し、経営や創業を支援する こと。 |
| | | | | | 経営相談者数 (件) | 78 | 53 | 67.95% | | | | | | | | | |
| | | | | | 認定創業支援事 業計画による支 援者数(件) | 88 | 65.0 | 73.86% | | | | | | | | | |
| | | | | | 地場産業支援セ ンター利用者 満足度(%) | 90.0 | 75.4 | 83.78% | | | | | | | | | |
| | | | | | 企業誘致条例に よる奨励金交付 件数(累計)(件) | 37 | 36 | 97.30% | | | | | | | | | |
| | | | | | 地域ポイント「さ のぼ」会員数(人) | 105,600 | 112,019 | 106.08% | | | | | | | | | |
| 10 | 産業 | 就労支援の推進 P33 | 35.8 | 53.9 | 就職困難者など の就労相談件数 (延べ数)(件) | 394 | 142 | 36.04% | 4 | 1 | 1 | 2 | D | C | C | いずみさのマッチボックスなど積極的 に事業に取り組み、また交付金を活 用するなど創意工夫されていること あり、今後の満足度評価の向上が期 待できる。 | 雇用情勢は悪くない中で、就職困難 者や外国人労働者の対応が課題で あるなか、引き続き就職困難者等 の就労支援に努めるとともに、いずみ さのマッチボックスなどの取り組みにつ いてのKPIの設定を検討すること。 |
| | | | | | 就労支援フェア参 加者数(人) | 200 | 77 | 38.50% | | | | | | | | | |
| | | | | | 就労相談を受け た就労希望者及 び市実施就労支 援事業参加者の うち就労に結びつ いた就労者数 (人) | 26 | 30 | 115.38% | | | | | | | | | |
| 11 | 産業 | 労働環境と勤労者福祉の 充実 P36 | 34.8 | 58.3 | 泉佐野・熊取・田 尻事業所人権連 絡会主催・共催の 研修会の参加会 員数(人) | 304 | 76 | 25.00% | 5 | 1 | 1 | 3 | C | C | C | 重要度が高く、市民の関心は高いと 見受けられる。改めて、なぜ目標を 達成できなかったかを追求してい たい。 | 雇用促進や労働環境の改善・向上 のため、労働者に対する様々な取 組みを進めているが、目標値に対す る結果が伴っていないことから、その 分析を行うこと。 |
| | | | | | 労働対策講座及 びシンポジウムの 参加者数(人) | 252 | 90 | 35.71% | | | | | | | | | |
| | | | | | 勤労者福祉共済 サービスセンター の会員数(人) | 720 | 672 | 93.33% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第2章 子育て・教育

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|-----------------------|-------------|-------------|-------------------------------|-------|-------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|---|--|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 12 | 子ども・子育て | 家庭と地域における子育て支援 P40 | 47.7 | 57.8 | ファミリー・サポート・センター会員活動回数(延べ数)(回) | 1,510 | 1,771 | 117.28% | 9 | 4 | 2 | 3 | A | A | A | 成果指標、重要度ともに高い水準であり、施策の結果が反映されていると見受けられる。満足度向上のため、市民ニーズを的確に捉え、そのニーズを満たす取り組みに努められたい。 | |
| | | | | | 地域子育て支援センター利用者数(延べ数)(組) | 5,036 | 8,121 | 161.26% | | | | | | | | | |
| | | | | | こども食堂に取り組む団体数(団体) | 12 | 13 | 108.33% | | | | | | | | | |
| 13 | 子ども・子育て | 教育・保育の充実 P43 | 49.3 | 61.6 | 泉佐野市内のこども園等利用待機児童数(人) | 0 | 0 | 100.00% | 9 | 4 | 2 | 3 | A | A | A | 成果指標、重要度ともに高い水準であり、施策の結果が反映されていると見受けられる。残すは満足度を向上させることであるが、単にポピュリズムに走るものではなく、目標(あるべき姿)を明確に、満足度の向上に努められたい。 | |
| | | | | | 留守家庭児童会(学童保育)の待機児童数(人) | 0 | 0 | 100.00% | | | | | | | | | |
| | | | | | 一時預かり(一時保育)の利用児童数(延べ数) | 1,553 | 1,908 | 122.86% | | | | | | | | | |
| | | | | | 児童発達支援センターの利用者数(月平均) | 1,147 | 1,238 | 107.93% | | | | | | | | | |
| | | | | | 放課後等デイサービスの利用者数(月平均) | 3,784 | 3,563 | 94.16% | | | | | | | | | |
| 14 | 子ども・子育て | ひとり親家庭への支援 P46 | 44.8 | 55.3 | 母子・父子自立支援員による相談対応件数(件) | 462 | 336 | 72.73% | 6 | 2 | 1 | 3 | C | C | C | ひとり親世帯が増加傾向であるため、重要度は高くなっていくことが想定される。付随して、経済的援助が必要となり財政的な負担が生じていくことも想定されており、自立に向けた支援に努められたい。 | ひとり親世帯が増加傾向にあり、しかも母子家庭の母の雇用形態は正職でないケースも多く、今後も自立に向けた支援が必要である。 |
| | | | | | 母子家庭等高等職業訓練促進給付金等支給件数(件) | 11 | 13 | 118.18% | | | | | | | | | |
| | | | | | 母子家庭等自立支援教育訓練給付金支給件数(件) | 6 | 3 | 50.00% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第2章 子育て・教育

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|----------------------------------|-------------|-------------|---|-------|-------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|--|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 15 | 子ども・子育て | 少子化対策の推進 P49 | 27.5 | 60.5 | 結婚新生活支援 事業補助金交付 件数(件) | 36 | 45 | 125.00% | 8 | 4 | 1 | 3 | B | C | C | 社会的な重要度は極めて高い。一方で、施策としての満足度は低いため、具体的な活動が求められる。他自治体の成功事例を分析するとともに、新たな指標を設定し、満足度の向上に努められたい。 | 経済的不安、子育てコストの高さ、仕事と子育ての両立の難しさなどが課題であり、その対応を検討すること。 |
| | | | (-) | (-) | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 子ども・子育て | 母子保健事業の推進・充実 P52 | 61.5 | 59.7 | 母子健康診査受 診率の平均(%) | 98.7 | 97.3 | 98.58% | 8 | 2 | 3 | 3 | B | B | B | 重要度も高く満足度も高い施策となっており、事業として成熟期であると見受けられる。残すところのKPIの達成に貪欲に努められたい。 | |
| | | | (65.3) | (59.1) | 麻しん・風しん (MR)予防接種の 接種率(%) | 95.0 | 92.3 | 97.16% | | | | | | | | | |
| | | | | | 母子保健相談件 数(妊産婦)(件) | 3,098 | 2,198 | 70.95% | | | | | | | | | |
| 17 | 学校教育 | 義務教育の充実 P55 | 50.7 | 58.2 | スクールソーシャ ルワーカー支援件 数(件) | 1,060 | 1,112 | 104.91% | 7 | 2 | 2 | 3 | B | B | B | 重要度が高い事業であるため、KPI・満足度の向上に努められたい。特に、国語(読解力)の学力については、R3実績と比べると、約20ポイント低下している。「なぜ」を突き詰めて改善の一手に努められたい。 | |
| | | 【R4年度議会評価対象事業 を含む施策】 ⇒現状維持 | (60.1) | (66.2) | 泉佐野市まなびん ぐサポーター派遣 人数(人) | 1,168 | 1,511 | 129.37% | | | | | | | | | |
| | | | | | 全国学力・学習状況 調査(小学校 算数) 結果の改善(正答率 全国平均値との差の 解消)(%) | 2.35 | 3.40 | 69.12% | | | | | | | | | |
| | | | | | 全国学力・学習状況 調査(小学校 国語) 結果の改善(正答率 全国平均値との差の 解消)(%) | 2.20 | 4.70 | 46.81% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第2章 子育て・教育

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|----------------|--------------------|--|--|-------|--------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|---|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 18 | 学校教育 | 地域連携の充実 P58 | 46.0 (59.8) | 51.1 (51.4) | フェスタ(各中学校 区の地域教育協 議会を中心として 開催される各種イ ベント)参加者数 (延べ数)(人) | 4,560 | 3,499 | 76.73% | 5 | 1 | 2 | 2 | C | C | C | 地域コミュニティが希薄化している 状況であるが、学校と地域における 接点の必要性を感じてきていること が見受けられる。新たな指標の設定 に努められたい。 | 地域と学校をつなぐ仕組みをさらに 作りつつ、恒例行事の参加者維持と いう成果を土台に、今後は土曜授業 などを活用した連携強化と新たな指 標の設定をすること。 |
| 19 | 学校教育 | 人権教育の充実 P61 | 44.9 (60.7) | 45.1 (55.9) | PTAにおける人権 に関する研修会 等を実施する総学 校数(校) | 18 | 18 | 100.00% | 6 | 3 | 1 | 2 | C | C | C | 重要度、満足度を高めるための根拠 分析に努められたい。 | 学校と地域全体で多様な視点を取り 入れた取り組みを推進し、支援を必 要とする児童生徒の増加に対応する ため、内容の充実と継続を図る。ま た、PTA研修会は100%実施でき ているものの、いじめに対する意識の課 題が残るため、人権意識のさらなる 向上に粘り強く取り組むこと。 |
| | | | | 全国学力・学習状 況調査の質問項 目「いじめは、どん な理由があ ってもいけない ことだと思います か」における肯定 的な回答 の割合(%) | 100 | 96.2 | 96.20% | | | | | | | | | | |
| 20 | 学校教育 | 学校給食の充実 P64 | 66.5 (-) | 54.1 (-) | 学校給食の地産 地消費率(%) | 41.0 | 43.1 | 105.00% | 8 | 3 | 3 | 2 | B | B | B | 市民満足度が高い水準であり、この レベルを維持するとともに、自校式に 移行していくが、財政的観点での取り 組みに努められたい。 | |
| | | | | 学校給食の残菜 率(%) | 4.5 | 5.52 | 81.60% | | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第2章 子育て・教育

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|---------------|------------------|-------------|-------------|---|---------|---------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|--|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 21 | 生涯学習・ス ポーツ | 生涯学習の推進 P67 | 54.2 | 47.2 | 生涯学習センター 及び各公民館の 利用者数(延べ 数)(人) | 164,500 | 163,143 | 99.18% | 7 | 3 | 2 | 2 | B | B | B | KPIの概ねが100%に近い水準である。今後も市民ニーズを的確に捉え、ニーズを満たす施策に努められたい。 | |
| | | | | | 各図書館施設に おける人口1人当 たりの個人年間貸 出冊数(冊) | 5.1 | 5.38 | 105.49% | | | | | | | | | |
| | | | | | 生涯学習センター 及び各公民館の 主催講座受講者 の満足度(%) | 100.0 | 96.4 | 96.40% | | | | | | | | | |
| | | | | | 各図書館施設の 来館者数(延べ 数)(人) | 220,000 | 216,818 | 98.55% | | | | | | | | | |
| 22 | 生涯学習・ス ポーツ | 生涯スポーツの振興 P70 | 47.7 | 41.2 | 健康増進センター 利用者数 (延べ数)(人) | 150,200 | 123,915 | 82.50% | 5 | 2 | 2 | 1 | C | C | C | 健康寿命の観点を意識に踏まえつつ、満足度・重要度の向上に努められたい。 | ライフスタイルの多様化により運動機会が減少する一方で、高まる市民のスポーツ・健康へのニーズに対応するため、魅力ある取り組みの提供が求められている。また、施設の計画的な改修による利用者ニーズへの対応と、高齢者・中高年層に特化した健康施策の推進(健康寿命の観点)を通じて、市民全体の満足度向上を図ること。 |
| | | | | | 市民総合体育館 利用者数 (延べ数)(人) | 130,200 | 79,320 | 60.92% | | | | | | | | | |
| | | | | | 健康増進センター 利用者満足度 (%) | 95.0 | 92.7 | 97.58% | | | | | | | | | |
| | | | | | 市民総合体育館 利用者満足度 (%) | 95.0 | 93.0 | 97.89% | | | | | | | | | |
| | | | | | 市民競技大会参 加者数(延べ数) (人) | 3,230 | 3,558 | 110.15% | | | | | | | | | |

第2章 子育て・教育

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|---------------|----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------------------|---------|---------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|---|--|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 23 | 生涯学習・ス ポーツ | 新たな文化創造・文化活動 の推進 P73 | 43.9 (44.2) | 35.4 (36.2) | 文化会館の貸館 利用率(%) | 79.0 | 59.1 | 74.81% | 4 | 2 | 1 | 1 | D | D | D | 満足度・重要度ともに低い水準で市 民の文化への意識が低迷している。 重要度も低いことから、文化意識の 高い市民の声を拾い、スポット的な 対応も視野に入れる必要があると考 える。 | 文化会館の利用満足度は高いもの の、貸館利用率の低さが課題。デジ タル技術や地域資源といった新しい 可能性を取り入れつつ、今後はアン ケート分析に基づき新たな文化活動 を導入することで、文化会館を文化 発信・醸成・市民活動支援の拠点と して強化すること。 |
| | | | | | 文化会館の利用 に関する満足度 (%) | 90.0 | 82.2 | 91.33% | | | | | | | | | |
| | | | | | 文化会館の自主 事業に対する満 足度(%) | 100.0 | 98.2 | 98.20% | | | | | | | | | |
| 24 | 生涯学習・ス ポーツ | 地域の社会教育活動への支 援 P76 | 49.8 (-) | 34.5 (-) | 学校施設の利用 回数(回) | 6,968 | 6,076 | 87.20% | 6 | 3 | 2 | 1 | C | C | C | 利用の少ない学校施設の利用数向 上に努めるとともに、その原因が何 によるものなのかの分析に努められ たい。 | 学校施設を地域住民に積極的に開 放し、利用促進のために周知を徹底 するとともに、利用状況を分析して利 用回数・利用者数の向上を図ること。 |
| | | | | | 学校施設の利用 者数(延べ数) (人) | 131,000 | 131,303 | 100.23% | | | | | | | | | |
| 25 | 生涯学習・ス ポーツ | 青少年の健全育成 P79 | 39.6 (47.8) | 36.4 (49.2) | 青少年健全育成 関係団体の事業 等参加者数(人) | 1,900 | 1,183 | 62.26% | 3 | 1 | 1 | 1 | D | D | D | KPI達成のために、何が必要かを分 析していただき、目標達成の結果に こだわっていただきたい。 | 少子化や参加者低迷を背景に、地 域・学校・家庭の連携を強化し、効果 的な活動指標と対策を見直すこと。 |
| | | | | | わくわくふれあい ハイキング参加者 数(人) | 300 | 214 | 71.33% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第3章 自律・協働・多様性

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-------------------|----------------------|--------------------|--------------------|--|---------|---------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|---|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 26 | 地域共助・地域コ ミュニティ | 地域コミュニティ活動の支援 P83 | 39.9 (48.0) | 26.4 (37.1) | 町会等への加入 率(%) | 66.0 | 52.9 | 80.15% | 5 | 3 | 1 | 1 | C | C | C | 行政需要は高いが、市民の関心度 は薄いことが見受けられる。その意 識の乖離を埋めるべく、今後の施策 の取り組みに努められたい。 | 地域活動の担い手不足と、行政需要 と市民の関心の乖離という厳しい現 状への対策を実施すること。 |
| | | | | | 町会等新規加入 に対する地域ポイ ント付与世帯数 (累計)(世帯) | 1,300 | 1,397 | 107.46% | | | | | | | | | |
| | | | | | 市民公益活動団 体登録団体数(団 体) | 37 | 36 | 97.30% | | | | | | | | | |
| 27 | 地域共助・地域コ ミュニティ | 地域防災の推進 P86 | 49.7 (47.0) | 58.8 (66.3) | 自主防災組織の 総数(団体) | 83 | 78 | 93.98% | 8 | 3 | 2 | 3 | B | B | B | H30に比べて市民満足度が低下した なか、今後大規模災害起こる可能性 が高いことをふまえ、KPIの数値向上 を貪欲に求められたい。 | |
| | | | | | 防災訓練の参加 人数 | 4,700 | 4,150 | 88.30% | | | | | | | | | |
| 28 | 地域共助・地域コ ミュニティ | 地域の防犯対策等の充実 P89 | 39.3 (50.2) | 62.2 (66.5) | 防犯灯のLED化 率(%) | 100.0 | 79.8 | 79.80% | 7 | 3 | 1 | 3 | B | B | B | 現状、何が市民ニーズとして足りてな いかを明確にするとともに、それを解 決するべく指標の設定に努められたい。 | |
| | | | | | 防犯カメラの設置 件数(台) | 489 | 524 | 107.16% | | | | | | | | | |
| 29 | 人権・ 多文化共生 | 人権尊重の社会づくり P92 | 45.2 (51.5) | 35.1 (39.7) | 人権啓発事業参 加者数(延べ数) (人) | 6,200 | 8,767 | 141.40% | 7 | 4 | 2 | 1 | B | B | B | 満足度・重要度ともに低めの水準で ある。重要度を上げる活動を実施し、 市民意識の変革に努められたい。 | |
| | | | | | 市民交流センター の利用者数(延べ 数)(人) | 214,000 | 231,166 | 108.02% | | | | | | | | | |
| | | | | | 市民交流センター の利用者満足度 (%) | 100.0 | 90.60 | 90.60% | | | | | | | | | |

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|--------------|--------------------------------|-------------|-------------|---|-------|-------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|---|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 30 | 人権・ 多文化共生 | 人権擁護の充実 P95 | 45.7 | 37.5 | 相談件数(件) | 2,800 | 751 | 26.82% | 4 | 1 | 2 | 1 | D | D | D | 重要度・満足度ともに低めの水準であり、市民の関心度が低いことが見受けられる。新たな指標の設定やKPIの達成に貪欲に努められたい。 | 差別や偏見への意識はあるものの、人権問題への具体的な関心度の低さを踏まえ、人権相談の周知・活用状況を評価するための指標を見直すこと。 |
| | | | (51.1) | (35.3) | 本人通知制度の 事前登録者数 (人) | 660 | 682 | 103.33% | | | | | | | | | |
| 31 | 人権・ 多文化共生 | 恒久平和精神の環境づくり P98 | 42.4 | 33.3 | 「平和を考えるつどい」への参加者 数(人) | 75 | 71 | 94.67% | 6 | 4 | 1 | 1 | C | C | C | 重要度・満足度ともに低い水準である。啓発の方法について創意工夫に努められたい。 | 市民の戦争や平和への関心が薄れている現状を踏まえ、平和啓発活動の継続的な実施に加え、その内容の工夫を通じて意識の向上を図ること。 |
| | | | (52.5) | (42.3) | 平和に関する視 聴覚教材の貸出 数(回) | 36 | 40.0 | 111.11% | | | | | | | | | |
| 32 | 人権・ 多文化共生 | 男女共同参画の実現に向けた 社会づくり P101 | 44.6 | 39.4 | いずみさの女性セ ンターの利用者数 (延べ数)(人) | 6,340 | 1,973 | 31.12% | 3 | 1 | 1 | 1 | D | D | D | 満足度・重要度ともに低い水準であり、一部のKPIも伸び悩んでいるように見受けられる。打開できるようなアイデア作りに努められたい。 | 教育、働き方、就労環境の改善を図りつつ、女性センターの利用促進と女性参画率向上に向けた抜本的な工夫を実施すること。 |
| | | | (47.4) | (41.4) | 政策及び方針決 定の場への女性 参画率(%) | 36.0 | 21.4 | 59.44% | | | | | | | | | |
| | | | | | 男女共同参画社 会啓発事業(講 座・イベントなど) 参加者数(延べ 数)(人) | 2,600 | 822 | 31.62% | | | | | | | | | |
| | | | | | 女性のための相 談件数(面接・電 話)(件) | 234 | 216 | 92.31% | | | | | | | | | |
| 33 | 人権・ 多文化共生 | 多文化共生の実現に向けた 社会づくり P104 | 40.3 | 33.1 | 在住外国人等へ の日本語教室の 開催数(回) | 1,720 | 906 | 52.67% | 3 | 1 | 1 | 1 | D | D | D | 外国人に対する意識を向上させる必要があるが、抜本的な改革が必要であると見受けられる。 | 国際化を進める市にとって、多文化共生は不可欠な課題であり、言語・文化の壁による行政サービス利用の困難を解消するため、指標の追加や市民の関心を高める取り組みを実施すること。 |
| | | | (-) | (-) | | | | | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第4章 支え合い・福祉・健康

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|------------------------------|-------------|-------------|--|--------|--------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|----------------------------|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 34 | 地域 福祉 | 地域で支え合う福祉の促進 P108 | 46.1 | 43.7 | 小地域ネットワー ク活動のグループ 支援回数(回) | 2,420 | 2,620 | 108.26% | 7 | 4 | 2 | 1 | B | B | B | 地域との関わりが希薄化している 中、KPIの達成度が高いことは評価 できる。重要度が低い現状を打開で きる活動に努められたい。 | |
| | | | (44.9) | (46.9) | 小地域ネットワー ク活動のボラン ティア総登録者数 (人) | 1,384 | 1,281 | 92.56% | | | | | | | | | |
| | | | | | 地域の絆づくり登 録制度同意登録 者数(人) | 3,160 | 3,147 | 99.59% | | | | | | | | | |
| 35 | 高齢者 福祉 | 地域で自分らしく暮らすため の支援 P111 | 46.4 | 50.1 | 総合相談支援事 業の件数(件) | 18,500 | 14,129 | 76.37% | 8 | 4 | 2 | 2 | B | B | B | 高齢者の増加に伴い、今後事業が 増加していくことが想定される。市民 ニーズを的確に捉え、KPIの達成に 努められたい。 | |
| | | | (46.1) | (59.9) | 音楽介護予防教 室(泉佐野元気 塾)参加者数(延 べ数)(人) | 12,218 | 15,081 | 123.43% | | | | | | | | | |
| | | | | | 認知症サポーター 数(人) | 8,150 | 8,169 | 100.23% | | | | | | | | | |
| 36 | 障害者 福祉 | 地域における自立した生活 への支援 P114 | 48.4 | 51.7 | 障害福祉(訪問 系)サービスの 支給決定者数 (人) | 735 | 770 | 104.76% | 8 | 4 | 2 | 2 | B | B | B | KPIの達成度も高く、順調に施策が進 んできていることが見受けられる。満 足度・重要度が低下しないよう、細や かな対応に努められたい。 | |
| | | | (55.7) | (58.2) | 相談支援事業の 利用者数(延べ 数)(人) | 12,600 | 12,549 | 99.60% | | | | | | | | | |
| | | | | | グループホームの 支給決定者数 (人) | 249 | 257 | 103.21% | | | | | | | | | |
| | | | | | 日中活動系サー ビスの利用者数 (人) | 769 | 827 | 107.54% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第4章 支え合い・福祉・健康

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|---|--------------------|--------------------|---------------------------------------|-------|-------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|---|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 37 | 健康・ 医療 | 健康づくり支援の充実 P117 【R2年度議会評価対象施策】 ⇒現状維持 | 56.3 (54.6) | 46.4 (49.7) | 健康マイレージの 参加者数(人) | 3,550 | 6,661 | 187.63% | 9 | 4 | 3 | 2 | A | A | A | 全体的に事業成果が高く、評価も高いように見受けられる。今後、定年延長等の社会動向が動いていく中、健康寿命がキーワードになると想定される。そのKPIの達成については、貪欲に求められたい。 | |
| | | | | | 健康教室等への 参加者数(延べ 数)(人) | 1,465 | 3,446 | 235.22% | | | | | | | | | |
| | | | | | 健康相談への参 加者数(人) | 588 | 106 | 18.03% | | | | | | | | | |
| | | | | | 健康寿命 男性 (歳) | 79.00 | 78.80 | 99.75% | | | | | | | | | |
| | | | | | 健康寿命 女性 (歳) | 83.00 | 82.80 | 99.76% | | | | | | | | | |
| 38 | 健康・ 医療 | 疾病の予防・早期発見の推 進 P120 | 65.7 (58.0) | 57.6 (61.3) | 特定健康診査の 受診率(国民健康 保険被保険者) (%) | 60.0 | 35.1 | 58.50% | 7 | 1 | 3 | 3 | B | C | C | KPIの数値が横ばい状態であることから、数値を向上させる具体的なアイデア作りに努められたい。 | インフルエンザや新型コロナウイルスなどのリスクが常在する中、健(検)診受診率の伸び悩みに対し、未受診者の詳細な分析、広報の工夫、そして健康マイレージのようなインセンティブ導入により、受診率向上のための具体的な対策を講じること。 |
| | | | | | がん検診の受診 率(%) | 37.0 | 8.8 | 23.78% | | | | | | | | | |
| | | | | | 高齢者インフルエ ンザ予防接種の 接種率(%) | 59.4 | 52.6 | 88.55% | | | | | | | | | |
| 39 | 健康・ 医療 | 医療体制の充実 P123 | 65.3 (64.5) | 72.0 (72.1) | 紹介率(りんくう総 合医療センター) (%) | 68.0 | 69.1 | 101.62% | 10 | 4 | 3 | 3 | A | A | A | 市民の満足度・重要度も高く、KPIも達成しており、事業として成熟している傾向にある。今後は、新たな目標・指標の設定に努められたい。 | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第5章 安全・防災・環境

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-------------------|------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------------|---------|---------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|---|---|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 40 | 消防・ 防災 | 消防・防災の充実 P127 | 65.5 (47.0) | 61.9 (66.3) | 防災メール総登録 件数(件) | 6,300 | 4,669 | 74.11% | 9 | 3 | 3 | 3 | A | A | A | 満足度・重要度がともに高い水準で あり、事業としての評価が高いと見受 けられる。更なる評価を得るため、課 題を解決し未達のKPIを達成すべくア クションを求められたい。 | |
| | | | | | 火災件数(件) | 20 | 21 | 95.24% | | | | | | | | | |
| | | | | | 災害時協力協定 の件数(件) | 125 | 147 | 117.60% | | | | | | | | | |
| 41 | 環境衛 生・環境 保全 | 環境衛生の充実 P130 | 62.7 (62.7) | 41.2 (41.9) | 区画墓地新規使 用許可数(件) | 15 | 4 | 26.67% | 5 | 1 | 3 | 1 | C | C | C | アンケートによる市民満足度は高い ことから、一定の評価を受けていると 考える。今後、区画墓地新規使用の ニーズが減っていくと想定されるた め、新たなニーズへの対応に努めら れたい。 | 多様な供養形態のニーズ動向を踏ま えた施策を講じ、市民の高い満足度 を維持するための方策を検討するこ と。 |
| | | | | | 合葬式墓地新規 使用許可数(件) | 250 | 275 | 110.0% | | | | | | | | | |
| | | | | | 合併処理浄化槽 設置整備事業補 助金交付件数 (件) | 15 | 2 | 13.3% | | | | | | | | | |
| 42 | 環境衛 生・環境 保全 | 環境保全の推進 P133 | 51.9 (46.6) | 50.8 (44.4) | 温室効果ガス(CO 2)の年間総排出 量(t) | 6,676.8 | 9,972.3 | 67.0% | 5 | 1 | 2 | 2 | C | C | C | 昨年度実績から、温室効果ガス総排 出量がかかなり上昇している。原因を 分析し次年度以降の対策に徹し、 KPIの達成に努められたい。 | 温暖化による温室効果ガス総排出量 の増加に対し、市民・企業・行政の環 境意識を向上させ、排出量増加の原 因分析に基づいた早急な対策を講じ ること。 |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第5章 安全・防災・環境

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|---------------|----------------------------|-------------|-------------|---------------------------------|---------|---------|--------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|---|----------------------------|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 43 | 環境衛生・環境 保全 | 循環型社会の構築 P136 | 53.8 | 46.9 | 一般廃棄物の再 資源化量(t) | 3,413.0 | 3,040.0 | 89.07% | 7 | 3 | 2 | 2 | B | B | B | 満足度と比較して、重要度が低いこ とから、施策の重要性啓発へのアプ ローチに努められたい。 | |
| | | | | | 容器包装プラス チックの再資源化 量(t) | 593.9 | 561.5 | 94.54% | | | | | | | | | |
| | | | | | カン・ビン・ペットボ トル本体の再資源 化量(t) | 1,050.8 | 1,010.0 | 96.12% | | | | | | | | | |
| 44 | 廃棄物 処理 | 安全で適切な廃棄物処理の 推進 P139 | 65.3 | 61.1 | 一日あたりのごみ の排出量(t) | 126.6 | 118.5 | 106.8% | 10 | 4 | 3 | 3 | A | A | A | 満足度・重要度ともに高い水準であ り、KPIも達成しており、施策としての 完成度が高い状況である。引き続 き、既存活動の維持に努められた い。 | |
| | | | | | 市民一日当たり のごみの排出量(g) | 1,278.1 | 1,195.8 | 106.9% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第5章 安全・防災・環境

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|--------------------|-------------|-------------|-------------------------------------|------------|------------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|--|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 45 | 生活 安全 | 消費生活の安定・向上 P142 | 54.4 | 45.1 | 消費生活相談件 数(件) | 640 | 826 | 77.48% | 5 | 1 | 2 | 2 | C | C | C | 最新情報の取得に努めるとともに、 更なる情報提供・啓発を行ない目標 値の達成に努めること。 | 物価上昇と所得格差による生活負担 が増加する中、悪徳商法の巧妙化に 対応するため、消費生活相談の更な る充実と、最新情報に基づく情報提 供・啓発を強化すること。 |
| | | | | | 消費者被害の契 約に係る解約 (除)成立金額 (円) | 15,800,000 | 22,811,000 | 69.26% | | | | | | | | | |
| | | | | | 消費者被害の 契約解約(除)成 立件数(件) | 90 | 118 | 76.27% | | | | | | | | | |
| 46 | 生活 安全 | 交通安全の推進 P145 | 52.4 | 54.7 | 交通事故による死 傷者数(人) | 525 | 570 | 92.11% | 6 | 2 | 2 | 2 | C | C | C | 概ねKPIの達成に近づいてきている。 ただし、安全運転講習会参加者数に ついては、伸び悩んでいるように見 受けられる。伸び悩みの原因を明確 にするとともに、具体的な対策を講じ られたい。 | 高齢者ドライバーの事故対策など交 通安全への関心が高まる中、安全運 転講習会の参加数増加に向けた地 域住民への周知と関心喚起を強化 すること。 |
| | | | | | 安全運転講習会 参加者数(人) | 336 | 155 | 46.13% | | | | | | | | | |
| | | | | | 交通安全教室参 加者数(人) | 3,600 | 3,102 | 86.17% | | | | | | | | | |
| | | | | | 放置自転車の撤 去件数(台) | 150 | 137 | 109.49% | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第6章 快適・憩い・生活基盤

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) |
|-----|-----------|---|-------------|-------------|-----------------------|---------|---------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|---|----------------------------|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | |
| 47 | 道路・ 交通 | 快適で住みやすいまちづくり P149 【R5年度事務事業議会評価対象(コミュニティバス事業、路線バス運賃事業)】 ⇒現状維持 | 51.0 | 58.5 | コミュニティバスの利用者数(延べ数)(人) | 205,000 | 181,455 | 88.51% | 7 | 2 | 3 | 2 | B | B | B | 重要度が高く、市民が必要としている施策だと見受けられる。一方で人件費の高騰による事業費の増加が想定されることから、KPIの達成について貪欲に求められたい。 | |
| | | | (45.1) | (53.6) | 観光周遊バスの利用者数(延べ数)(人) | 9,360 | 7,506 | 80.19% | | | | | | | | | |
| 48 | 道路・ 交通 | 道路環境の充実と道路網の整備 P152 | 46.1 | 55.8 | 橋梁の修繕済数(橋) | 16 | 16 | 100.00% | 9 | 4 | 3 | 2 | A | B | B | 市民満足度のギャップをうめる成果指標が必要であると考え。今後施設・インフラの老朽化に伴う破損は連続的に発生すると想定されるため、課題でも記載があるように、計画的な維持修繕・保守を実施し、事業費の平準化にも努められたい。 | |
| | | | (37.8) | (53.8) | 事業中の都市計画道路整備完了数(路線) | 2 | 2 | 100.00% | | | | | | | | | |
| 49 | 公園・ 緑地 | 憩いとレクリエーション空間の形成 P155 | 53.4 | 44.5 | 市民一人あたりの公園面積 (㎡) | 9.12 | 9.80 | 107.46% | 7 | 4 | 1 | 2 | B | B | B | 引き続き、公園・緑地の適切な維持管理に努めること。公園リニューアル等の老朽化対策について、新たな指標の追加等を検討すること。 | |
| | | | (49.7) | (41.9) | | | | | | | | | | | | | |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第6章 快適・憩い・生活基盤

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) | |
|-----|-----------|---|-------------|-------------|----------------------------|--------|--|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|---|----------------------------|---------|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | | |
| 50 | 上下 水道 | 安全で安定した水の供給 P158 | 88.5 | 70.3 | 水道管路の耐震 適合率(%) | 41.7 | 41.5 | 99.52% | 9 | 3 | 3 | 3 | A | B | B | 全体的に高い水準で評価を受けていると見受けられる。今後人手不足が確実に予想されるため、AI・デジタル技術の活用検討に努められたい。 | | |
| | | | | | (91.5) | (66.5) | 水道の有収率 (%) | 93.0 | | | | | | | | | 92.5 | 99.46% |
| 51 | 上下 水道 | 下水道整備の推進 P161 【R3年度議会評価対象施策】 ⇒拡充 | 48.1 | 65.4 | 下水道処理(汚 水)の人口普及率 (%) | 45.2 | 46.8 | 103.54% | 8 | 3 | 3 | 2 | B | B | B | 下水道汚水整備に係る人口普及率は、府内でも低水準であり、そこが満足度に反映されていると見受けられる。引き続き、向上に努められたい。 | | |
| | | | | | (35.6) | (62.7) | 下水道処理(汚 水)の水洗化率 (%) | 91.3 | | | | | | | | | 88.9 | 97.37% |
| | | | | | | | 生活排水処理率 (%) | 85.67 | | | | | | | | | 77.54 | 90.51% |
| 52 | 住宅 | 安全で快適な住宅地の整備 P164 | 41.6 | 49.3 | 民間建築物の耐 震化率(%) | 91.0 | 85.1 | 93.52% | 6 | 3 | 2 | 1 | C | B | B | 今後、空き家問題がより深刻化していくなか、移住・定住の観点からも創意工夫されていると見受けられ、向上が見込まれる。 | | |
| | | | | | (40.6) | (52.2) | 空き家バンクへの 登録物件数(累 計) | 223 | | | | | | | | | 168 | 75.34% |
| | | | | | | | 管理不全な空家 等に対して行った 助言・指導等によ り改善又は除却さ れた空家等件数 (累計) | 104 | | | | | | | | | 116 | 111.54% |

令和7年度行政評価 施策評価一覧表

第6章 快適・憩い・生活基盤

| No. | 節 (部門) | 施策名 | R5アンケート | | KPI(R6年) | | | | 担当課 評価点 (10) | 成果レベル (4) | 市民満足度 (3) | 重要度(3) | 総合評価 | | | 2次評価所見 | 3次評価所見 (2次評価と異なる場合など記載) | | |
|-----|-----------|--|-------------|-------------|---|--------|------------------|---------|--------------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--|----------------------------|------|---------|
| | | | 満足度(前 回) | 重要度(前 回) | 名称 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | | | | | 1 次 | 2 次 | 3 次 | | | | |
| 53 | 住宅 | 市営住宅の整備 P167 | 47.6 | 35.0 | エレベーター設置 によるバリアフ リーアクセス住戸 の割合(%) | 60.8 | 60.8 | 100.00% | 7 | 4 | 1 | 2 | B | B | B | 重要度が低く、満足度が高い状 況である。新たな目標・指標の設 定に努められたい。 | | | |
| | | | | | (50.4) | (30.6) | 浴室設置住宅の 割合(%) | 86.9 | | | | | | | | | | 86.9 | 100.00% |
| | | | | | | | 市営住宅耐震化 率(%) | 74.3 | | | | | | | | | | 74.3 | 100.00% |
| 54 | 市街地整 備 | 地域に合った都市機能の 形成、安全で快適なまちづ くりの推進 P170 | 45.2 | 44.3 | 地区計画等の活 用による駅周辺 の土地利用の誘 導件数(件) | 7 | 7 | 100.00% | 7 | 4 | 1 | 2 | B | B | B | 計画ありきの事業となるため、社 会情勢の変化に伴い、臨機応変 に対応しがたいことが想定され、 市民ニーズを拾いにくい事業で あることが見受けられる。重要 度・満足度の向上のため、積極 的なPR活動に努められたい。 | | | |
| | | | | | (40.3) | (34.3) | | | | | | | | | | | | | |

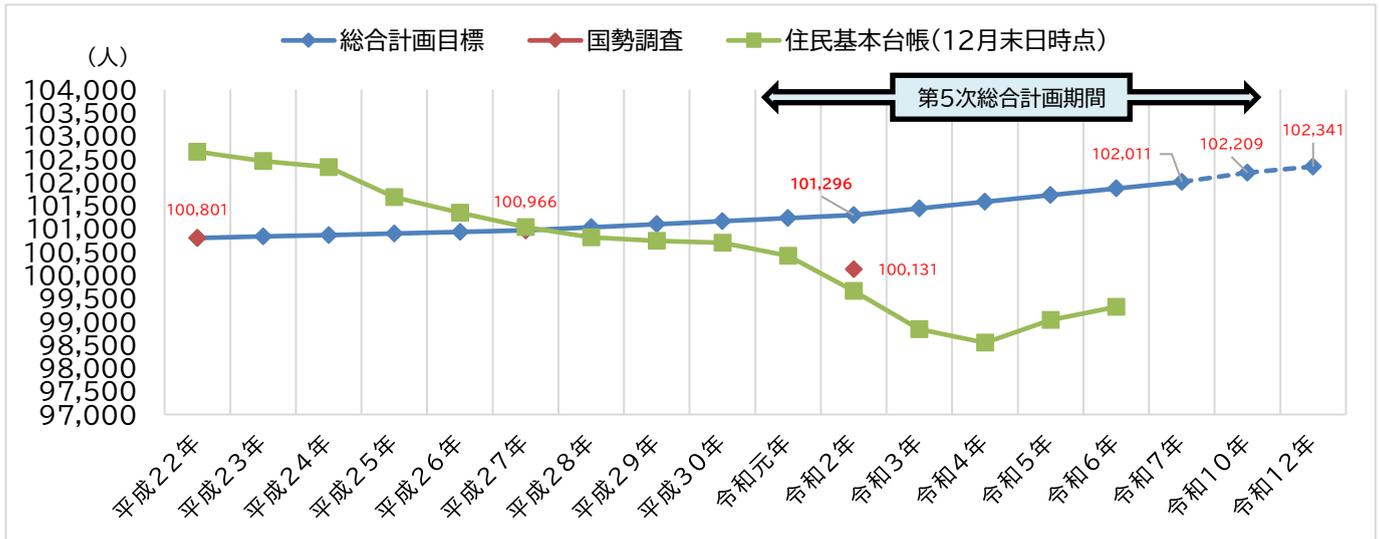
世界に羽ばたく国際都市 泉佐野

－ ひとを支え ひとを創り 賑わいを創る －

泉佐野市第5次総合計画 令和6年度の進捗状況

めざすべき将来像を見通し、本市のまちづくりを推進するための10年間の指針とした、第5次総合計画(計画期間:令和元年度(2019年度)～令和10年度(2028年度))の令和6年度の進捗状況等を取りまとめました。なお、第5次総合計画は、令和6年3月に基本計画を改訂し、指標についても追加等を行っています。

■ 人口の状況

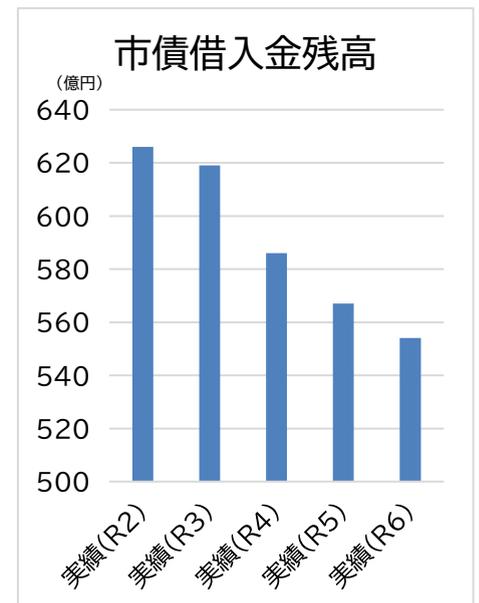
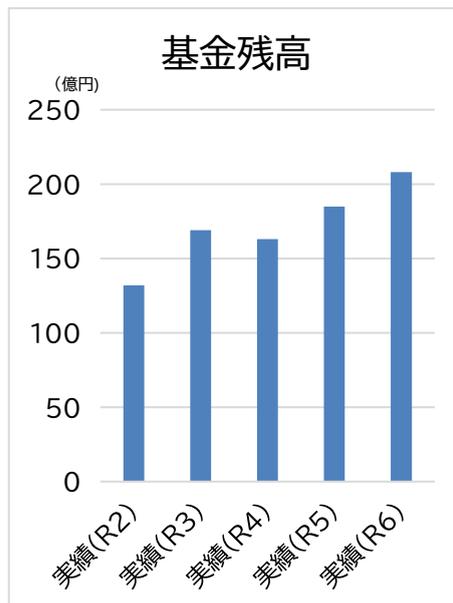
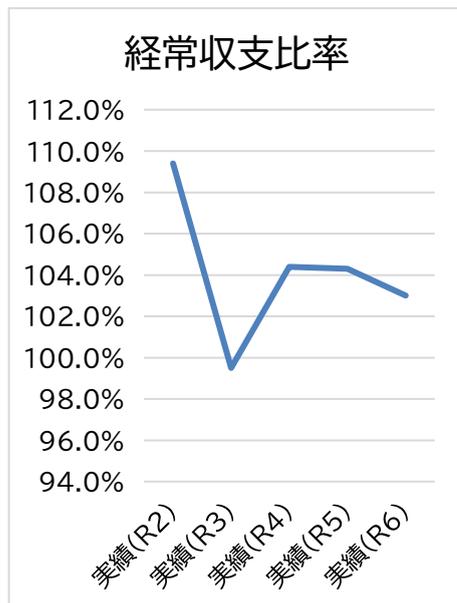


| 年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人口(人) | 101,035 | 100,813 | 100,739 | 100,702 | 100,420 | 99,661 | 98,840 | 98,545 | 99,037 | 99,318 |

※住民基本台帳人口ベース(12月末日時点)

■ 財政運営の状況

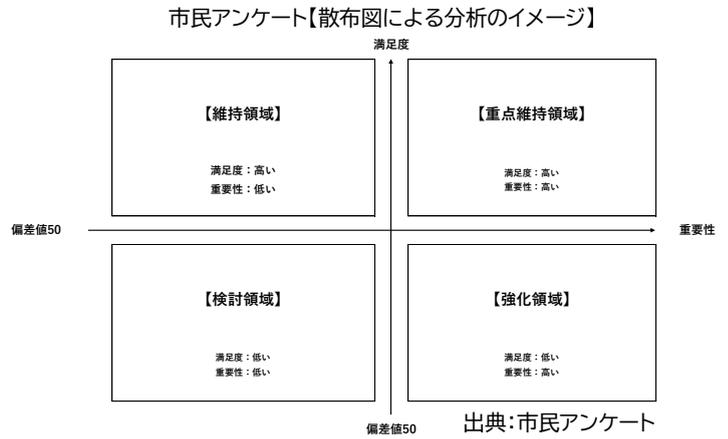
| 指標 | 実績(R2) | 実績(R3) | 実績(R4) | 実績(R5) | 実績(R6) |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経常収支比率 | 109.4% | 99.5% | 104.4% | 104.3% | 103.0% |
| 基金残高 | 132億円 | 169億円 | 163億円 | 185億円 | 208億円 |
| 市債借入金残高 | 626億円 | 619億円 | 586億円 | 567億円 | 554億円 |



施策指標の進捗

評価基準:

- A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
- B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
- C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
- D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

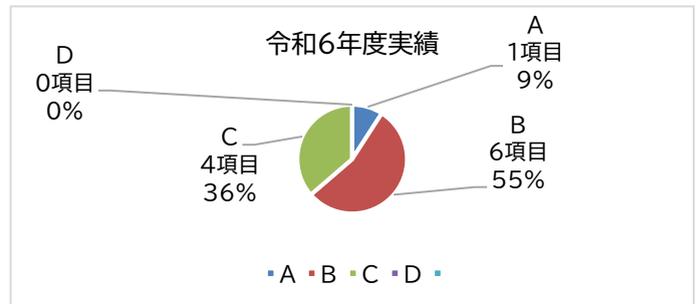
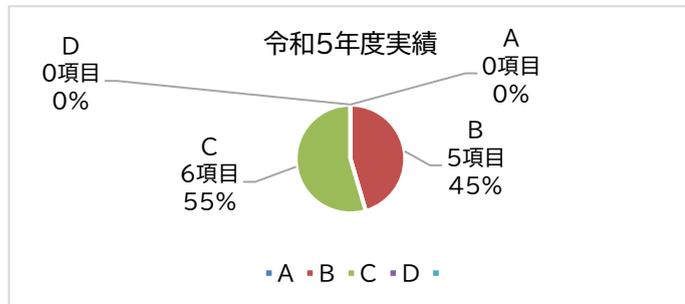


基本方向(政策)①【活力・賑わい】

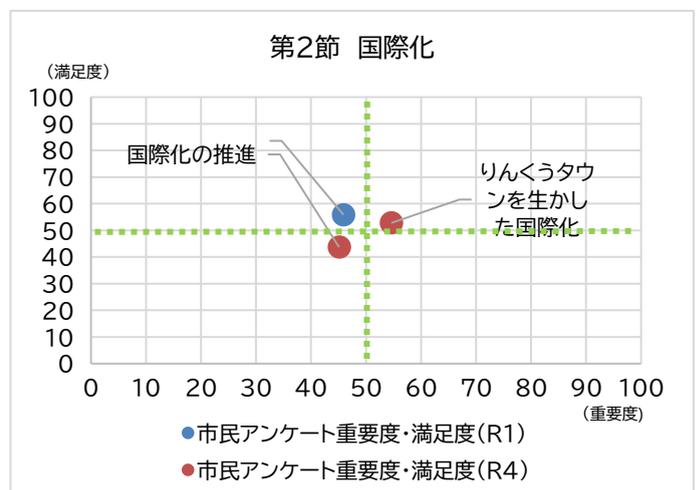
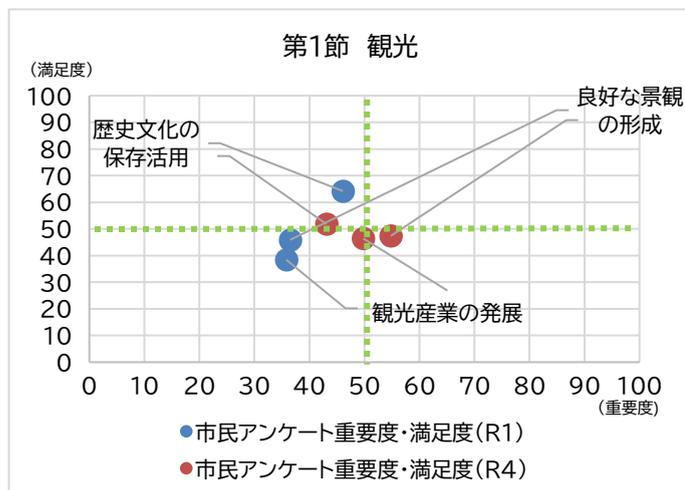
①地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり

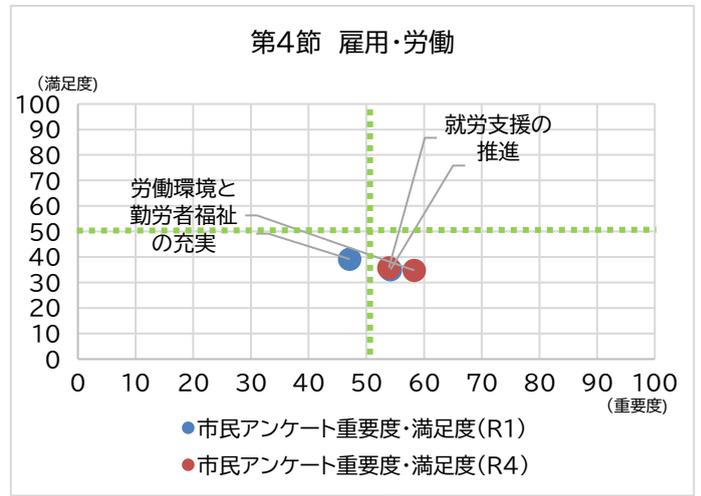
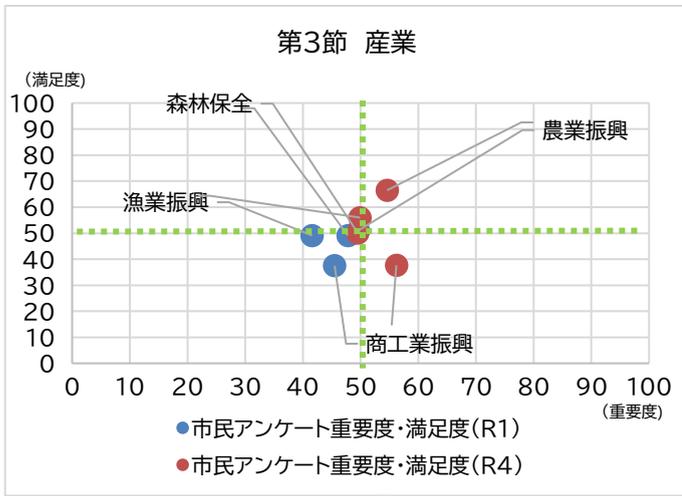
地場産業及びりんくうタウンを生かした取り組みにより、産業の活性化を図ります。農業、林業、漁業、商業、工業及び観光においては、関係団体との連携を強化し、加えて地域の歴史や文化財を活用した景観行政を推進し、ひとの流れを生み出すことで市全体が一体となった地域資源を生かした産業の振興を推進します。農業、漁業については、地産地消を推進し、担い手の育成・確保を図ります。また、特定の業種の好不況に左右されないよう、多様な業種の企業誘致を進めるとともに、地元企業の経営基盤の安定化や就労支援などの雇用促進から市民の安定した生活につながる取り組みを進めます。さらに、国内外からの観光客が増加する中、国際都市宣言に基づき、受け入れ体制の整備や友好都市交流を図り、市民レベルでの交流活動及び国際理解教育を推進することで地域の活性化に寄与するとともに、活力と賑わいのあるまちづくりを進めます。

| 第1節 観光 | 実績(R2) | 実績(R3) | 実績(R4) | 実績(R5) | 実績(R6) |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 施策1 観光産業の発展 | D | D | D | B | B |
| 施策2 良好な景観の形成 | B | B | C | B | B |
| 施策3 歴史文化の保存活用 | B | B | B | C | B |
| 第2節 国際化 | | | | | |
| 施策1 国際化の推進 | C | C | C | C | C |
| 施策2 りんくうタウンを生かした国際化 | C | C | D | C | B |
| 第3節 産業 | | | | | |
| 施策1 農業振興 | B | B | B | B | B |
| 施策2 森林保全 | B | B | B | B | B |
| 施策3 漁業振興 | B | B | B | B | A |
| 施策4 商工業振興 | B | B | C | C | C |
| 第4節 雇用・労働 | | | | | |
| 施策1 就労支援の推進 | C | C | C | C | C |
| 施策2 労働環境と勤労者福祉の充実 | C | C | C | C | C |



市民アンケート満足度・重要度(令和元年・令和4年比較)



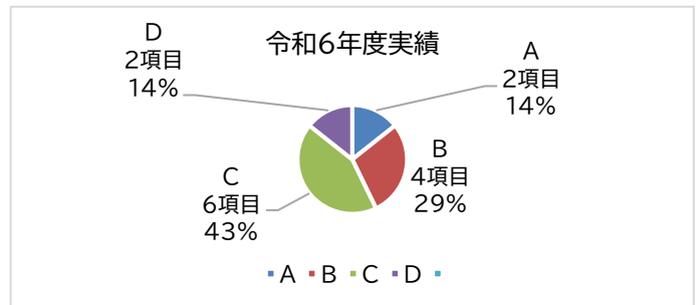
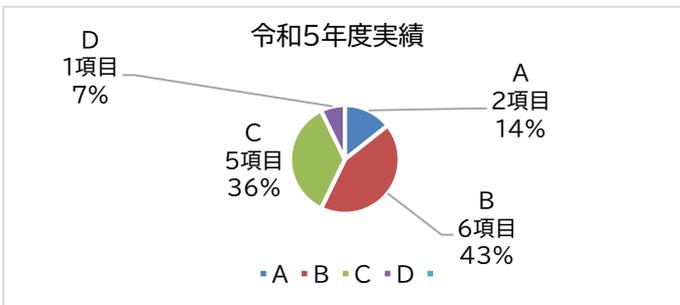


基本方向(政策)②【子育て・教育】

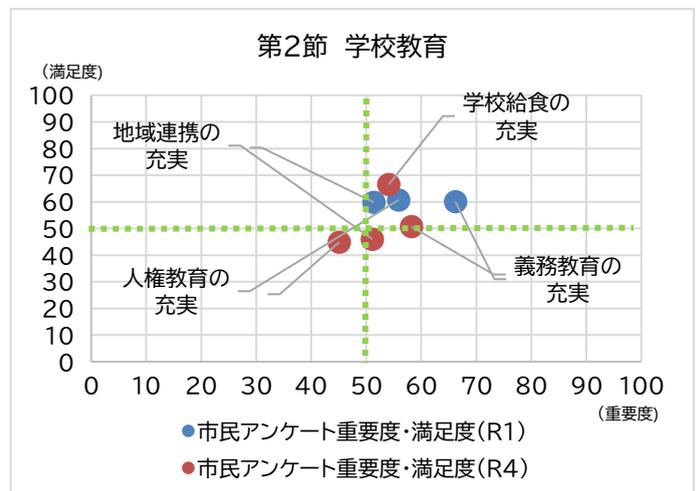
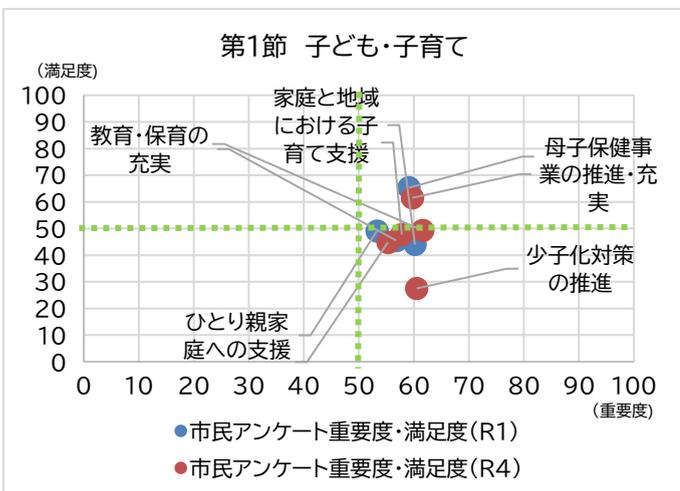
②ひとを豊かに育むまちづくり

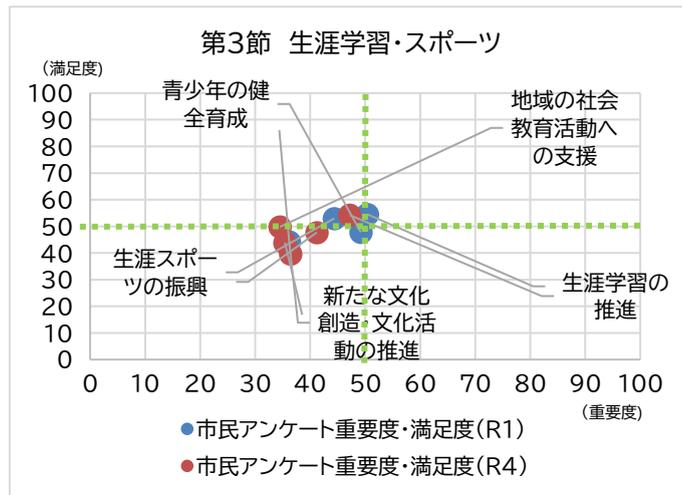
切れ目のない子育て支援を行い、とりわけ、若い世代が安心して子育てができるまちづくりを進めます。併せて、学校、園、地域、家庭の連携を一層深めることにより、それぞれの教育力のみならず、総合的な教育力を向上させるとともに、ソフト・ハードの両面において国際都市にふさわしい教育環境の整備を進めます。また、豊かな自然や多様な教育・文化施設のほか、関西国際空港をはじめとする地域資源を積極的に活用しながら、すべての市民が、自発的・継続的に生涯教育や文化活動、スポーツに親しむことができる魅力と活力のある文化的なまちづくりを進めます。

| 第1節 子ども・子育て | 実績(R2) | 実績(R3) | 実績(R4) | 実績(R5) | 実績(R6) |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 施策1 家庭と地域における子育て支援 | C | C | B | A | A |
| 施策2 教育・保育の充実 | A | A | A | A | A |
| 施策3 ひとり親家庭への支援 | B | A | A | B | C |
| 施策4 少子化対策の推進 | C | C | C | B | C |
| 施策5 母子保健事業の推進・充実 | B | B | B | B | B |
| 第2節 学校教育 | | | | | |
| 施策1 義務教育の充実 | B | B | B | B | B |
| 施策2 地域連携の充実 | B | B | B | C | C |
| 施策3 人権教育の充実 | B | B | B | C | C |
| 施策4 学校給食の充実 | B | C | C | B | B |
| 第3節 生涯学習・スポーツ | | | | | |
| 施策1 生涯学習の推進 | C | C | B | B | B |
| 施策2 生涯スポーツの振興 | C | C | B | C | C |
| 施策3 新たな文化創造・文化活動の推進 | D | C | C | C | D |
| 施策4 地域の社会教育活動への支援 | C | C | B | C | C |
| 施策5 青少年の健全育成 | C | C | C | D | D |



■市民アンケート満足度・重要度(令和元年・令和4年比較)



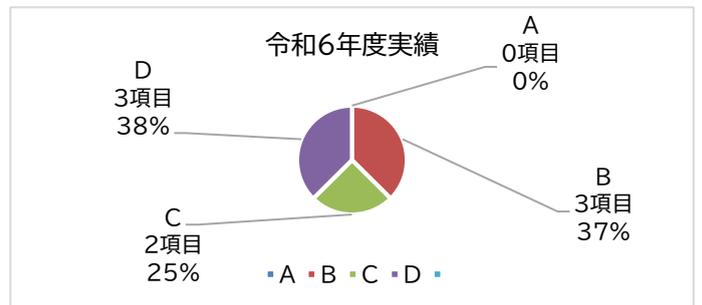
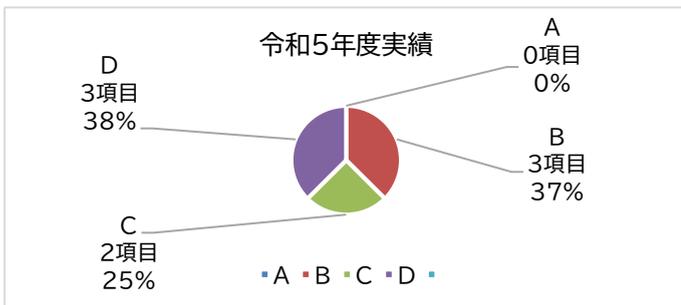


■ 基本方向(政策)③【自律・協働・多様性】

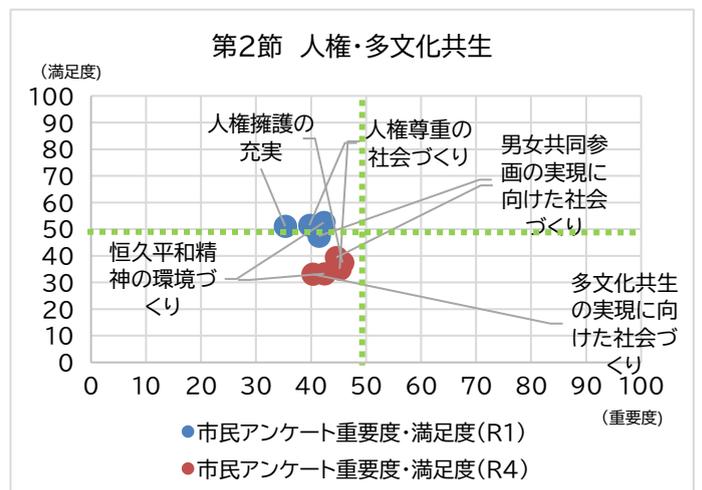
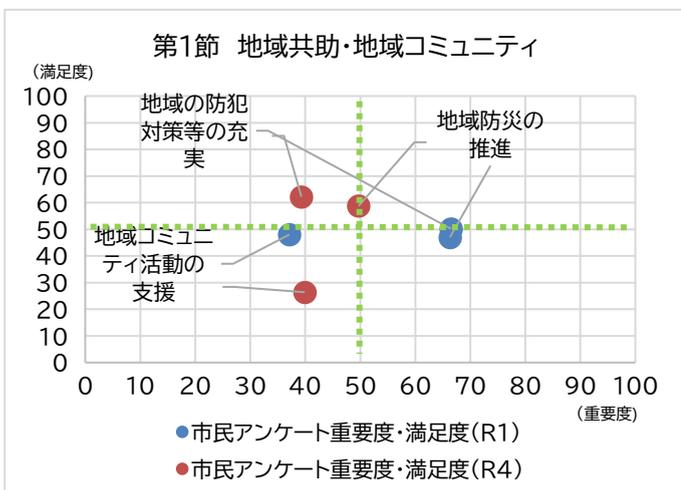
③市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり

すべての市民の人権が尊重される地域社会を築くため、その意識の高揚に努めるとともに、多文化共生社会及び男女共同参画社会の形成を進めてまいります。また、地域コミュニティの強化を図るため、防災や防犯対策などの推進並びに地域活動やサークル活動などのまちづくり活動への参加を促進し、市民一人ひとりが地域コミュニティの活性化に寄与することにより、すべてのひとが輝けるまちづくりを進めます。

| 第1節 地域共助・地域コミュニティ | 実績(R2) | 実績(R3) | 実績(R4) | 実績(R5) | 実績(R6) |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 施策1 地域コミュニティ活動の支援 | C | C | B | C | C |
| 施策2 地域防災の推進 | B | B | B | B | B |
| 施策3 地域の防犯対策等の充実 | B | B | B | B | B |
| 第2節 人権・多文化共生 | | | | | |
| 施策1 人権尊重の社会づくり | C | C | C | B | B |
| 施策2 人権擁護の充実 | C | C | B | D | D |
| 施策3 恒久平和精神の環境づくり | C | C | C | C | C |
| 施策4 男女共同参画の実現に向けた社会づくり | C | C | C | D | D |
| 施策5 多文化共生の実現に向けた社会づくり | D | D | D | D | D |



■市民アンケート満足度・重要度(令和元年・令和4年比較)

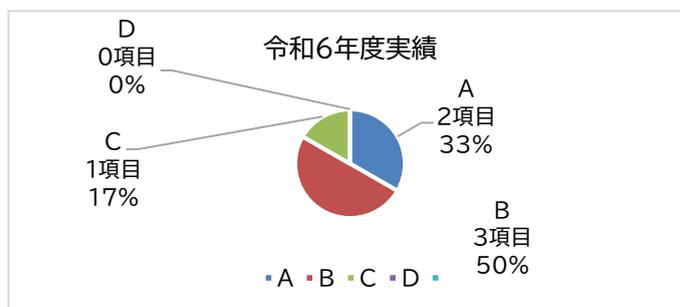
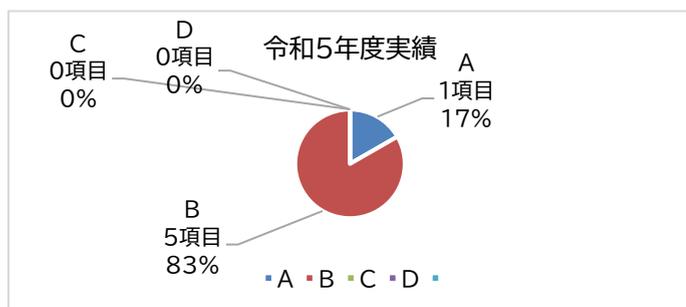


基本方向(政策)④【支え合い・福祉・健康】

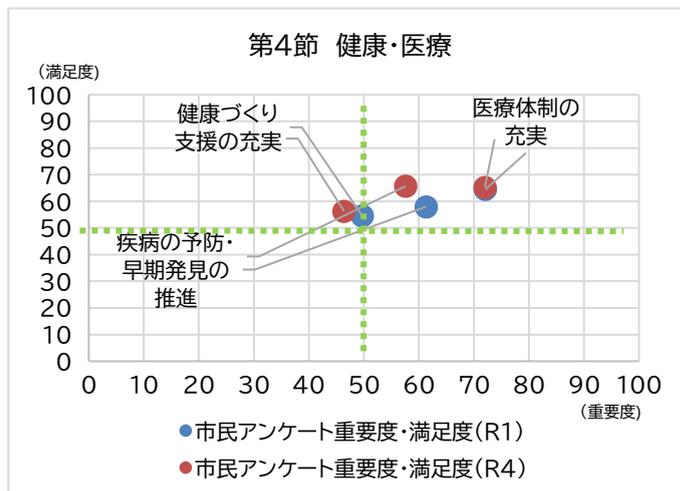
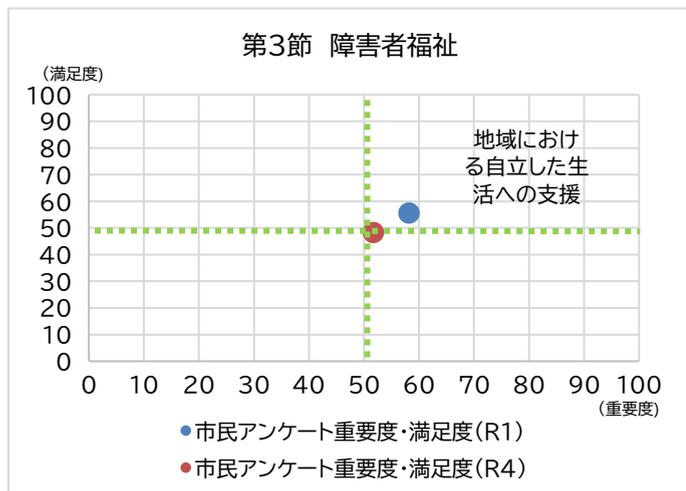
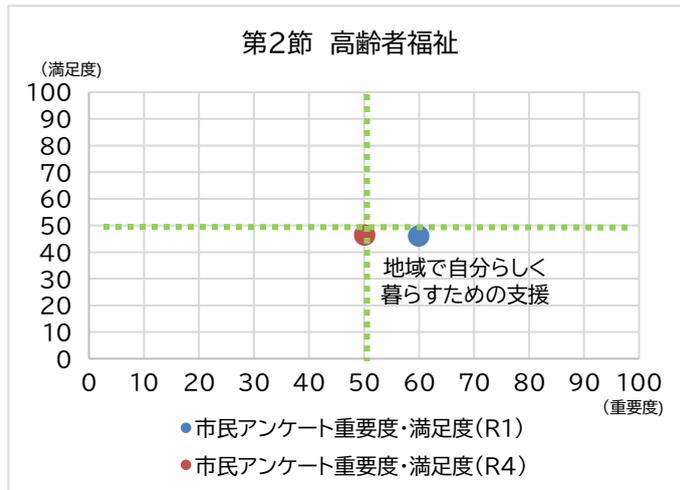
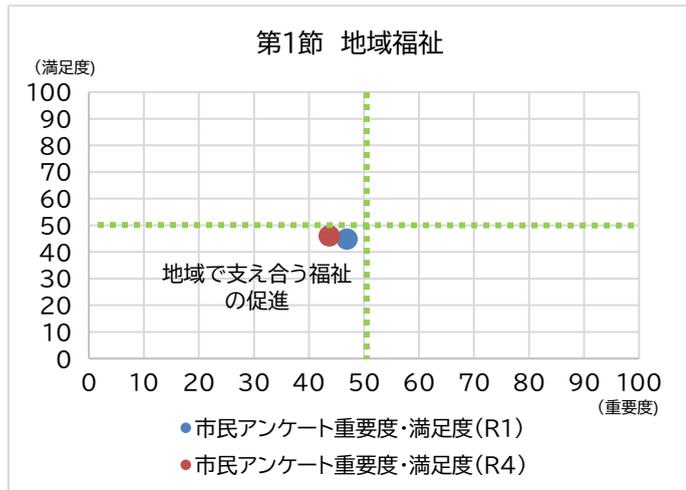
④すこやかで、ひとつながり支え合うまちづくり

高齢者や障害のある人をはじめすべての要介護者の自立支援を進め、保健、医療及び福祉の連携を図り、すこやかでひとつながり支え合う地域共生社会づくりを進めます。また、「健康都市宣言」に基づき、健康づくりの支援や疾病の予防、地域医療の充実など、市民一人ひとりが主役となり、健康寿命の延伸を図る環境づくりを進めます。

| | 実績(R2) | 実績(R3) | 実績(R4) | 実績(R5) | 実績(R6) |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 第1節 地域福祉 | | | | | |
| 施策1 地域で支え合う福祉の促進 | C | C | B | B | B |
| 第2節 高齢者福祉 | | | | | |
| 施策1 地域で自分らしく暮らすための支援 | C | B | A | B | B |
| 第3節 障害者福祉 | | | | | |
| 施策1 地域における自立した生活への支援 | A | A | A | B | B |
| 第4節 健康・医療 | | | | | |
| 施策1 健康づくり支援の充実 | B | B | B | B | A |
| 施策2 疾病の予防・早期発見の推進 | B | B | B | B | C |
| 施策3 医療体制の充実 | A | A | A | A | A |



■市民アンケート満足度・重要度(令和元年・令和4年比較)

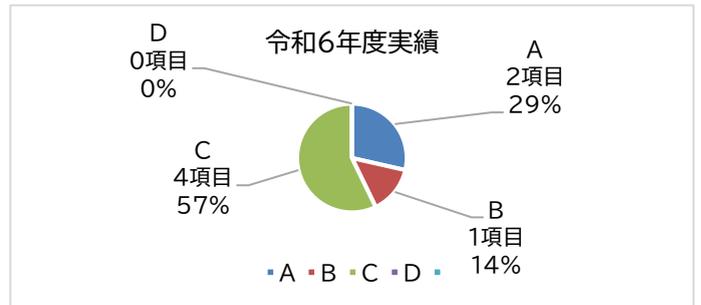
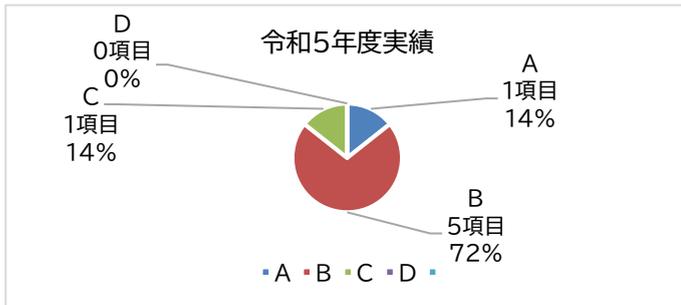


基本方向(政策)⑤【安全・防災・環境】

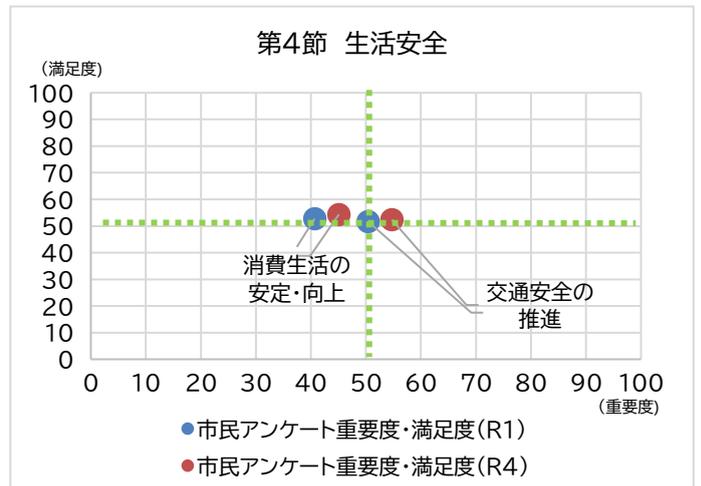
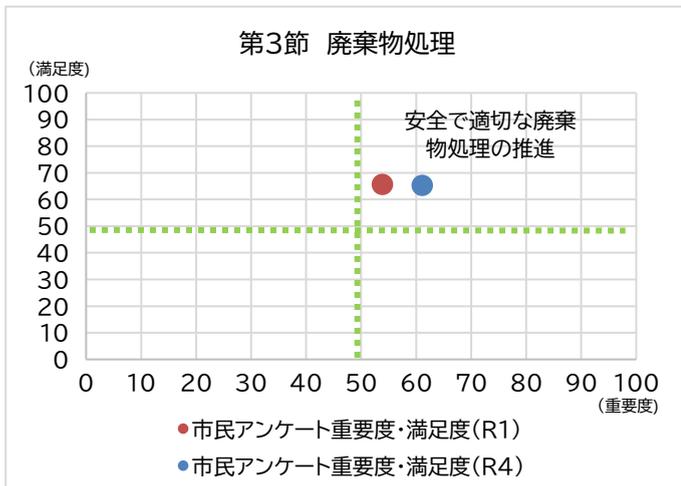
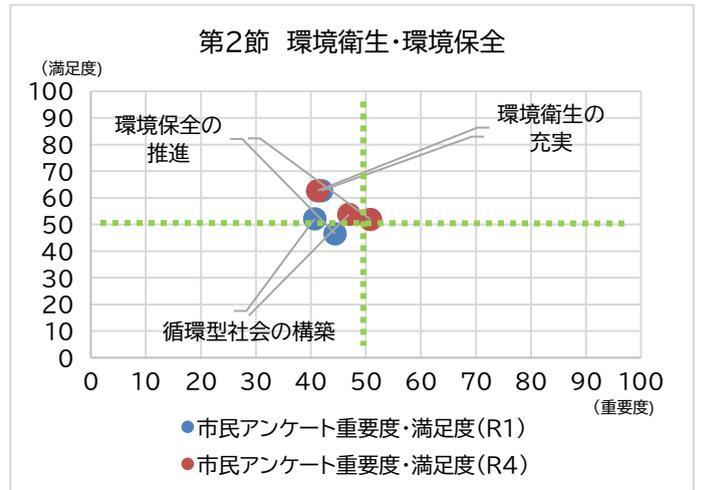
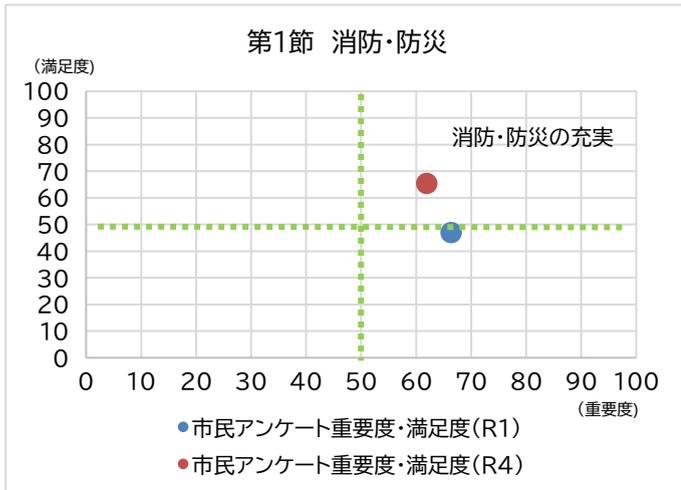
⑤安全でひとと環境にやさしいまちづくり

防災に関する様々な分野の施策を総合的かつ計画的に進め、災害に強い強靱なまちづくりを進めます。また、豊かで恵まれた自然環境を背景とした地域の人々のつながりを生かした環境対策、生活の多様化に伴う消費生活対策や交通安全対策の推進に取り組み、安全で環境にやさしいまちづくりを進めます。

| 第1節 消防・防災 | 実績(R2) | 実績(R3) | 実績(R4) | 実績(R5) | 実績(R6) |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 施策1 消防・防災の充実 | A | A | A | A | A |
| 第2節 環境衛生・環境保全 | | | | | |
| 施策1 環境衛生の充実 | B | B | B | B | C |
| 施策2 環境保全の推進 | A | B | B | B | C |
| 施策3 循環型社会の構築 | B | B | B | B | B |
| 第3節 廃棄物処理 | | | | | |
| 施策1 安全で適切な廃棄物処理の推進 | B | B | B | B | A |
| 第4節 生活安全 | | | | | |
| 施策1 消費生活の安定・向上 | B | C | C | C | C |
| 施策2 交通安全の推進 | B | B | B | B | C |



■市民アンケート満足度・重要度(令和元年・令和4年比較)

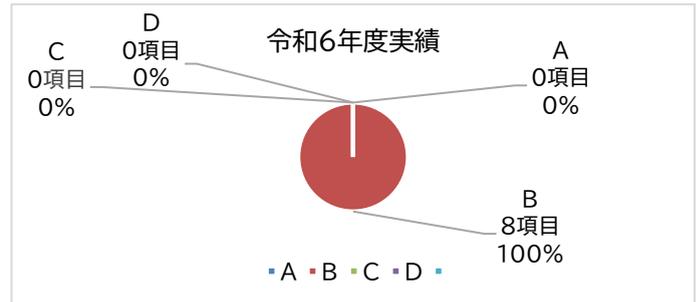
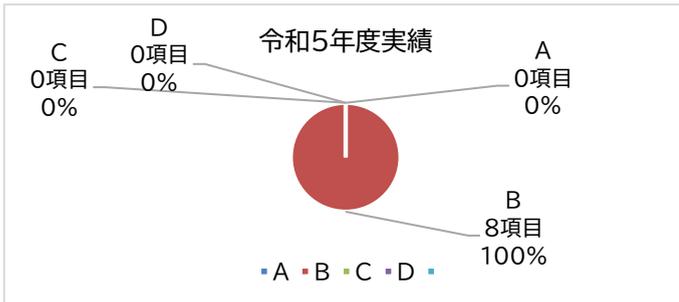


基本方向(政策)⑥【快適・憩い・生活基盤】

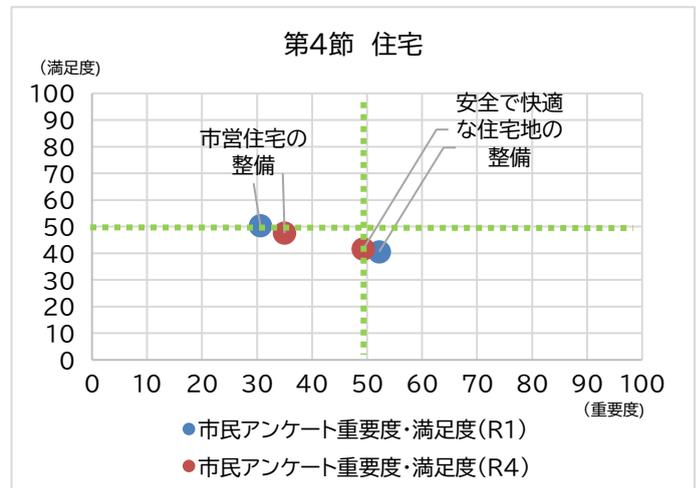
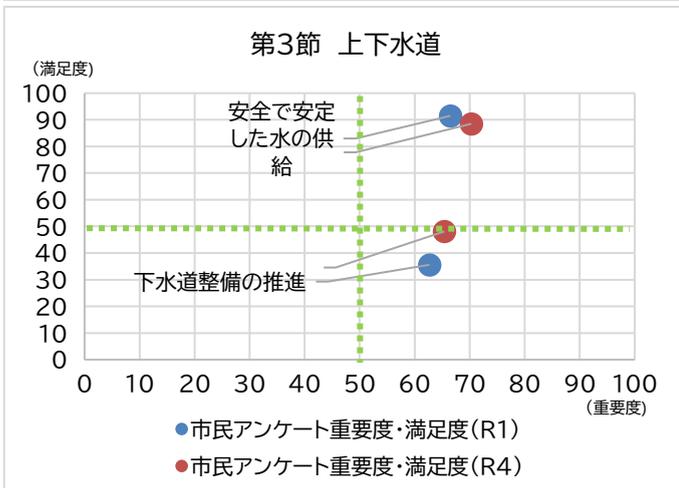
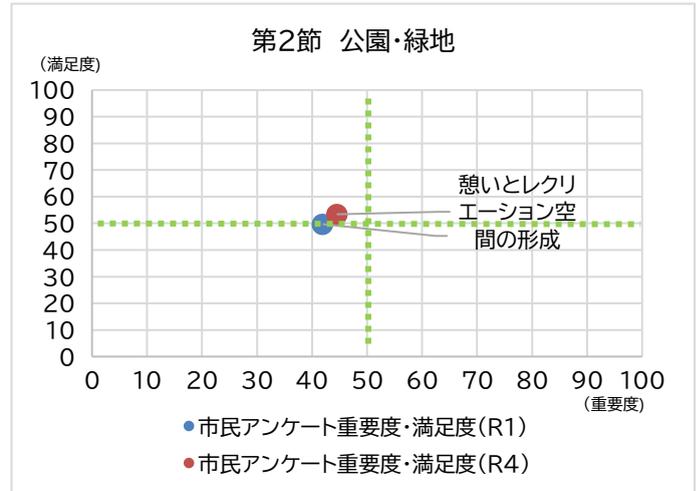
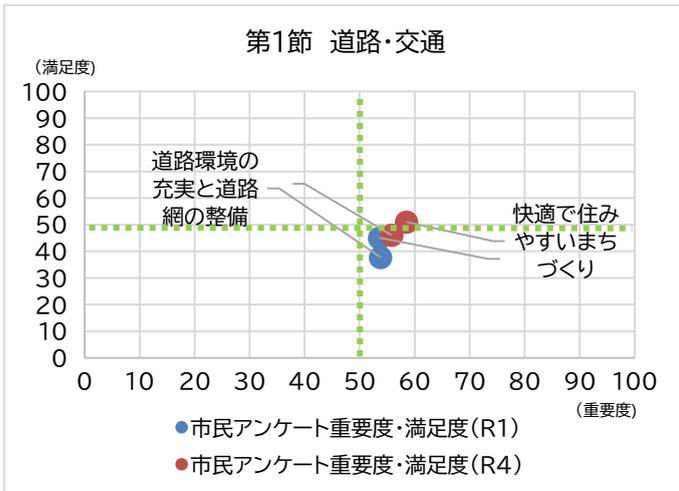
⑥快適で住みやすいまちづくり

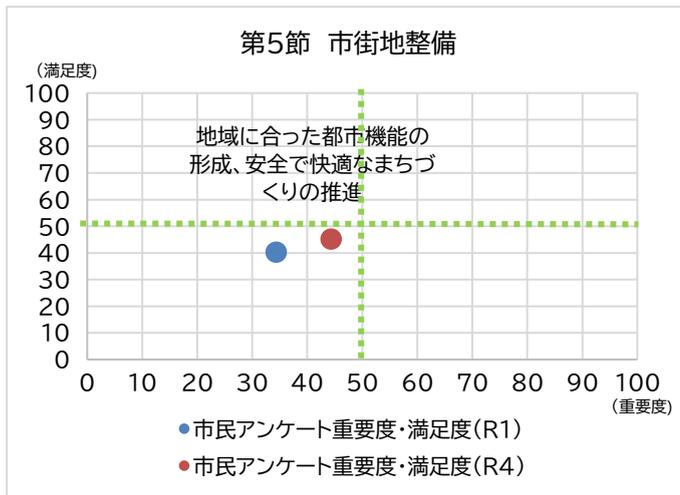
道路や上下水道、公園などの都市基盤整備の充実とともに、耐震化、長寿命化を図り、災害に強いまちづくりを進めます。また、地域特性を踏まえた都市機能の形成やバリアフリー化の推進、民間建築物の耐震化や空き家対策などを進めることで、市民が安心して快適に暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。

| | 実績(R2) | 実績(R3) | 実績(R4) | 実績(R5) | 実績(R6) |
|----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 第1節 道路・交通 | | | | | |
| 施策1 快適で住みやすいまちづくり | B | B | A | B | B |
| 施策2 道路環境の充実と道路網の整備 | B | B | B | B | B |
| 第2節 公園・緑地 | | | | | |
| 施策1 憩いとレクリエーション空間の形成 | B | B | B | B | B |
| 第3節 上下水道 | | | | | |
| 施策1 安全で安定した水の供給 | B | B | B | B | B |
| 施策2 下水道整備の推進 | B | B | B | B | B |
| 第4節 住宅 | | | | | |
| 施策1 安全で快適な住宅地の整備 | B | B | B | B | B |
| 施策2 市営住宅の整備 | B | B | B | B | B |
| 第5節 市街地整備 | | | | | |
| 施策1 地域に合った都市機能の形成、安全で快適なまちづくりの推進 | B | B | B | B | B |



■市民アンケート満足度・重要度(令和元年・令和4年比較)





総括

令和7年度の泉佐野市行政評価は、全体として以下の特徴が挙げられます。

【人口の持ち直しと財政の健全化】

人口が2年連続で増加に転じており、財政面でも基金残高の増加と市債残高の減少が見られますが、一方で経常収支比率が100%を超えており、財政構造の硬直化が懸念されます。

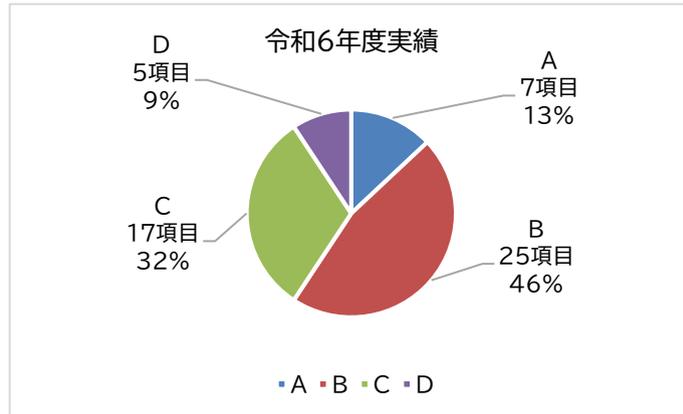
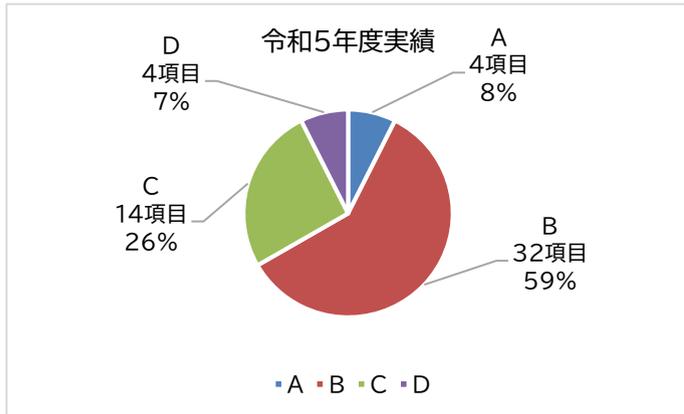
【成果が際立つ分野】

「子育て・教育」の核となる施策(施策1・2)と、「安全・防災・環境」の「消防・防災」「廃棄物処理」、「支え合い・福祉・健康」の「医療体制の充実」「健康づくり支援」はA評価を達成しており、市民の安全・安心と次世代育成に関わる分野で高い進捗が見られます。

【喫緊の課題分野】

「自律・協働・多様性」(人権、男女共同参画、多文化共生)の分野や「子育て・教育」の「青少年健全育成」「文化活動」などに関する分野でD評価となっているものの、市民アンケート実施時期がコロナ禍で、これらの施策がコミュニティ活動に関わる分野であることから、満足度・重要性がともに低く、低評価となる要因と考えられます。しかしながら、市の重点施策でもあることから、成果レベル向上の取り組みの過程や結果が、市民への啓発や理解、重要性・満足度の向上に繋げられるよう施策の改善や見直しが必要です。

全体としても、昨年より評価が下がっている施策や、C評価・D評価が続く施策については、その要因の分析と計画の見直しを行い、PDCAサイクルを繰り返し、継続的な業務改善に取り組むよう指示しています。



施策評価(令和6年度実績)集計表

| 評価 | 活力・賑わい | 子育て・教育 | 自律・協働・多様性 | 支え合い・福祉・健康 | 安全・防災・環境 | 快適・憩い・生活基盤 | 計 |
|----|--------|--------|-----------|------------|----------|------------|----|
| A | 1 | 2 | | 2 | 2 | | 7 |
| B | 6 | 4 | 3 | 3 | 1 | 8 | 25 |
| C | 4 | 6 | 2 | 1 | 4 | | 17 |
| D | | 2 | 3 | | | | 5 |
| 計 | 11 | 14 | 8 | 6 | 7 | 8 | 54 |

施策評価(令和5年度実績)集計表

| 評価 | 活力・賑わい | 子育て・教育 | 自律・協働・多様性 | 支え合い・福祉・健康 | 安全・防災・環境 | 快適・憩い・生活基盤 | 計 |
|----|--------|--------|-----------|------------|----------|------------|----|
| A | | 2 | | 1 | 1 | | 4 |
| B | 5 | 6 | 3 | 5 | 5 | 8 | 32 |
| C | 6 | 5 | 2 | | 1 | | 14 |
| D | | 1 | 3 | | | | 4 |
| 計 | 11 | 14 | 8 | 6 | 7 | 8 | 54 |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 観光産業の発展

| 施策 観光産業の発展 | | | | | | | | 施策番号 | 5-1-1-1 | |
|------------|----------|--------|---------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|---------|---------|
| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01037300 | 観光振興事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 160,037 | 24,510 | 184,547 | 泉佐野市観光協会への観光振興事業の委託(大井関桜まつり、犬鳴山温泉まつり、泉佐野伝統文化体験事業、駅前イルミネーション、観光情報センター運営、多言語観光案内板整備等)。 (一社)ICPへの泉佐野・りんくうまち処運営事業、(一社)泉州KIXツーリズムビューロー等を活用した情報発信やおもてなし。ふるさと納税等を活用したイベント助成や市公式キャラクター活動に対する業務委託等。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 160,037 | 24,510 | 184,547 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 良好な景観の形成

施策番号 5-1-1-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|------------|-------|--------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01040400 | 都市計画関連業務事業 | 都市計画課 | 法定受託事務 | 13,180 | 19,880 | 33,060 | ①都市計画案件の決定及び変更 ②都市計画法等の届出に対する許可や証明事務 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 13,180 | 19,880 | 33,060 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 歴史文化の保存活用

施策番号 5-1-1-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------------|--------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01061100 | 史跡等保存事業 | 文化財保護課 | 法定受託事務 | 17,284 | 22,839 | 40,123 | 史跡等保存事業として以下の業務を実施している。 ①国史跡日根荘遺跡の適切な保存と管理を行うための行政指導業務 ②大規模開発等の事業者(部局)との文化財保存との共存を図る協議等 ③国史跡日根荘遺跡と文化的景観にかかる調査・普及(暫定活用含)等事業 ④国重要文化的景観日根荘大木の農村景観の保存活用にかかる業務 ⑤指定地の所有者に対して有効な保存と管理についての行政指導 ⑥文化的景観と関連する景観法に基づく景観計画策定及び条例規則にかかる業務 ⑦日本遺産日根荘推進協議会事業にかかる業務 ⑧日本遺産北前船にかかる業務 ⑨日本遺産葛城修験にかかる業務 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01061300 | 庁舎管理(文化財保護課分室)事業 | 文化財保護課 | 市単独事業 | 7,639 | 5,847 | 13,486 | ・文化財保護課事務所(旧朝日湯)の管理・賃借 ・文化財保護課駐車場の管理・賃借 ・衣通姫ガイダンスセンターの管理(衣通姫活用推進協議会に管理委託) | B | 昨年度 B |
| 3 | 01061400 | 文化財保存事業 | 文化財保護課 | 法定受託以外の法令 | 5,942 | 9,188 | 15,130 | 文化財保存事業として以下の業務を行っている。 ①市内にある文化財保存のための調査・指定業務 ②市文化財保護審議会運営業務 ③国・府・市指定文化財の所有者に対し、維持管理(一部)及び保存修理等への補助金交付業務 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|--------------|--------|-------|--------|--------|---------|--|---|-------|
| 4 | 01061700 | 文化財施設管理事業 | 文化財保護課 | 市単独事業 | 3,443 | 8,353 | 11,796 | <p>①旧新川家住宅(木造2階建、内蔵、外蔵など、延べ床面積506.21㎡、修理復元価格336,274千円)の維持管理及び運営。平成18年度より指定管理者制度による運営管理へ移行。現在の指定管理者は 特定非営利活動法人泉州佐野にぎわい本舗で、指定期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日まで。</p> <p>②泉佐野市指定文化財旧向井家住宅の公開管理(令和4年8月1日より泉佐野てらこやSANOTERAに管理委託)</p> <p>③重要文化財奥家住宅の管理(奥家保存会に管理委託)</p> <p>④登録文化財大將軍湯の管理(令和4年6月まで大將軍湯保存会に管理委託、現在は文化財保護課で管理)</p> | B | 昨年度 B |
| 5 | 01083248 | 歴史館管理運営事業 | 文化財保護課 | 市単独事業 | 27,592 | 4,176 | 31,768 | <p>歴史館いずみさのの管理運営。平成27年度より指定管理者制度による管理運営へ移行。</p> <p>現在の指定管理者は、公益財団法人大阪府文化財センターで、令和8年3月31日まで。</p> | B | 昨年度 B |
| 6 | | 広域発掘共同処理事務事業 | 文化財保護課 | 市単独事業 | 2,623 | 17,413 | 20,036 | <p>文化財保護課分室(S造2階、延べ床面積592.15㎡、平成9年1月竣工、平成14年10月に大阪府から譲渡)と土丸収蔵庫施設の維持管理及び記録資料(図面や写真等)の適切な保管収蔵管理業務。文化財保護課事務所移転とそれに伴う事務的業務。</p> <p>令和4年度より泉州南埋蔵文化財行政広域事務所として三市一町(泉佐野市・泉南市・阪南市・田尻町)の埋蔵文化財発掘調査届出・調査および整理業務。</p> | B | - |
| 合 計 | | | | | 64,523 | 67,816 | 132,339 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 国際化の推進

施策番号 5-1-2-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-----------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01083040 | 国際交流推進事業(自治振興課) | 自治振興課 | 市単独事業 | 49,896 | 39,201 | 89,097 | 海外友好提携都市(中国上海市徐匯区、上海市宝山区、四川省成都市新都区、山東省聊城市東阿県、山東省威海市、モンゴル国トゥブ県、ウガンダ共和国グル市、ブラジル連邦共和国サンパウロ州マリリア市、ベトナム社会主義共和国ビンディン省、韓国大邱広域市寿城区、アメリカ合衆国カリフォルニア州デイリーシティ)との友好交流事業を行う。さらには、国際都市宣言により、他の海外都市とも交流を実施する。また、市民を対象とした各種の国際交流事業の企画・実施、並びに地域在住外国人への日本語学習支援等を特定非営利活動法人泉佐野地球交流協会に委託し、本市の国際化・国際交流の推進を図る。また4年度より、グローバル人材育成支援事業を実施している。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01083100 | 国際交流推進事業(学校教育課) | 学校教育課 | 市単独事業 | 6,513 | 2,290 | 8,803 | オーストラリア・クイーンズランド州サンシャインコースト(H12~青少年海外研修事業をきっかけとして友好交流)等の都市との友好交流を行う。また、令和5年度からベトナム国ヴンディン省との友好交流を実施(R1.10.21友好都市提携調印)。マラソン事業受入、文化交流事業受入については平成28年度より行っていないため削除。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01083110 | 海外派遣(青少年海外研修)事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 7,860 | 1,873 | 9,733 | 平成2年度から本市の国際化を担う人材を育成するため市内青少年を海外へ派遣するプログラムを企画・実施している。募集締切後、別に設置する選考委員会において研修生を選考し、事前研修を行った後、職員が随行しオーストラリアへ派遣する。現地では語学研修やホームステイ・交流活動を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 64,269 | 43,364 | 107,633 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 りんくうタウンを生かした国際化

施策番号 5-1-2-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------------|--------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01040400 | 国際観光産業振興事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 183,149 | 6,682 | 189,831 | MICE誘致及び開催支援、その他国際観光産業の振興にかかる事業。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 05583318 | りんくう公園施設管理事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 230,428 | 1,670 | 232,098 | りんくうアイスパークの維持管理経費等 | B | 昨年度 B |
| 3 | | りんくうアイスパーク管理事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 46,185 | 9,188 | 55,373 | りんくう野外文化音楽堂管理運営事業、りんくうアイスパーク維持管理業務、りんくう公共駐車場管理業務を一体的に管理を行い、りんくうアイスパーク全体の維持管理業務の効率化を図る。 | A | — |
| 合計 | | | | | 459,762 | 17,540 | 477,302 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 農業振興

施策番号 5-1-3-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|--------------|----------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01032500 | 農業委員会運営事業 | 農業委員会事務局 | 法定受託以外の法令 | 4,848 | 14,796 | 19,644 | 農業委員会の運営及び農地法第3条の所有権、第4条・第5条の転用などの農地に関する事務手続きの執行を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01033650 | 農業振興補助事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 19,941 | 1,670 | 21,611 | 農業振興を図るうえで、農業後継者グループ(4H)、農家生活改善グループ及び農協祭企画運営委員会が実施する活動に対し、事業補助金助成を行う。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01034450 | 土地改良調査調整補助事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 100 | 2,505 | 2,605 | 土地改良事業関係団体が連携して行う研修会等の開催。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01034500 | 農業用施設維持管理事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 22,091 | 6,682 | 28,773 | 貝の池、新滝之池、大細利池において、草刈り、ゴミ収集、トイレ清掃等の維持管理を行うことにより、ゆとりの空間として一般市民へ提供する。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01082950 | 経営所得安定対策事務事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 504 | 7,040 | 7,544 | 国内の生産力確保のため、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、食糧自給率の向上と農業の有する多面的機能の維持を目標に、恒常的に赤字に陥っている水田農業の経営安定を図るための経営所得安定対策制度の申請手続きを行う。 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01083217 | 泉佐野産普及促進事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 28,149 | 23,700 | 51,849 | 泉佐野市の特産品の良さを、市民だけでなく国内外の方にも知っていただく取組みとして、泉佐野産商品化プロジェクトや、特産品相互取扱協定締結並びに協定締結自治体等でのPR活動を行う。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 75,633 | 56,393 | 132,026 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 森林保全

施策番号 5-1-3-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|----------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01035700 | 林業振興対策事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 26,063 | 3,341 | 29,404 | ①森林整備事業の調査等に関する業務 ②国定公園保全対策協議会(公園区域内の森林保全及び清掃活動を中心とした山地美化キャンペーンを行っている)関係事務 ③林業関係者同士の交流・情報交換 ④泉佐野緑の少年団(市内の小学生を対象とし、植樹などの緑と触れ合う活動、緑の募金、森林学習等を実施) ⑤一般市民への森林・林業の普及活動 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01035800 | 林道維持管理事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 5,135 | 3,341 | 8,476 | 林道維持管理(災害発生時の初期対応含む)にかかる修繕費、災害復旧費、トンネルの維持管理(照明等)、林道の管理パトロール、大雨等の災害発生時の初期対応。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 31,198 | 6,682 | 37,880 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 漁業振興

施策番号 5-1-3-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|--------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01036400 | 漁業振興事業 | 農林水産課 | 市単独事業 | 8,190 | 3,341 | 11,531 | 漁業振興のため以下の事業を実施している。 ①種苗放流事業(抱卵ガザミ・アカガイ・ウマヅラハギ放流事業) ②地域の小学生に対し漁業体験事業(地曳網体験事業) ③泉佐野フィッシャーメンズ・ワーフ地区の活性化事業 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 8,190 | 3,341 | 11,531 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 商工業振興

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 施策番号 | |
|----|----------|------------------|---------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|---------|---------|
| | | | | | | | | | 5-1-3-4 | |
| | | | | | | | | | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01037000 | 商工業振興事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 46,132 | 4,248 | 50,380 | 主に、産業経済振興事業補助金交付要綱に基づき補助事業を実施。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01080040 | 地場産業支援センター管理事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 2,500 | 835 | 3,335 | 施設の利用 講義室、研修室、会議室があり、各種会議や講習会等に利用。設備等の利用 商品開発、研究、測定するための設備、機器類を利用。商品展示 地域ブランド「泉州タオル・泉州こだわりタオル」を展示し、一般消費者の見学も可能。その他繊維製品の製造に関する産業の振興及び育成の支援の活動拠点としての施設開放。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01082330 | 中小企業総合支援事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 1,028,220 | 3,341 | 1,031,561 | 個々に異なる市内中小企業等の経営状況やニーズを把握し、国・府・市・その他機関が実施するさまざまな支援策の中から最も適した施策を総合的に提供する。市としては、利子補給・保証料補助・中小企業退職金共済掛金に対する補助を実施(選択制)。また令和3年度よりふるさと3.0に関する補助も実施。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01083246 | 企業誘致事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 381,993 | 16,706 | 398,699 | 交通の利便性といった地域の強みを情報発信し、条例に従って奨励金を交付することで市域への企業誘致を行う。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01083288 | 泉州タオルプロモーション推進事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 7,043 | 2,995 | 10,038 | 泉州タオルの認知度や生産量を向上させるため、各種プロモーション及び団体助成を実施する。 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01083486 | 職業生活における女性活躍推進事業 | まちの活性化課 | 未入力 | 10,505 | 835 | 11,340 | 女性活躍推進を目的としたワークショップ企画・コーチング・コミュニティ形成支援 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|----------------------|-------------|-------|-----------|--------|-----------|--|---|-------|
| 7 | 01083507 | 空き店舗等活用型事業 創出支援事業 | まちの活性化 課 | 市単独事業 | 26,007 | 2,088 | 28,095 | 市内の空き店舗などの遊休不動産を改修し活用する人を対象に、その改修などに要する費用の一部を支援する。 | B | 昨年度 B |
| 8 | 01083535 | 地域商業機能複合化推 進事業 | まちの活性化 課 | 市単独事業 | 31,038 | 835 | 31,873 | 南海泉佐野駅海側にある、いわゆるさの町場エリアの賑わいづくりのために、ウォールアートイベントや週末マーケットなどを開催し、また、遊休不動産利活用セミナー・まち歩きツアーや、AIカメラを活用した来街者の動向調査を通してエリア全体の活性化に繋げる取組に対し補助を行う。 | B | 昨年度 B |
| 9 | 01083494 | キャッシュレス消費喚起 対策事業 | まちの活性化 課 | 市単独事業 | 222,705 | 1,670 | 224,375 | 地域ポイント「さのぼ」を活用したポイント還元事業。 | B | 昨年度 B |
| 10 | 01083458 | 新たな生活様式推進事 業 | まちの活性化 課 | 市単独事業 | 13,441 | 1,670 | 15,111 | 市外在住のフリーランス志望者に、フリーランス育成合宿に参加してもらう。 都会の若者に本市を知ってもらう機会を作る。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 1,769,584 | 35,223 | 1,804,807 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 就労支援の推進

施策番号 5-1-4-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------------|---------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01032100 | 地域就労支援事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 253 | 4,176 | 4,429 | 地域就労支援コーディネーターによる雇用・就労相談から、資格取得促進、職業マッチング、適切な関係機関との連携による線的・面的な就労支援を実施 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01083401 | 外国人労働者受入環境整備事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 32,106 | 2,995 | 35,101 | 2019年4月より出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律が施行され、外国人材受入れのための新たな在留資格が創設されたことに伴い、市内及び周辺地域における外国人材の受入に関して事業所ニーズの把握等を実施し、人手不足が深刻である業種の外国人労働者の確保のみならず、外国人労働者への必要な支援を行い、多文化共生のまちづくり、地域の魅力向上、治安の確保を行うため、民間活力を活かしたまちづくりを進めるもの | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 32,359 | 7,171 | 39,530 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 労働環境と勤労者福祉の充実

施策番号 5-1-4-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-------------------|---------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|-----------------------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01032200 | 労働対策事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 12,095 | 4,283 | 16,378 | <ul style="list-style-type: none"> ・合同就職面接会の開催 ・岸和田市・貝塚市・泉佐野市の3市域の労働関係機関で構成する泉南地域労働行政機関運営委員会による労働講座などの開催 ・泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会による公正採用選考の啓発、事業所内人権研修の推進 ・自治体主体の公式求人サイトによる就労マッチングの実施 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01032210 | 勤労者福祉共済サービスセンター事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 8,362 | 835 | 9,197 | 中小企業勤労者の福利厚生のため、サービスセンターの運営を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01082330 | 中小企業総合支援事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 1,028,220 | 3,341 | 1,031,561 | 個々に異なる市内中小企業等の経営状況やニーズを把握し、国・府・市・その他機関が実施するさまざまな支援策の中から最も適した施策を総合的に提供する。市としては、利子補給・保証料補助・中小企業退職金共済掛金に対する補助を実施(選択制)。また令和3年度よりふるさと3.0に関する補助も実施。 | B | 昨年度 B (5-1-3-4に同じ) |
| 合計 | | | | | 20,457 | 5,118 | 25,575 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 家庭と地域における子育て支援

施策番号 5-2-1-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------------|--------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01023000 | 家庭児童相談室運営事業 | こども家庭課 | 法定受託以外の法令 | 4,466 | 38,201 | 42,667 | 家庭児童相談員が電話や面接、訪問等により育児や家庭の様々な困りごと等の相談に応じる。子どもフリーダイヤルにおいては、子どもからの相談に応じる。 泉佐野市要保護児童対策地域協議会の調整機関として関係機関と連携を図り、児童虐待の早期発見、防止、対応を行う。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01023300 | 助産施設措置事業 | こども家庭課 | 法定受託以外の法令 | 3,332 | 3,341 | 6,673 | 妊産婦が保健上必要があるにも関わらず、経済的理由により入院助産を受けることができない時、助産施設に入所させ、助産措置を行う。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01023500 | こども医療費助成事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 373,632 | 4,176 | 377,808 | 18歳年度末までの児童の入院通院費及び入院時食事療養費の助成を行っている(所得制限なし)。 1医療機関あたり入・通院各500円/1日(月2日限度) 平成30年10月～窓口業務や事務を一部委託。 令和4年10月より15歳年度末までのこどもを対象としていたが、18歳年度末までのこどもへ助成対象を拡大。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01023800 | 子育て支援短期利用事業 | こども家庭課 | 法定受託以外の法令 | 54 | 2,923 | 2,977 | 子育て支援短期利用事業として以下の事業を行っている。 ①ショートステイ…児童を養育している家庭の保護者が一時的に育児が困難になった場合等に児童福祉施設で一定期間養育、保護する。 ②トワイライトステイ…児童を養育している家庭が仕事の事由により帰宅時間が夜間にわたる場合、児童を施設(同上)に通所させ、生活指導、夕食の提供等を行う。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01024220 | 次世代育成支援対策事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 5,123 | 44,751 | 49,874 | 次世代育成支援対策推進法第8条第1項の規定に基づき、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ育成される社会の形成を図るための「泉佐野市次世代育成支援行動計画」の策定を行っている。また、次世代育成地域交流センターにおいて、地域住民と子育て家庭の交流・連携を図る講座や催し等を実施し、地域における子育て支援を推進する。 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01080350 | 地域交流センター施設管理事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 9,205 | 2,505 | 11,710 | 次世代育成地域交流センター(鉄骨造2階建、604㎡、平成21年竣工)の維持管理 | B | 昨年度 B |
| 7 | 01080900 | 児童手当等給付事業 | 子育て支援課 | 法定受託事務 | 1,524,625 | 8,877 | 1,533,502 | 児童手当とは、家庭等における生活の安定に寄与するとともに次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とし、児童を養育している者に支給するもの。 平成30年10月～、窓口業務や事務等を一部委託。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|-----------------|--------|-----------|-----------|---------|-----------|---|---|-------|
| 8 | 01081290 | 乳児家庭全戸訪問事業 | こども家庭課 | 法定受託事務 | 1,763 | 9,385 | 11,148 | 4か月までの乳児がいる家庭を助産師等の専門職員により全戸訪問し、育児等に関する情報提供や指導を行う。H23年度4・5月は準備期間で6月から訪問開始。 | B | 昨年度 B |
| 9 | 01081570 | 養育支援訪問事業 | こども家庭課 | 法定受託以外の法令 | 1,160 | 7,935 | 9,095 | 乳児家庭全戸訪問事業の実施その他により把握した保護者の、養育に関する支援が特に必要と判断した家庭等に継続して訪問し、養育に関する相談、指導、助言等その他必要な支援を行う。 | A | 昨年度 A |
| 10 | 01082360 | 未熟児養育医療給付事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 5,394 | 1,670 | 7,064 | 全国の指定養育医療機関において、出生時体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま生まれ、入院治療を必要とする乳児に対し、その治療に必要な医療費を助成する制度である。 | B | 昨年度 B |
| 11 | 01083264 | 子どもの未来応援事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 53,444 | 4,176 | 57,620 | 安心して過ごすことのできる居場所づくりとして「こども食堂」を開設し運営。また、朝食を食わずに登校する子どもを対象として小学校で朝食を提供する「こども朝食堂」の実証実験を実施。 | A | 昨年度 A |
| 12 | 01083382 | 子育て世代包括支援センター事業 | こども家庭課 | 法定受託以外の法令 | 20,408 | 4,797 | 25,205 | 保健師等の専門職が妊婦全員に面接を行い、妊娠届の受付、母子健康手帳を交付する。必要に応じて情報提供や助言・相談対応・関係機関への報告・繋ぎを行う。 | B | 昨年度 B |
| 13 | 01083388 | 子育て家庭等利用者支援事業 | こども家庭課 | 法定受託以外の法令 | 6,301 | 4,797 | 11,098 | 子ども又はその保護者の身近な場所で教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整を実施する。 | A | 昨年度 A |
| 14 | 01083538 | 妊産婦タクシー利用支援事業 | こども家庭課 | 市単独事業 | 3,630 | 2,505 | 6,135 | 妊産婦の産婦人科等への通院や出産、産後の健診受診等でタクシーを利用する際の利用料(大阪タクシー共通乗車券 5,000円分)を補助する。 | B | 昨年度 B |
| 15 | 01083539 | 多胎児家庭育児支援事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 19 | 835 | 854 | 多胎児を養育するご家庭に対して、いずみさのファミリーサポートセンターを利用する際の利用料を補助する。 | B | 昨年度 B |
| 16 | 01083541 | 出産・子育て応援事業 | こども家庭課 | 未入力 | 63,018 | 6,515 | 69,533 | 市町村が創意工夫を凝らしながら、妊娠届出時より妊婦や特に0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じ、併せて必要な支援を一体として実施する事業 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 2,075,574 | 147,389 | 2,222,963 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 教育・保育の充実

施策番号 5-2-1-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------------|--------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01024100 | 放課後児童対策事業 | 学校教育課 | 法定受託以外の法令 | 162,221 | 1,873 | 164,094 | 入会児童(第一小学校、第二小学校、日新小学校、北小学校、長坂小学校、日根野小学校、長南小学校、末広小学校、佐野台小学校、中央小学校、上之郷小学校、第三小学校、大木小学校留守家庭児童会への入会)の生活指導を行い、健全育成を図る。 入会受付・判定及び発送事務、および会費納付書作成事務については平成27年度より業者委託実施のため削除。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01024600 | 児童発達支援センター運営事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 9,192 | 284,275 | 293,467 | 年齢・発達に見合った個別指導や集団保育など、児童の状態に合わせて療育を行う。また、必要に応じて理学療法・作業療法等の訓練を保護者指導と合わせて行う。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01024700 | 児童発達支援センター施設管理事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 3,874 | 2,505 | 6,379 | 児童発達支援センター(RC2階、延べ床面積748.08㎡、昭和48年竣工、H8、H11増築 建築価格37,926千円)の施設の維持管理 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01024900 | 親子教室運営事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 342 | 27,328 | 27,670 | 1才6か月健診で把握された発達上問題をもつ在宅児に対し、集団あそび・親子あそびを通して発達指導及び相談等、保護者の子育てについて、親子教室を開所し、援助を行う。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01025000 | 親子教室施設管理事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 4,561 | 835 | 5,396 | 親子教室(旧つばさ幼稚園:RC2階、833㎡、平成6年度竣工)の施設の維持管理 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01025100 | 民間保育所対策事業 | 子育て支援課 | 法定受託事務 | 3,203,785 | 16,992 | 3,220,777 | 児童福祉法第51条第4項及び子ども・子育て支援法第27条及び第29条により、入所児童の教育・保育及び地域型保育に要する経費として、市が民間保育園(鶴原保育園)、民間認定こども園(泉ヶ丘保育園、上之郷こども園、こども園杉の子、なかよしこども園、すえひろこども園、下瓦屋保育園、こども園つばさ、こだまこども園、ルーテルこども園、あおいこども園、ひねのこども園、ひかりこども園、清和こども園)及び私立幼稚園(カトリック天使幼稚園)並びに小規模保育事業所(スマイルピース保育学園)へ支弁する。 | B | 昨年度 B |
| 7 | 01056800 | 幼稚園就園奨励事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 396 | 835 | 1,231 | 私立幼稚園の新入園児の保護者に対し、入園料や保育料等の経費負担の軽減を図るため、対象の世帯に補助金を支給。活動指標の就園奨励費補助金の申請者数・就園助成金の申請者数及び成果指標の就園奨励費補助金支給決定者・就園助成金支給決定者は令和元年9月で制度終了のため、令和7年度評価から削除。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|--|---|-------|
| 8 | 01081780 | 障害児通所支援事業 | 子育て支援課 | 法定受託事務 | 625,430 | 8,042 | 633,472 | 児童発達支援、放課後等デイサービス等、障害児通所支援サービスの利用を希望する児童(保護者)に対し、通所受給者証を発行するとともに、障害児通所支援事業所に対し、障害児通所支援給付費の支払いを行う。 | B | 昨年度 B |
| 9 | 01083180 | こども園運営事業 | 子育て支援課 | 法定受託事務 | 105,475 | 932,191 | 1,037,666 | 認定こども園法第2条第6項に規定する認定こども園の運営及び児童福祉法第24条第1項より、市町村は、保護者の労働又は疾病その他の政令で定める基準に従い、条例で定める事由により、その監護すべき乳児、幼児又は第39条第2項に規定する児童の教育・保育を必要とする場合において、保護者から申込みがあった時は入所決定し、利用者負担額の徴収を行い、教育・保育を実施する。 | B | 昨年度 B |
| 10 | 01083181 | こども園健康管理事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 2,937 | 39,499 | 42,436 | ①市内の公立こども園に在籍する園児への各種定期健康診断の実施 ②市内の公立こども園に勤務する教職員への各種定期健康診断の実施 ③園児災害共済の契約及び支払 | B | 昨年度 B |
| 11 | 01083182 | こども園施設管理事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 44,374 | 4,176 | 48,550 | 公立こども園3園(各園に旧幼稚園棟、旧保育所棟)の維持・管理 | B | 昨年度 B |
| 12 | 01083184 | こども園通園バス事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 27,203 | 835 | 28,038 | 園児通園バス(のぞみ、さくら、はるか)の各こども園への送迎)の運行委託を行っている。(保護者負担額は3,500円/人・月) | B | 昨年度 B |
| 13 | 01083185 | こども園教育研究事業 | 子育て支援課 | 市単独事業 | 109 | 9,188 | 9,297 | 保育教諭研修会の中で先進園の見学、教材ビデオの視聴等、各種研修会に参加し視野を広め、資質の向上を図る。 | B | 昨年度 B |
| 14 | 01083413 | 幼稚園利用助成事業 | 子育て支援課 | 法定受託事務 | 52,266 | 8,949 | 61,215 | 私立幼稚園(私学助成)に通園する園児の保護者に対し、1か月あたり25,700円を上限に保育料を補助する。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 4,242,165 | 1,337,523 | 5,579,688 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 ひとり親家庭への支援

施策番号 5-2-1-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|---------------|--------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01023100 | 児童扶養手当事務事業 | 子育て支援課 | 法定受託事務 | 454,112 | 12,052 | 466,164 | 母子・父子家庭又はそれに準ずる家庭で18歳未満の児童を養育している家庭に児童扶養手当を支給する(所得制限あり)。法改正により令和元年11月から年3回払いを年6回払いに変更。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01024230 | 母子家庭等自立支援推進事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 19,086 | 4,081 | 23,167 | 経済的自立に効果的な資格を取得するため養成機関で学んでいる期間の生活費負担軽減のための給付を行う。市の指定する教育訓練講座を受講したひとり親家庭の親に対して、講座終了後に受講料の一部を支給する。離婚後の子どもの養育費を確保するために係る調停や公正証書作成に係る費用の補助をする。 | A | 昨年度 A |
| 3 | 01025510 | ひとり親家庭医療助成事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 77,177 | 2,505 | 79,682 | 18歳に達した最初の3月31日までにいる児童がいる母子世帯の母、父子世帯の父又は養育者と子の入院、通院に係る医療費の助成を行っている。 1医療機関あたり入・通院各500円/1日(月2日限度) 平成30年度10月より窓口業務等を一部委託。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 550,375 | 18,638 | 569,013 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 少子化対策の推進

施策番号 5-2-1-4

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|-----------|-------------|--------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|-----------------------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 010832585 | 出会いの機会創出事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 4,970 | 3,341 | 8,311 | 異性との交際・結婚を望みながらも、その相手に出会えていない独身男女に対し、出会いの場を提供するためのセミナー付イベント等を開催。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01083586 | 結婚新生活支援事業 | 政策推進課 | 法定受託以外の法令 | 18,010 | 1,670 | 19,680 | 経済的理由で結婚に踏み出せない市民の方へ、結婚に伴う新生活に係る費用(住居費・引越し費用)を支援(最大60万円、30歳～39歳は最大30万円)することで、結婚の希望を叶えてもらう事業。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01024220 | 次世代育成支援対策事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | | | | 次世代育成支援対策推進法第8条第1項の規定に基づき、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ育成される社会の形成を図るための「泉佐野市次世代育成支援行動計画」の策定を行っている。また、次世代育成地域交流センターにおいて、地域住民と子育て家庭の交流・連携を図る講座や催し等を実施し、地域における子育て支援を推進する。 | B | 昨年度 B (5-2-1-1に同じ) |
| 合計 | | | | | 22,980 | 5,011 | 27,991 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 母子保健事業の推進・充実

施策番号 5-2-1-5

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------------|--------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01026800 | 母子保健健康診査事業 | こども家庭課 | 法定受託事務 | 96,488 | 30,208 | 126,696 | 4ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診(法定)、3歳6ヶ月児健診(法定)、2歳児歯科健診を健診センターにて実施。経過観察健診は、H27年度よりりんくう総合医療センターに業務委託し、同センター付属施設で実施している。乳児一般健診(1か月児健診)、乳児後期健診、妊婦一般健診(受診券配布 1枚当たり5,000円、補助券7枚、合計120,000円)に加え、H30年度より、産婦健診(受診券配布1枚当たり5,000円、2枚)を医療機関へ業務委託している。H29年度7月からは妊産婦歯科健診を開始した。R3年度より多胎妊婦に妊婦一般健診の受診券を5枚追加した。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01026900 | 母子保健健康管理事業 | こども家庭課 | 法定受託以外の法令 | 5,099 | 28,508 | 33,607 | 母子保健健康管理事業として、妊婦教室、離乳食講習会、妊産婦及び新生児・低体重出生児訪問、歯科保健教室、思春期ふれあい体験学習への講師派遣を実施している。産後2週間サポート事業は、産婦健診(母子健康診査事業)に変更となった。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01083193 | 不妊治療支援事業 | こども家庭課 | 市単独事業 | 5,124 | 5,847 | 10,971 | 不妊治療に要した費用を申請のうえ審査助成する。その費用は、不妊・不育に係る検査、治療、薬剤のそれぞれ費用を対象とし個々の領収書と治療実施機関の証明書・領収書と突合して審査を行う。審査結果通知のうえ、指定された口座への助成金振込手続きを実施する。 | B | 昨年度 B |
| 4 | | 予防接種事業(こども家庭課) | こども家庭課 | 法定受託事務 | 261,900 | 16,997 | 278,897 | 予防接種法に基づく予防接種。乳幼児予防接種は、BCG、ポリオ、四種混合、五種混合、麻しん、風しん、麻しん風しん混合、日本脳炎、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタウイルスの14種類。H30年度から造血細胞移植後定期接種ワクチン再接種費用助成を開始。H31～R6年度まで風しんの追加的対策を実施。R2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、インフルエンザ助成を拡充。R3年度は一般市民への新型コロナウイルスワクチン接種が開始。R4年度より子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨が再開され、R6年度までキャッチアップ接種を実施。R5年度より9価子宮頸がん予防ワクチン開始。また、4種混合が生後2か月から開始。R6年度より5種混合、15価肺炎球菌ワクチン開始。同年10月から20価肺炎球菌ワクチン開始。風しんワクチン接種費用助成事業の対象者の拡大。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 368,611 | 81,560 | 450,171 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 義務教育の充実

施策番号 5-2-2-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-----------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01042401 | 中学校管理運営事業 | 教育総務課 | 法定受託以外の法令 | 54,526 | 23,711 | 78,237 | 市立中学校(第三中学校、日根野中学校、長南中学校、佐野中学校、新池中学校)の教材、備品、消耗品等の購入により、教育環境の整備に努める。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01046101 | 中学校健康管理事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 9,936 | 3,579 | 13,515 | ①市内の中学校に在籍する生徒への各種定期健康診断の実施 ②市内の中学校に勤務する教職員への各種定期健康診断の実施 ③生徒災害共済の契約及び支払 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01046601 | 中学校教材整備事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 25,197 | 90 | 25,287 | ①中学校での教材作成に必要な物品の支出(教科書の補助副読本) ②IT情報化教育推進のために設置したパソコン教室の41台×5校の維持管理 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01047100 | 学校教育研究事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 4,242 | 49,926 | 54,168 | ①小中学校新任教員研修、保健主事養護教諭、校長研修、教頭研修などの研修会、教科領域別研究会などの開催。 ②学校支援コーディネーターの配置 ③学力支援コーディネーターの配置 教育冊子作成および特色ある学校づくり事業については平成24年度から廃止のため削除。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01047110 | 学校行事事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 26,209 | 1,789 | 27,998 | ①学校水泳の実施 ②小中学校連合音楽会の開催 ③通学バスの運行 | A | 昨年度 A |
| 6 | 01047200 | 教育支援事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 37,134 | 68,019 | 105,153 | 不登校児童・生徒対策のために退職教員による電話相談、臨床心理士による面接相談を行うことを目的として教育支援センターを設置し以下の活動を通じて、サポートするとともに学校と家庭との連携を図る。 ①自主活動(教育支援センター「さわやかルーム」、「シャイン」、「相談室わかば」への通所) ②教育相談活動 ③訪問活動、登校支援(メンタルフレンドの派遣) ④保護者支援活動 ⑤研修活動など ⑥ソーシャルスキルトレーナー配置 | A | 昨年度 A |
| 7 | 01047800 | 小学校管理運営事業 | 教育総務課 | 法定受託以外の法令 | 187,145 | 35,860 | 223,005 | 市立小学校(第一小学校、第二小学校、第三小学校、日新小学校、北小学校、長坂小学校、日根野小学校、大木小学校、上之郷小学校、長南小学校、末広小学校、佐野台小学校、中央小学校)における教材、備品、消耗品等の購入により、教育環境の整備に努める。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|------------|-------|-------|---------|--------|---------|---|---|-------|
| 8 | 01048600 | 小学校健康管理事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 21,226 | 3,579 | 24,805 | ①市内の小学校に在籍する児童への各種定期健康診断の実施 ②市内の小学校に勤務する教職員への各種定期健康診断の実施 ③児童災害共済の契約及び支払 | B | 昨年度 B |
| 9 | 01049200 | 小学校教材整備事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 35,388 | 507 | 35,895 | ①IT情報化教育推進のために設置したパソコン教室(41台×12校、21台×1校)の維持管理 ②社会科副読本「わたしたちのいずみさの(わたしたちの郷土)」の作成 | B | 昨年度 B |
| 10 | 01049210 | 学校安全緊急対策事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 17,304 | 10,067 | 27,371 | 市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。 スクールガードリーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施を行う。 | A | 昨年度 A |
| 11 | 01049300 | 小学校施設管理事業 | 教育総務課 | 市単独事業 | 190,860 | 8,030 | 198,890 | 市立小学校(第一小学校、第二小学校、第三小学校、日新小学校、北中小学校、長坂小学校、日根野小学校、大木小学校、上之郷小学校、長南小学校、末広小学校、佐野台小学校、中央小学校)の修繕・各種施設管理委託業務の実施及び学校施設管理上必要な光熱水費、役務費等の支払い。 | B | 昨年度 B |
| 12 | 01050400 | 中学校施設管理事業 | 教育総務課 | 市単独事業 | 85,581 | 4,200 | 89,781 | 市立中学校(佐野中学校、新池中学校、第三中学校、日根野中学校、長南中学校)の修繕・各種施設管理委託業務の実施及び学校施設管理上必要な光熱水費、役務費等の支払い | B | 昨年度 B |
| 13 | 01053100 | 小学校就学奨励事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 117,615 | 4,211 | 121,826 | 小学校就学奨励事業として以下の事業を実施している。 ①市内の小学校に在籍する児童の保護者で、経済状態が生活保護世帯に準ずる程度と認められる世帯に対し、学校に必要な経費(教材費等)の一部を援助する。 ②市内の小学校の支援学級に入級している児童の保護者で、基準額以下の世帯に対し、学校に必要な経費(教材費等)の一部を援助する。 | B | 昨年度 B |
| 14 | 01054400 | 中学校就学奨励事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 68,796 | 4,211 | 73,007 | ①市内中学校に在籍する生徒の保護者で、経済状態が生活保護世帯に準ずると認められる世帯に対し、学校に必要な教材費等の一部を援助②市内の中学校の支援学級に入級している児童の保護者で、基準額以下の世帯に対し、学校に必要な教材費等の一部を援助③大木地区の日根野中学校生徒で、通学距離及び通学途上の安全上やむなく路線バスを利用した場合、経費の一部を補助④中学校夜間学級に在籍する生徒で経済状態が生活保護世帯に準ずると認められる世帯に対し就学援助 | B | 昨年度 B |
| 15 | 01056500 | 中学校教育振興事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 13,429 | 507 | 13,936 | 中学校のクラブ活動などの課外活動の支援および校外での体験活動を行う。 | A | 昨年度 A |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|----------------|-------|-----------|-----------|---------|-----------|--|---|-----------------------|
| 16 | 01066800 | 教育委員会運営事業 | 教育総務課 | 法定受託以外の法令 | 5,955 | 9,104 | 15,059 | 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「泉佐野市教育委員会会議規則」の規定により、「泉佐野市教育委員会の事務委任規則等に関する規則」の規定に基づく事項について審議を行う。また、教育委員が学校訪問し、学校での児童・生徒の様子や学校の施設整備等、現状と問題点を把握し、学校経営・教育活動の改善を図る。 | B | 昨年度 B |
| 17 | 01081650 | 泉佐野まなびんぐサポート事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 32,849 | 9,450 | 42,299 | 子どもの学びの状況等に応じたきめ細やかな指導や支援を行う事により、子ども一人ひとりの学力や学習意欲の向上を図ることを目的とし、各学校の取組みに対して支援を行う。 | A | 昨年度 A |
| 18 | 01081880 | 泉佐野市の未来を創る教育事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 118,260 | 15,679 | 133,939 | 子どもの未来を育む教育の推進につながる事業に対して補助を行う。 学力向上アドバイザーによる学力向上支援。 | A | 昨年度 A |
| 19 | 01048100 | 人権教育推進事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | | | | 人権教育推進事業として以下の事業を実施している。 ①教職員に対する指導・助言及び研修の実施(人権教育研修講座、障がい教育研修会、介助員研修、進路保障連絡会などの開催) ②児童・生徒に対する人権教育の推進 ③地域における人権問題に関する学習会など ④PTA研修などにおける保護者(市民)啓発 | B | 昨年度 B (5-2-2-3に同じ) |
| 合 計 | | | | | 1,051,652 | 252,519 | 1,304,171 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域連携の充実

施策番号 5-2-2-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|-------|-------|-----|------|-------------|-------------|-----------------|---------|------|----------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| | | | | | | | | | 1 | 01048000 |
| 合計 | | | | | 1,522 | 1,433 | 2,955 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 人権教育の充実

施策番号 5-2-2-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01048100 | 人権教育推進事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 729 | 5,949 | 6,678 | 人権教育推進事業として以下の事業を実施している。 ①教職員に対する指導・助言及び研修の実施(人権教育研修講座、障がい教育研修会、介助員研修、進路保障連絡会などの開催) ②児童・生徒に対する人権教育の推進 ③地域における人権問題に関する学習会など ④PTA研修などにおける保護者(市民)啓発 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01048200 | 教育相談事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 718 | 2,739 | 3,457 | ①就学相談(障害などで配慮を要する児童・生徒の適正な就学の為に行う。) ②教育相談(保護者の教育への悩みや要望や具体的な相談活動を実施) ③理学療法・作業療法(リハビリテーションを通して、機能回復訓練を実施) ④通級指導教室 ⑤巡回相談(学校の教職員、保護者が障害や発達状況等、子どもの実態を的確に把握し、専門家による訪問を行う。) ⑥進路の相談等。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01050500 | 小学校介助事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 124,986 | 73,520 | 198,506 | 小学校介助事業として以下のように実施している。 ①障がいのある子どもに対する介助 ②介助については、身辺自立ができない、安全確保が困難である等、教育的配慮の要する子どもに対しての措置 ③外国からの転入生による受入のため、通訳の配置 | A | 昨年度 A |
| 4 | 01054500 | 中学校介助事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 31,631 | 31,631 | 63,262 | 中学校介助事業を以下のように実施している。 ①障がいのある子どもに対する介助 ②介助については、身辺自立ができていない、安全確保が困難である教育的配慮の要する子どもに対しての措置である。 ③外国よりの転入生による受入のため通訳が必要となります。 | B | 昨年度 A |
| 5 | 01055700 | 奨学金貸付事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 16,106 | 2,589 | 18,695 | 泉佐野市奨学金貸付基金条例において設置する泉佐野市奨学金(本市に住所を有する世帯主の世帯に属する高等学校等に在学中である生徒)について貸付事務を遂行する。 | A | 昨年度 A |
| 合計 | | | | | 174,170 | 116,428 | 290,598 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 学校給食の充実

施策番号 5-2-2-4

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-----------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01053700 | 給食事業 | 教育総務課 | 法定受託以外の法令 | 351,832 | 39,381 | 391,213 | ①給食調理・配送・回収・洗浄・配膳業務委託の管理 ②小学校での栄養・食指導 ③保護者を対象とした学校給食試食会 ④食育の一環としての料理教室・収穫体験 ⑤給食実施月の献立の作成ならびに食物アレルギーに関する情報の提供 ⑥学校給食会の運営 ⑦給食無償化補助金及びオーガニック補助金事務 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01053800 | 給食センター施設管理事業 | 教育総務課 | 市単独事業 | 69,199 | 12,888 | 82,087 | 学校給食センター(S造2階、延べ床面積2408.04㎡、昭和60年竣工、建築価格385,200千円)の施設管理事業として以下の業務を行っている。 ①厨房設備の維持管理 ②電気設備の維持管理 ③給湯設備の維持管理 ④排水処理施設の維持管理 ⑤その他給食センター施設の維持管理 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01082930 | 中学校給食事業 | 教育総務課 | 法定受託以外の法令 | 215,794 | 31,278 | 247,072 | ①給食調理・配送・回収・洗浄・配膳業務委託の管理 ②中学校での栄養・食指導 ③保護者を対象とした学校給食試食会 ④給食実施月の献立作成ならびに食物アレルギーに関する情報の提供 ⑤学校給食会の運営 ⑥給食無償化オーガニック補助金事務 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01082940 | 中学校給食センター施設管理事業 | 教育総務課 | 市単独事業 | 43,504 | 7,016 | 50,520 | 中学校給食センター(S造2階、延べ床面積2379.46㎡、平成27年2月竣工、建設費842,627千円)の施設管理事業として以下の業務を行っている。①厨房設備の維持管理 ②電気設備の維持管理 ③給湯設備の維持管理 ④排水処理施設の維持管理 ⑤その他、中学校給食センター施設の維持管理 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 680,329 | 90,563 | 770,892 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 生涯学習の推進

施策番号 5-2-3-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|--------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01058400 | 識字学級運営事業 | 生涯学習課 | 市単独事業 | 1,501 | 1,503 | 3,004 | 1 識字学級の開催 2 識字推進の啓発活動及び識字学級生作品展の開催 3 大阪府及び市町村並びに関係団体の識字学級担当者との意見交換や情報収集 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01058500 | 社会教育団体支援事業 | 生涯学習課 | 市単独事業 | 2,934 | 1,944 | 4,878 | 1 音楽団体(少年少女合唱団と市民オーケストラ)の育成と支援 2 泉佐野市文化協会をはじめとする芸術文化団体の育成と支援 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01058600 | 生涯学習推進事業 | 生涯学習課 | 市単独事業 | 6 | 417 | 423 | 1 出前講座「かがやき」の開催(市民に知ってほしい、また市民が知りたいと思う市の事業や施策について説明する講座) 2 生涯学習講座に関する情報の提供 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01058700 | 文化祭事業 | 生涯学習課 | 市単独事業 | 1,492 | 6,879 | 8,371 | 1 市民展(市主催事業)を10月下旬から11月上旬にかけての約1週間、泉の森ホール(ギャラリー、マルチスペース、レセプションホール)で開催。8種目の作品の展示をしている。 2 文化祭の協賛行事として、9月から11月の約3ヶ月の間で、文化協会をはじめとする文化団体が泉の森ホール及び体育館において開催している。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01059300 | 生涯学習センター運営事業 | 生涯学習課 | 市単独事業 | 16,145 | 24,469 | 40,614 | 生涯学習センター運営事業として以下の事業を実施している。 ①社会人を対象としたリカレント教育(職業能力の向上や人間性を豊かにするための社会人教育)の推進 ②自主活動サークルへの学習活動支援 ③連続学習会「縁JOY大学」の充実 ④現代的課題に関する情報提供と自主的な学習活動の支援 ⑤クラブの育成、支援、「発表会」の開催 ⑥市民の企画による講座の実施 ⑦家庭教育学級の支援 ⑧将棋大会、タオル筆で描く絵がみコンクールの開催 ⑨関西フィルハーモニー管弦楽団泉佐野公演の開催 ⑩泉佐野フォトコンテストの開催 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01083225 | 図書館管理運営事業 | 生涯学習課 | 市単独事業 | 162,929 | 5,847 | 168,776 | 指定管理者制度を導入している図書館運営の管理 図書館電算システムの調整・管理 佐野まちライブラリーの開設 読書活動推進に係るイベントの企画・実施 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 185,007 | 41,059 | 226,066 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 生涯スポーツの振興

施策番号 5-2-3-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-------------|---------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01064500 | スポーツ振興事業 | スポーツ推進課 | 市単独事業 | 63,013 | 54,080 | 117,093 | KIX泉州国際マラソンの事務局業務、各種市民競技大会の開催、大阪府総合体育大会の運営及び市代表選手の派遣、体育協会・スポーツ少年団・スポーツ推進委員協議会・スポーツリーダー協議会等の各種団体及び、市民健康マラソン並びにスポーツフェスタ実行委員会事務局業務。 全国大会出場等優秀な成績を取めた市民・チームに競技スポーツ振興奨励賞の交付。 泉佐野市出身のトップアスリート応援事業を実施。 スポーツ大使の派遣業務。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01064610 | テニスコート管理事業 | スポーツ推進課 | 市単独事業 | 11,200 | 1,670 | 12,870 | 長滝テニスコート及び新町テニスコートの貸し出し及び施設管理 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01064630 | 大池グラウンド管理事業 | スポーツ推進課 | 市単独事業 | 1,401 | 835 | 2,236 | 大池グラウンドの貸し出し及び施設管理 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01064640 | 体育施設管理事業 | スポーツ推進課 | 市単独事業 | 841 | 835 | 1,676 | 住吉多目的広場の貸出及び施設管理 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01065000 | 総合体育館管理運営事業 | スポーツ推進課 | 市単独事業 | 104,497 | 8,353 | 112,850 | 市民総合体育館(昭和56年開設、大体育室35m×48m、小体育室18m×30m、武道場、多目的室15m×28m、会議室)の貸出や施設管理を行っている。また、平成19年度からは健康増進センターとあわせて指定管理者が管理運営。そのため、従来の健康増進センター運営事業、健康増進センター施設管理事業を総合体育館管理運営事業に統合。 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01065500 | 市営プール管理運営事業 | スポーツ推進課 | 市単独事業 | 33,137 | 3,341 | 36,478 | 指定管理者による市営屋外プールの管理・運営を実施(平成27年7月より)。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 214,089 | 69,114 | 283,203 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 新たな文化創造・文化活動の推進

施策番号 5-2-3-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|-------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01005450 | 文化会館等管理運営事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 1,002,736 | 8,711 | 1,011,447 | 文化会館等管理運営事業として以下の業務を指定管理において行うとともに、総合文化センターのセールアンドリースパックのリース料の支払いを行っている。 ①市立文化会館、生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館、日根野公民館の各施設の貸出等及び施設管理業務。 ②市立文化会館のホール舞台等の設備維持管理業務 ③文化振興自主事業等の展開 ④総合文化センターの施設維持管理業務 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 1,002,736 | 8,711 | 1,011,447 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域の社会教育活動への支援

施策番号 5-2-3-4

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|--------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01047400 | 学校開放事業 | 教育総務課 | 法定受託以外の法令 | 4,720 | 5,083 | 9,803 | 小・中学校(小学校13校、中学校5校)で学校教育に支障のないかぎり、住民が利用できるように学校教育施設(運動場、体育館)を社会教育の為に開放する。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 4,720 | 5,083 | 9,803 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 青少年の健全育成

施策番号 5-2-3-5

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|--------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01058800 | 青少年健全育成事業 | 青少年課 | 市単独事業 | 38,044 | 18,258 | 56,302 | 青少年健全育成事業として青少年問題協議会及び講演会等を開催している。 社会教育団体である泉佐野市こども会育成連合会、泉佐野市青年団協議会の事務局をしている。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01062000 | 成人式事業 | 青少年課 | 市単独事業 | 4,719 | 20,238 | 24,957 | 成人式事業として以下の事業を実施している。 ①成人式の開催 ②大人としての自覚を高め、地域社会への参画を促すため、「市長と語る成年のつどい」の開催 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01062100 | 青少年指導員事業 | 学校教育課 | 市単独事業 | 3,081 | 1,844 | 4,925 | 青少年指導員による地域における活動並びに市主催事業への協力を通し青少年の非行防止、健全育成の啓発などを推進する。 ①環境浄化活動(屋外広告物撤去等) ②非行防止活動(街頭啓発、巡回補導) ③ワクワクふれあいハイキング事業 泉佐野市PTA連絡協議会補助金事業 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01062200 | ジュニアリーダー育成事業 | 青少年課 | 市単独事業 | 209 | 5,823 | 6,032 | ジュニアリーダーは、青少年のよき理解者、よき指導者、将来のよき社会人を育成することを目的に昭和38年よりはじめられ、その養成、向上のために以下の事業を行っている。 ①養成講習会を通じた青少年の人材育成(中学1・2年生の希望者を募り、リーダーとしての養成講座を行う。) ②ジュニアリーダー協議会の組織の活性化と資質の向上を図る | B | 昨年度 B |
| 5 | 01080770 | おおさか元気広場推進事業 | 学校教育課 | 法定受託以外の法令 | 1,113 | 703 | 1,816 | 放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、子どもの安全・安心な活動場所を確保し、継続的な活動を展開する。 地域の多様な大人が活動に参画し、子どもの主体的な体験・学習活動を支援する。 子どもどうし、子どもとおとな、おとなどうしの交流活動を活性化する。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 47,166 | 46,866 | 94,032 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域コミュニティ活動の支援

| | | | | | | | | 施策番号 | 5-3-1-1 | |
|-----|----------|---------------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|---------|---------|
| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01005700 | 町会振興事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 37,179 | 15,197 | 52,376 | 町会連合会の事務局として総会や毎月の定例幹事会、その他各種行事を開催する。また、自治振興活動を行っていると認められる団体(市内83町会・自治会、1準団体)を支援するため、報奨金を給付している。町会自治会加入促進事業補助金(町会連合会による活動促進袋の製作・配布)。職員と町会・自治会役員による加入勧奨連携協力。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01005900 | 町会振興補助事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 1,600 | 417 | 2,017 | 町会連合会の活動支援のための補助金を交付。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01083455 | 公益活動助成事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 866 | 1,648 | 2,514 | 助成対象団体が自主的に実施する公益活動に対して、団体指定寄付を活用して助成金を交付する。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01083500 | 上之郷コミュニティセンター管理運営事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 30,671 | 5,011 | 35,682 | ①貸館の運営 ・貸館の許可 ・使用料の徴収、減免等 ②施設の管理業務 ・貸館の開館及び閉館 ・施設の維持管理業務 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 70,316 | 22,273 | 92,589 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域防災の推進

| | | | | | | | | 施策番号 | 5-3-1-2 | |
|-----|----------|---------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|---------|---------|
| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01046500 | 災害対策事業 | 危機管理課 | 市単独事業 | 39,636 | 34,510 | 74,146 | 泉佐野市地域防災計画に基づく防災体制の整備、草の根防災訓練、防災意識の啓発、災害時用の備蓄物品、防災資機材等の整備、維持管理を行っている。 泉佐野市国民保護計画に基づく体制整備、訓練、啓発などを行っている。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01083193 | 原子力防災資機材等管理事業 | 危機管理課 | 市単独事業 | 1,451 | 501 | 1,952 | 平成12年度大阪府原子力防災対策臨時特別交付金により整備した資機材等に係る維持管理事業で、大阪府原子力防災活動資機材維持管理費補助金により実施するもの。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 41,087 | 35,011 | 76,098 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域の防犯対策等の充実

| | | | | | | | | 施策番号 | 5-3-1-3 | | | |
|-----|----------|---------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|---------|--|------|---------|
| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | | | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01001200 | 防犯灯助成事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 25,070 | 4,343 | 29,413 | ①町会等管理防犯灯に対する電気代の補助 ②町会等管理LED防犯灯新設、更新、取換設置費補助 | | | B | 昨年度 B |
| 2 | 01003200 | 防犯推進事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 15,800 | 16,470 | 32,270 | ひったくりや子どもを狙う犯罪、特殊詐欺、青少年の非行などを防止し、安全なまちづくりを行うために様々な啓発活動を行う泉佐野警察署管内防犯協議会に、大和川以南の大阪湾沿岸海域における海上犯罪の予防・海上治安の向上のための活動を行う大阪阪南地区水上防犯協会に、海洋汚染の監視等の活動を行う海上保安協会に対する負担金を負担している。市内に防犯カメラを設置、運用。町会・自治会による防犯カメラ設置費の補助。地域安全センターの運営費の一部を補助。また、青色防犯パトロール事業を展開して、安全・安心なまちづくりを進めている。 | | | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 40,870 | 20,813 | 61,683 | | | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 人権尊重の社会づくり

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 施策番号 | |
|----|----------|----------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|---------|---------|
| | | | | | | | | | 5-3-2-1 | |
| | | | | | | | | | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01007000 | 研修・講座事業(人権推進課) | 人権推進課 | 市単独事業 | 1,532 | 2,650 | 4,182 | ①人権啓発市民講座「あいあい講座」として、講義型の講座とフィールドワークを開催する。 ②「出前講座」として、市民等の団体や企業等で実施する人権研修に市職員が講師として出向き、研修を実施する。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01007100 | 人権啓発事業 | 人権推進課 | 市単独事業 | 1,504 | 6,429 | 7,933 | ①市人権対策本部の啓発事業(各部会啓発活動、町別懇談会及び人権のつどいの開催、街頭啓発など) ②人権研究集会の開催(毎年3月) ③啓発冊子やチラシの作成・配付 ④人権擁護委員活動の支援(啓発活動、人権相談、人権教室など) ⑤人権問題についての情報収集及び提供 ⑥その他(各団体との連携、広報及びHPなどによる啓発、啓発DVD等の貸出など) | B | 昨年度 B |
| 3 | 01007400 | 人権推進活動補助事業 | 人権推進課 | 市単独事業 | 15,934 | 2,505 | 18,439 | 平成15年8月社団法人泉佐野市人権協会が設立され、その後、平成24年3月公益社団法人として大阪府の認可を受け、泉佐野市が実施している人権行政の協力団体として各種の人権啓発事業を実施している。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01007600 | 同和行政推進事業 | 人権推進課 | 法定受託以外の法令 | 112 | 2,577 | 2,689 | 2002(平成14)年度に改訂した「泉佐野市同和行政基本方針」及び2004(平成16)年度に改訂した「泉佐野市同和行政推進プラン」に基づく一般対策事業及び関連施策の調整、関連行政機関及び関係諸団体との調整を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01081720 | 市民交流センター管理運営事業 | 人権推進課 | 法定受託以外の法令 | 277,519 | 6,138 | 283,657 | 北部市民交流センター(本館、青少年分館、体育分館、福祉分館)・北部公民館、南部市民交流センター(本館、青少年センター、体育分館、福祉分館)の管理運営を指定管理者に委託している。隣保館の機能を有する施設として下記の事業運営と施設管理を委託している。 (1)生涯学習のための講座の企画運営や地域住民の自主活動の支援事業 (2)地域住民の自立支援及び相談事業 (3)地域交流活動推進事業 (4)青少年健全育成事業 (5)障がい者支援及び地域福祉推進事業 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 296,601 | 20,299 | 316,900 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 人権擁護の充実

| | | | | | | | | 施策番号 | 5-3-2-2 | | |
|----|----------|-----------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|---------|-----------------------|--|
| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 | |
| 1 | | 情報公開・個人情報保護事務事業 | 総務課 | 市単独事業 | 304 | 6,973 | 7,277 | 1 情報公開制度の運用 2 個人情報保護制度の運用 3 情報公開・個人情報保護審査会の運営 | B | 昨年度 B | |
| 2 | 01007100 | 人権啓発事業 | 人権推進課 | 市単独事業 | 1,504 | 6,429 | 7,933 | ①市人権対策本部の啓発事業(各部会啓発活動、町別懇談会及び人権のつどいの開催、街頭啓発など) ②人権研究集会の開催(毎年3月) ③啓発冊子やチラシの作成・配付 ④人権擁護委員活動の支援(啓発活動、人権相談、人権教室など) ⑤人権問題についての情報収集及び提供 ⑥その他(各団体との連携、広報及びHPなどによる啓発、啓発DVD等の貸出など) | B | 昨年度 B (5-3-2-1に同じ) | |
| 合計 | | | | | 1,808 | 13,402 | 15,210 | | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 恒久平和精神の環境づくり

施策番号 5-3-2-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|-------|-------|-----|------|-------------|-------------|-----------------|---------|------|----------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| | | | | | | | | | 1 | 01007100 |
| 合 計 | | | | | 1,504 | 6,429 | 7,933 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 男女共同参画の実現に向けた社会づくり

施策番号 5-3-2-4

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|--------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| | | | | | | | | | | |
| 1 | 01007200 | 男女共同参画政策推進事業 | 人権推進課 | 市単独事業 | 244 | 4,612 | 4,856 | 男女共同参画社会の実現に向けた以下の事業を行っている。 ①第3次泉佐野市男女共同参画推進計画の推進 ②市人権対策本部男女共同参画部会事業への支援 ③男女共同参画情報誌「Fine」の発行 ④男女共同参画に関する情報収集及び発信 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01007250 | 男女共同参画サポート事業 | 人権推進課 | 市単独事業 | 2,518 | 13,548 | 16,066 | 第3次泉佐野市男女共同参画推進計画を基にいずみさの女性センターにおいて以下の事業を行っている。 ①女性のための相談事業の実施 ②男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業の実施(講座の実施及び街頭啓発) ③地域で男女共同参画社会づくりのリーダーとなる人材の育成 ④男女共同参画社会づくりを推進する活動を行うグループの支援(いずみさの女性センターネットワーク、ゲストティーチャー、講師学習会、その他) ⑤人権研究集会・あいあい講座における企画、共催 ⑥男女共同参画をテーマにした交流事業の実施 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 2,762 | 18,160 | 20,922 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 多文化共生の実現に向けた社会づくり

| | | | | | | | | 施策番号 | 5-3-2-5 | | | |
|----|----------|-----------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|---------|-----------------------|-----|--|
| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | | | 評価欄 | |
| | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 | | | |
| 1 | 01007100 | 人権啓発事業 | 人権推進課 | 市単独事業 | 1,504 | 6,429 | 7,933 | ①市人権対策本部の啓発事業(各部会啓発活動、町別懇談会及び人権のつどいの開催、街頭啓発など) ②人権研究集会の開催(毎年3月) ③啓発冊子やチラシの作成・配付 ④人権擁護委員活動の支援(啓発活動、人権相談、人権教室など) ⑤人権問題についての情報収集及び提供 ⑥その他(各団体との連携、広報及びHPなどによる啓発、啓発DVD等の貸出など) | B | 昨年度 B (5-3-2-1に同じ) | | |
| 2 | 01083040 | 国際交流推進事業(自治振興課) | 自治振興課 | 市単独事業 | 49,896 | 39,201 | 89,097 | 海外友好提携都市(中国上海市徐匯区、上海市宝山区、四川省成都市新都区、山東省聊城市東阿県、山東省威海市、モンゴル国トゥブ県、ウガンダ共和国グル市、ブラジル連邦共和国サンパウロ州マリリア市、ベトナム社会主義共和国ビンディン省、韓国大邱広域市寿城区、アメリカ合衆国カリフォルニア州デイリーシティ)との友好交流事業を行う。さらには、国際都市宣言により、他の海外都市とも交流を実施する。 また、市民を対象とした各種の国際交流事業の企画・実施、並びに地域在住外国人への日本語学習支援等を特定非営利活動法人泉佐野地球交流協会に委託し、本市の国際化・国際交流の推進を図る。 また4年度より、グローバル人材育成支援事業を実施している。 | B | 昨年度 A (5-1-2-2に同じ) | | |
| 合計 | | | | | 51,400 | 45,630 | 97,030 | | | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域で支え合う福祉の促進

施策番号 5-4-1-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-----------------------|---------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01013900 | 民生委員児童委員活動事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 6,664 | 5,918 | 12,582 | 民生委員児童委員の委嘱・解嘱事務。地元町会選出の候補者を民生委員推薦会を経て、府・国へ推薦・進達し、委嘱が決定される。令和4年12月に一斉改選を実施した。任期は3年で、次回は令和7年12月。任期途中で、辞職などによる欠員が生じた場合には、4月・6月・8月・10月・12月・2月に後任者を上記方法にて委嘱する。 また、民生委員児童委員協議会に対し補助金を交付。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01014400 | 戦没者援護事業 | 地域共生推進課 | 法定受託事務 | 426 | 3,412 | 3,838 | 戦没者援護事業として以下の業務を行っている。 ①市主催の戦没者追悼式(10月実施:泉の森レプションホール(平成22年度までは小ホール)) ②恩給等申請経由事務(国の法律により事業量が増加する。) ③その他遺家族の援護事務 ④遺族会理事会開催関係事務 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01014500 | ふれあいのまちづくり事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 13,670 | 835 | 14,505 | 小学校区(長南小校区は2ヶ所)ごとに地区福祉委員会を設置し、グループ支援活動及び個別支援活動をボランティアの協力を得て実施。事務局は市社協。市はこの活動を補助している。なお、当該事業は大阪府地域福祉・高齢者支援交付金事業の対象となっている。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01014940 | コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 35,830 | 835 | 36,665 | 中学校区毎にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、支援を要する人の各種相談を受け、様々なネットワークを活用しながら必要な支援を実施する。また、地域におけるボランティア活動を活性化させるとともに、既存のネットワークのさらなる拡大を図る。なお、本事業は、大阪府地域福祉・高齢者支援交付金の対象事業となっている。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01015200 | 共同浴場施設管理事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 30,975 | 5,011 | 35,986 | 昭和47年に竣工した鶴原共同浴場は、施設の老朽化が著しく、平成21年度に建替え工事に着手、竣工し、平成22年4月に新浴場(RC平屋、延べ床面積425.32㎡、建築価格141,124千円)として運営が開始された。市としては鶴原共同浴場と榎井共同浴場(RC平屋、延べ床面積391.38㎡、平成15年竣工、建築価格170,001千円)の施設管理を行っている。平成24年度より指定管理制度へ移行した。 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01015600 | 地域福祉推進事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 51,506 | 2,088 | 53,594 | 社会福祉協議会等の各種団体への助成及び事業補助。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|--------------|---------|-----------|---------|---------|---------|--|---|-------|
| 7 | 01081730 | 市民後見推進事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 549 | 2,541 | 3,090 | 泉佐野市において「市民後見人養成講座」の企画及び運営を実施し、将来、市民後見人として活動する市民を養成するとともに、円滑に市民後見活動を行えるようサポート体制を整備する。 | A | 昨年度 A |
| 8 | 01082300 | 広域福祉共同処理事務事業 | 広域福祉課 | 法定受託以外の法令 | 7,633 | 136,112 | 143,745 | 広域福祉共同処理事務事業として以下の事務等を行っている。 ①児童福祉施設(保育所)にかかる認可等 ②指定障害福祉サービス事業者の指定等 ③指定居宅サービス事業者の指定等 ④社会福祉法人の設立認可等 ⑤身体障害者手帳の交付等 | B | 昨年度 B |
| 9 | 01083090 | 安心生活基盤構築事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 12,541 | 11,252 | 23,793 | 災害時の避難行動要支援者を把握し、地域での支え合いによる避難支援を促進するための、地域の絆づくり登録制度への登録・個別計画の作成を機会として、日頃の見守り活動やちょっとした困り事などへの適切な支援につなげていけるよう、社会福祉協議会に配置した地域福祉コーディネーターを中心として地域での顔と顔の見える共助の基盤づくりを実施。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 159,794 | 168,004 | 327,798 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域で自分らしく暮らすための支援

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 施策番号 | |
|----|----------|------------------------|---------|--------|-------------|-------------|-----------------|---|---------|---------|
| | | | | | | | | | 5-4-2-1 | |
| | | | | | | | | | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01016100 | 老人保護措置事業 | 地域共生推進課 | 法定受託事務 | 41 | 835 | 876 | 環境上の理由及び経済的理由により在宅での生活が困難な生活保護世帯もしくは市民税均等割以下の世帯に属するおおむね65歳以上の方を養護老人ホーム等へ入所させる。(老人ホーム入所判定委員会により、入所の可否は判定する。) | B | 昨年度 B |
| 2 | 01016400 | 日常生活用具等助成事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 2,609 | 2,505 | 5,114 | 市内に居住するおおむね65歳以上の寝たきり高齢者、あるいはひとり暮らし高齢者に対し、緊急通報装置など日常生活用具を貸与することにより、日常生活の便宜を図る。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01016900 | 老人福祉農園事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 311 | 2,505 | 2,816 | 高齢者の生き甲斐を高めるために福祉農園(安松、箆池、中山池、入園期間3年間、1区画10㎡程度)を無償で貸与し、心身の健康保持及び相互の親睦に寄与する。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01017200 | シルバー人材センター育成事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 37,080 | 1,670 | 38,750 | 高齢者の就業機会の増大と福祉の増進(生きがいを得る)を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある社会づくりに寄与するため、公益社団法人泉佐野シルバー人材センターに対し、資金面での支援を行う。 | B | 昨年度 B |
| 5 | 01017400 | 金婚を祝う会実施事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 1,251 | 3,412 | 4,663 | 結婚50年目を迎えた夫婦の申込み制により、ザ・ジョージアンテラス(平成25年度までは泉の森レセプションホールで行っていた)にて夫妻の記念写真撮影、祝賀状、祝品の贈呈などを行う「金婚を祝う会」を開催する。 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01017500 | ひとり暮らしの高齢者交流会実施事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 2,507 | 1,670 | 4,177 | 65歳以上のひとり暮らし高齢者の相互交流を図るため、泉佐野市民生委員・児童委員協議会に事業実施を委託。市内3地区(日新小学校、エブノ泉の森ホール、南部市民交流センター本館で開催)に分けて実施している。 | B | 昨年度 B |
| 7 | 01017600 | 長寿者祝賀事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 17,380 | 4,128 | 21,508 | 祝品支給事業として以下の事業を行っている。 ①「長寿者市長訪問」・・・敬老と長寿を祝福するため、祝品を持って最高齢者・100歳者宅を市長が訪問 ②「長寿祝金」・・・90歳高齢者に対して、1万円を支給。 ③「90歳祝賀」・・・祝賀状・記念品の贈呈 | B | 昨年度 B |
| 8 | 01017900 | 生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 2,200 | 835 | 3,035 | 概ね65歳以上のひとり暮らしの者、夫婦のみの世帯に属する者及び家族による援助を受けることが困難な者である者を生活支援ハウス(泉ヶ丘園、アムリタ)に、一定期間入居させることにより、安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、高齢者福祉の増進を図る。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|------------------|---------|-----------|---------|-------|---------|--|---|-------|
| 9 | 01022450 | 社会福祉センター管理運営事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 25,201 | 3,341 | 28,542 | 平成29年9月末までは、社会福祉センター(延べ床面積1,762.40㎡、昭和48年竣工、平成4年増築)の施設管理及び会議室の貸室、老人福祉センター部分での入浴サービス・健康相談・各種クラブ活動・健康機器及び談話室の利用提供などの業務を行ない、平成29年10月からは中庄1102番地に移転した社会福祉センター(延べ床面積1294.90㎡)の施設管理及び会議室の貸室、健康相談・各種クラブ活動・健康機器及び談話室の利用提供などの業務を行なっている。 | B | 昨年度 B |
| 10 | 01022800 | 高齢者の生きがいと健康づくり事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 10,347 | 3,030 | 13,377 | 長生会は、高齢者の生きがいと健康づくりを目的として様々な地域活動を行っています。長生会の健全な育成と発展を図り、高齢者福祉の増進に資するため、泉佐野市長生会連合会及び単位長生会に対し、活動費の助成を行っています。 | B | 昨年度 B |
| 11 | 01083289 | 高齢者入浴利用料助成事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 6,336 | 2,958 | 9,294 | 市内4カ所の公衆浴場において、地域ポイント(さのぼ)を使って高齢者の入浴料を助成する。 | B | 昨年度 B |
| 12 | 06090271 | 包括的支援事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 125,853 | 5,083 | 130,936 | ①介護・福祉制度・健康など的高齢者の総合相談窓口 ②高齢者虐待や消費者被害など高齢者の権利を守る相談 ③要支援1・2、介護が必要となるおそれの高い人を対象に、介護予防プランを作成することにより、介護予防のための支援をする。 ④高齢者のための地域のネットワークづくりを支援 | A | 昨年度 A |
| 13 | 06090272 | 高齢者自立支援事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 29,471 | 2,541 | 32,012 | 介護方法の指導や要介護者の家族を支援するための事業、または介護保険事業の運営の安定化及び被保険者が地域で自立した日常生活を送ることを支援するため、給付管理事業や泉佐野市高齢者介護用品給付事業、「食」の自立支援事業、敬老月間に行う高齢者ふれあい交流会(敬老大会)と、平成23年度までは老人福祉施設3カ所において地域の子どもたちも参加し高齢者相互の交流と世代間交流を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 14 | 06090610 | 一般介護予防事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 37,523 | 6,443 | 43,966 | ・市内2箇所の街かどデイハウス支援事業実施団体に、一般介護予防事業として、運動機能・認知症予防などの事業を委託することにより、高齢者の自立生活を支援する。 ・介護支援サポーターの活動実績を評価した上で、介護支援サポーター活動評価ポイントを付与し、当該高齢者の申し出により泉佐野地域ポイントを付与する。 ・市内の町会館や公共施設でカラオケ機器を利用し、歌と音楽を中心とした介護予防教室を実施する。 | B | 昨年度 B |
| 15 | 06090620 | 在宅医療・介護連携推進事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 11,303 | 4,176 | 15,479 | 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の医療・介護の関係者が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援を行う。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------------|---------|-------|---------|--------|---------|---|---|-------|
| 16 | 06090630 | 生活支援体制整備事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 32,448 | 1,288 | 33,736 | 日常生活上の支援を必要とする高齢者等が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による生活支援・介護サービス等の提供体制の整備を推進するため、資源開発やネットワーク構築等のコーディネート機能を担う生活支援コーディネーターを配置し、定期的な情報共有及び連携強化を行う場として協議体を運営し、サービス提供実施主体や地域住民と連携して支援体制の充実・強化を行うことにより、全世代を対象とした地域づくりを推進し、もって地域共生社会の実現を図る。 | B | 昨年度 A |
| 17 | 06090640 | 認知症総合支援事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 9,266 | 5,083 | 14,349 | 認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置し、認知症の人や関係機関との連携を図り、地域の方々への認知症の知識の普及活動等を行い、認知症施策の強化を図ります。 | B | 昨年度 B |
| 18 | | 高齢者保健事業 | 国保年金課 | 未入力 | 1,670 | 5,453 | 7,123 | 高齢者に対して次の業務を実施する。 1 健診未受診で、医療や介護の利用がない健康状態不明者に対する支援。 2 低栄養状態が予測される高齢者を対象に生活習慣改善に係る支援や指導 3 地域の通いの場等の高齢者が利用する場において、運動・栄養・口腔等のフレイル予防に関する健康教育・健康相談・普及啓発活動 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 352,797 | 56,956 | 409,753 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域における自立した生活への支援

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 施策番号 | |
|----|----------|-----------------|---------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|---------|---------|
| | | | | | | | | | 5-4-3-1 | |
| | | | | | | | | | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01019900 | 特別障害者手当等給付事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 88,137 | 2,505 | 90,642 | 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当支給に伴う事務を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01020000 | 障害者短期入所事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 45,924 | 2,612 | 48,536 | 障害者総合支援法に基づき、障害者の介助者が疾病等の理由で家庭において介護困難となった際に、一時的に施設に入所させる。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01020200 | 障害者ホームヘルプサービス事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 547,564 | 2,612 | 550,176 | 障害者総合支援法に基づき、在宅障害者にホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助等のサービスを提供する。また、平成23年10月からの法改正により、重度の視覚障害者の移動支援として「同行援護」サービスを実施。 | A | 昨年度 A |
| 4 | 01020300 | 障害者施設入所等支援事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 2,434,823 | 13,352 | 2,448,175 | 障害者入所支援事業として以下の事業を行っている。 ①(施設入所)障害者総合支援法に基づき、施設支援等の支給決定を行い、障害者の自立支援を図る。 ②(補装具)身体の不自由な部分を補って日常生活を容易にするために、補装具の給付や修理を行う。 ③(更生医療)障害を軽減する手術等、身体障害者の更生に必要な医療を行う。 | A | 昨年度 A |
| 5 | 01020400 | 障害者交流事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 213 | 1,002 | 1,215 | 泉佐野市・田尻町自立支援協議会において、「障害理解への促進と障害のある人となない人の交流機会の拡充を図るとともに住みよいまちづくりを進める」ことを目的として障害者週間啓発交流事業の共同開催。また、高石市以南の8市4町で阪南地区障害者スポーツ・レクリエーション大会を実施。 | B | 昨年度 B |
| 6 | 01020410 | 障害者地域生活支援事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 116,542 | 13,519 | 130,061 | ①手話及び点訳奉仕員養成講座に係る事務 ②点訳奉仕員養成講座に係る事務 ③手話奉仕員等の派遣に係る事務 ④日常生活用具の給付に係る事務 ⑤移動支援、日中一時支援及び訪問入浴サービスの支給に係る事務 | A | 昨年度 B |
| 7 | 01020500 | 障害者医療費助成事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 232,651 | 12,398 | 245,049 | 重度障害者および中度以上の障害児の医療に要した費用の健康保険適用分の自己負担分を助成する。 | B | 昨年度 B |
| 8 | 01020700 | 身障手帳無料診断事業 | 地域共生推進課 | 市単独事業 | 555 | 584 | 1,139 | 生活保護受給世帯以外の市民税非課税世帯に対し、身体障害者手帳交付申請時に添付する診断書作成に要した経費(診断料)を助成する。 | B | 昨年度 B |
| 9 | 01021200 | 特別児童扶養手当事務事業 | 地域共生推進課 | 法定受託事務 | 76 | 1,670 | 1,746 | 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、大阪府から委任されている認定請求書等の受付及び府への送達に伴う事務を行っている。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|-----------------|---------|-----------|-----------|--------|-----------|---|---|-------|
| 10 | 01021300 | 障害者共同生活援助等事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 549,432 | 2,612 | 552,044 | 障害者総合支援法に基づき、地域のグループホーム等で生活する障害者に対し、食事の提供や相談及び日常生活の援助を行い、障害者の自立生活を支援する。 | A | 昨年度 A |
| 11 | 01021400 | 障害者相談支援事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 41,441 | 835 | 42,276 | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、身体障害、知的障害及び精神障害等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎ、相談支援事業者に対する専門的な指導・助言、人材育成の支援、地域移行に向けた取組等を実施する。また、在宅障害者の日中の居場所として、創作的活動等の機会を提供する。 | B | 昨年度 B |
| 12 | 01021440 | 障害支援区分認定審査会運営事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 13,958 | 5,930 | 19,888 | 障害支援区分認定基準に照らして審査及び判定を行い、市が支給要否決定を行うにあたり意見を聴く。 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 4,071,316 | 59,631 | 4,130,947 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 健康づくり支援の充実

施策番号 5-4-4-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|---------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01026700 | 健康づくり事業 | 健康推進課 | 法定受託以外の法令 | 97,534 | 6,682 | 104,216 | ・第2次健康増進計画・食育推進計画を令和2年3月に策定した。以下の基本目標の達成のため取組を展開する。平成29年度には健康都市連合に加入し、市民の健康づくり、健康な都市づくりをより一層推進する。 ①健康寿命の延伸 ②生活習慣病の発症及び重症化の予防 ③健康を支え、守るための環境整備 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01027000 | 公衆衛生対策事業 | 健康推進課 | 市単独事業 | 1,126 | 83 | 1,209 | 大阪府が設置している泉佐野保健所のための用地(泉佐野市上瓦屋583-1)の借地を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01028100 | 健康増進健康指導事業 | 健康推進課 | 法定受託以外の法令 | 1,004 | 14,702 | 15,706 | 健康教育、健康相談、訪問指導等を実施。健康教育、健康相談、訪問指導等について、平成18年度より介護保険法の改正に伴い、対象が40歳以上65歳未満へと移行。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01081740 | 健康マイレージ事業 | 健康推進課 | 市単独事業 | 18,520 | 15,107 | 33,627 | H24年度から開始した事業で、日ごろから、自ら健康づくりへの機運を高め、健康づくりへの動機付け支援と健康的な生活習慣の定着を促し、健康づくりに対する意識を広く普及する。R6年1月より健康マイレージ事業がデジタル化し、健康講座等の参加者に「さの健康ポイント」を付与する。R6年度より健(検)診を受診すると健康マイレージ事業のポイントを付与する。 | A | 昨年度 B |
| 5 | 02050290 | 健康増進事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 1,139 | 2,088 | 3,227 | 保健指導事業において特定健診受診者のうち受診勧奨対象者で受診歴がない人への訪問指導及び特定保健指導対象者ではないが境界域にいる人への早期介入保健指導の実施、温水プール体験教室、市民健康ハイキング(年2回)を実施している。 | B | 昨年度 B |
| 6 | | 予防接種事業(健康推進課) | 健康推進課 | 未入力 | 119,630 | 33,006 | 152,636 | 予防接種法に基づく予防接種。H26年度から開始した高齢者肺炎球菌ワクチンは、R5年度まで特例措置を実施。高齢者インフルエンザの実施。R2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、高齢者インフルエンザ助成を拡充。R3年度は一般市民への新型コロナウイルスワクチン接種が開始された。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 238,953 | 71,668 | 310,621 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 疾病の予防・早期発見の推進

施策番号 5-4-4-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01027200 | 結核予防事業 | 健康推進課 | 法定受託以外の法令 | 2,397 | 1,252 | 3,649 | 結核予防事業として、40歳以上の市民のレントゲン撮影を行っている。 平成30年度からXP撮影及び読影の費用を健康増進健康診査事業より移行。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01028000 | 健康増進健康診査事業 | 健康推進課 | 法定受託以外の法令 | 73,896 | 29,522 | 103,418 | 40才以上の市民に対して、健康診査(無保険者のみ)、胃がん、大腸がん、肺がん等の疾病検診を実施。20才以上の女性の市民に対して子宮がん検診の実施、40才以上の女性の市民に対して乳がん検診(マンモグラフィ)、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診を実施している。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 02050310 | 保健医療事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 29,749 | 751 | 30,500 | 保健医療事業として、人間ドック(30歳以上:本人負担13,000円)、脳ドック(40歳以上被保険者:本人負担15,000円)の実施、基本健診(15歳以上40歳未満):本人負担1,000円、医療費通知の実施をしている。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 106,042 | 31,525 | 137,567 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 医療体制の充実

施策番号 5-4-4-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-----------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01027100 | 地域医療推進事業 | 健康推進課 | 市単独事業 | 91,704 | 334 | 92,038 | 泉佐野泉南医師会、泉佐野泉南医師会看護専門学校及び泉州広域母子医療センターへの事業補助金(負担金)の交付 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01027110 | 泉州医療圏二次救急医療対策事業 | 健康推進課 | 市単独事業 | 3,941 | 167 | 4,108 | 高石市から岬町までの8市4町の泉州医療圏で分担し、医療機関に対し二次救急医療対策事業運営費補助金を交付し、救急医療対策の確保を行う。(救急医療体制・・・初期救急医療:外来診療によって救急患者に対応する。二次救急医療:入院治療を必要とする重症救急患者に対応する。三次救急医療:二次救急では対応できない重篤な救急患者に対し高度な医療を提供する。) | B | 昨年度 B |
| 3 | 01083070 | 初期急病センター運営事業 | 健康推進課 | 市単独事業 | 79,785 | 3,341 | 83,126 | 泉州南部初期急病センターの運営。(泉佐野市、熊取町、田尻町・泉南市・阪南市・岬町が共同して運営している休日等における急病患者への応急処置のための診療所) 診療科目:内科、小児科 診療時間 土曜日:18:00から21:00 日曜日・祝日・年末年始:10:00から17:00 木曜日:20:00から23:00(小児科のみ) | B | 昨年度 B |
| 4 | 01083080 | 初期急病センター施設管理事業 | 健康推進課 | 市単独事業 | 5,580 | 2,505 | 8,085 | 休日等診療施設(泉州南部初期急病センター:496㎡平成26年竣工、建築価格122,451千円)の維持・管理 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 181,010 | 6,347 | 187,357 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 消防・防災の充実

施策番号 5-5-1-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|-------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01045400 | 消防活動事業(消防団) | 危機管理課 | 市単独事業 | 19,256 | 13,047 | 32,303 | 火災等の災害及び訓練等に出動した消防団員に対する出動報酬の支払い処理や消防団員が安全で活動しやすい消防団運営ができるよう支援する。(7分団、170人) | B | 昨年度 B |
| 2 | 01045500 | 庁舎管理事業(消防団) | 危機管理課 | 市単独事業 | 2,683 | 3,156 | 5,839 | 消防団の各分団車庫及び詰所を有効に活用できるよう維持管理する。(5分団7箇所、延床面積1003.37㎡) | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 21,939 | 16,203 | 38,142 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 環境衛生の充実

施策番号 5-5-2-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------|-------|--------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01029000 | 公園墓地施設管理事業 | 環境衛生課 | 市単独事業 | 28,714 | 15,214 | 43,928 | 泉佐野市公園墓地施設の草刈り、清掃など(管理事務所:RC平屋 H6竣工 建築価格61,500千円) (合葬式墓地:H30竣工 建築価格34,884千円) | B | 昨年度 B |
| 2 | 01029100 | 公衆便所施設管理事業 | 環境衛生課 | 市単独事業 | 11,054 | 8,364 | 19,418 | 犬鳴山バス停(38.47㎡、H11竣工、建築価格35,175千円)、泉佐野駅上(37.57㎡、R4.12供用開始、JA三井リース建物(株)建築、維持管理は環境衛生課)、りんくうタウン駅南側ロータリー(85㎡、建築価格5,160千円)、日根野駅前(27.33㎡、H27竣工、建築価格23,004千円)東佐野駅前(37.22㎡、H29竣工、建築価格19,764千円)、長滝駅前(84.44㎡、R01竣工、建築価格38,082千円)計6箇所の公衆便所の管理。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01081310 | 斎場管理運営事業 | 環境衛生課 | 市単独事業 | 60,536 | 4,009 | 64,545 | 泉佐野市営檀波羅浄園附設火葬場の管理運営を行う。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01082250 | 専用水道等指導事業 | 環境衛生課 | 法定受託事務 | 213 | 3,531 | 3,744 | 水道法に基づき、専用水道、簡易専用水道等について、適切な管理運営が行われるよう、設置者に対して必要な指導等を行う。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 100,517 | 31,118 | 131,635 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 環境保全の推進

施策番号 5-5-2-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|-----------------------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01009300 | 交通安全教育事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 74,638 | 8,829 | 83,467 | 交通安全教室、交通安全に関する各種講習会の開催。警察等と連携のもと、交通安全対策を図る。各種団体と連携・協力のもと交通安全運動を展開し、交通安全思想の普及や意識の高揚を図り、交通安全の推進と交通事故抑止に努める。高齢者の運転免許自主返納を促すため、地域ポイント「さのぼ」10万ポイント進呈事業を行なっている。小学生以下の自転車用ヘルメット購入の助成として地域ポイント「さのぼ」ポイント(購入額の1/2、上限3千円)進呈事業を行なっている。 | B | 昨年度 B (5-5-4-2に同じ) |
| 2 | 01009400 | 自転車等駐車場運営事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 90,173 | 5,489 | 95,662 | 市内6駅周辺の9か所に自転車置場を設置し、指定管理者により管理・運営を実施する。 | B | 昨年度 B (5-5-4-2に同じ) |
| 3 | 01029300 | 公害対策事業 | 環境衛生課 | 法定受託以外の法令 | 6,212 | 27,982 | 34,194 | 生活環境の保全、公害に関する苦情の解決のため以下の業務を行っている。 ①規制基準適否について測定を実施し、苦情者へは説明、事業場(行為者)へは行政指導、公害関係届出事業場への立ち入り検査 ②騒音規制法、振動規制法及び悪臭防止法に基づく規制地域及び規制基準等の指定(第2次一括法による法改正、平成23年度告示、平成24年4月1日より実施) ③公害届出事業場の届出受付業務 ④特定建設作業実施届出書受付業務 ⑤りんくうタウン進出事業場公害防止協定締結業務 ⑥市報等による環境情報啓発等業務 ⑦家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設置費補助金交付業務 ⑧自家消費向け家庭用、事業所用太陽光発電システム及び蓄電池設置費補助金業務 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------|----------|-------|-------|--------|---------|---------|---|---|-------|
| 4 | 01038190 | クリーン推進事業 | 環境衛生課 | 市単独事業 | 22,799 | 104,677 | 127,476 | 清潔で緑豊かな泉佐野市の実現を図るため以下の事業を実施している。 ①市内クリーン活動(町会、自治会等の清掃活動に対し、ごみ収集・報償金支給) ②不法投棄物の収集運搬及びその事案対策 ③9月(環境美化月間)の取組 ④不法屋外広告物の処理及びその対策 ⑤空地に関する啓発業務 ⑥泉佐野市環境美化活動協力員・協力事業所登録制度の運営 ⑦放置フン対策等委託業務(放置フンGメン) ⑧放置フン及び路上喫煙対策(環境巡視員) ⑨動物適正飼養に関する啓発業務 ⑩花とみどりのボランティア活動支援業務 ⑪まち美化清掃委託業務 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 29,011 | 132,659 | 161,670 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 循環型社会の構築

施策番号 5-5-2-3

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01030700 | ごみ収集事業 | 環境衛生課 | 法定受託以外の法令 | 1,010,018 | 50,094 | 1,060,112 | 一般廃棄物の収集運搬、処分及び再資源化にかかる事務。 企画・調整、各種許可、業務委託にかかる事務。 ごみ処理手数料にかかる事務。 公共施設から発生する廃棄物のリサイクル業務 ふれあい収集業務 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01080080 | 廃棄物中継施設管理事業 | 環境衛生課 | 法定受託以外の法令 | 217 | 15,930 | 16,147 | 平成20年4月1日から実施しているペットボトル本体を除く容器包装プラスチックの再資源化に伴う、廃棄物を一時保管する施設の管理業務。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 1,010,235 | 66,024 | 1,076,259 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 安全で適切な廃棄物処理の推進

| | |
|------|-----------------------|
| 施策番号 | 5-5-3-1 |
| 評価欄 | |
| 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| B | 昨年度 B (5-5-2-3に同じ) |

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|--------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|-----------------------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01030700 | ごみ収集事業 | 環境衛生課 | 法定受託以外の法令 | 1,010,018 | 50,094 | 1,060,112 | 一般廃棄物の収集運搬、処分及び再資源化にかかる事務。 企画・調整、各種許可、業務委託にかかる事務。 ごみ処理手数料にかかる事務。 公共施設から発生する廃棄物のリサイクル業務 ふれあい収集業務 | B | 昨年度 B (5-5-2-3に同じ) |
| 合 計 | | | | | 1,010,018 | 50,094 | 1,060,112 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 消費生活の安定・向上

施策番号 5-5-4-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|----------------|---------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01036700 | 消費者行政事業 | まちの活性化課 | 法定受託以外の法令 | 0 | 2,923 | 2,923 | 計量法に基づく計量目立ち入り検査協力のほか、消費生活用製品安全法・家庭用品品質表示法・ガス事業法・電気用品安全法・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく立入検査を実施。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01082280 | 消費生活センター運営事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 7,285 | 19,165 | 26,450 | 消費生活センターを通じて、消費者の相談対応及び消費者への啓発並びに情報提供を実施。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01082290 | 消費生活センター施設管理事業 | まちの活性化課 | 市単独事業 | 801 | 226 | 1,027 | 泉佐野市消費生活センター施設管理 | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 8,086 | 22,314 | 30,400 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 交通安全の推進

施策番号 5-5-4-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|-------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01009300 | 交通安全教育事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 74,638 | 8,829 | 83,467 | 交通安全教室、交通安全に関する各種講習会の開催。警察等と連携のもと、交通安全対策を図る。各種団体と連携・協力のもと交通安全運動を展開し、交通安全思想の普及や意識の高揚を図り、交通安全の推進と交通事故抑止に努める。高齢者の運転免許自主返納を促すため、地域ポイント「さのぼ」10万ポイント進呈事業を行なっている。小学生以下の自転車用ヘルメット購入の助成として地域ポイント「さのぼ」ポイント(購入額の1/2、上限3千円)進呈事業を行なっている。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01009400 | 自転車等駐車場運営事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 90,173 | 5,489 | 95,662 | 市内6駅周辺の9か所に自転車置場を設置し、指定管理者により管理・運営を実施する。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01009500 | 放置自転車対策事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 11,060 | 4,844 | 15,904 | 市内各駅周辺の放置自転車禁止指導整理区域内において放置自転車の状況により、定期的に放置自転車への警告・撤去を行う。放置自転車の告示・照会、所有者から撤去保管手数料を徴収し、再度放置しない旨の誓約書の提出を求める。業務を民間業者へ委託している。 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01009650 | 自動車駐車場運営事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 1,706 | 2,731 | 4,437 | 泉佐野市自動車駐車場管理運営に関する要綱・泉佐野市自動車駐車場管理業務処理要領に基づく自動車駐車場の維持・管理を行う。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 177,577 | 21,893 | 199,470 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 快適で住みやすいまちづくり

施策番号 5-6-1-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01009700 | コミュニティバス事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 60,464 | 4,318 | 64,782 | 路線バスが運行していない地域の交通手段を確保するため、泉佐野駅を起点として市内主要公共施設などを巡回するコミュニティバスを「北回り」「中回り」「南回り」「西回り」の4コースで運行しています。 また、日曜日、祝日には、観光客が市内の観光地及び商業施設を訪れる交通手段として観光周遊バスを運行しています。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01009710 | 路線バス運賃助成事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 2,569 | 2,731 | 5,300 | 大木・土丸・東上地区に住所(在宅者)を有する満65歳以上の方を対象に、路線バス(犬鳴線)を利用する際、かかる運賃の一部を助成する。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 63,033 | 7,049 | 70,082 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 道路環境の充実と道路網の整備

施策番号 5-6-1-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01037410 | 土木管理事業 | 道路公園課 | 法定受託以外の法令 | 11,660 | 57,027 | 68,687 | 市の土地(道路、里道や水路などの法定外公共物、公園)と民有地との境界明示。道路などに継続して占有物件を使用する為の申請、里道機能や水路機能を喪失した法定外公共物の用途廃止などの申請、風致地区内の土地に新築・造成などをの行為を行う場合の申請 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01037420 | りんくうタウン共同溝管理事業 | 道路公園課 | 法定受託以外の法令 | 18,451 | 250 | 18,701 | 平成19年度より大阪府から移管された施設であり、大阪府、泉佐野市及び各埋設事業者間における「りんくうタウン共同溝管理規定」に基づき、一元管理を原則とした維持管理事業 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01039200 | 道路等施設保全事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 47,814 | 16,706 | 64,520 | ①市道の補修・点検作業 ②路面清掃作業 ③浚渫作業・スクリーン・会所・管清掃点検作業 ③営繕作業(施設営繕、消毒等) | B | 昨年度 B |
| 4 | 01070140 | 道路維持事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 84,587 | 16,706 | 101,293 | 市道にかかる以下の維持管理業務を行っている。 ①街路樹維持管理(植樹帯の剪定、灌水、害虫駆除) ②除草 ③道路照明、地下道排水ポンプ等の修繕 ④地下道排水ポンプの点検 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 162,512 | 90,689 | 253,201 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 憩いとレクリエーション空間の形成

施策番号 5-6-2-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|----------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01041400 | 公園施設管理事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 171,259 | 46,300 | 217,559 | 公園施設の修繕、公園トイレの保守点検、汲み取り、照明の点灯等維持管理。(北中公園、末広公園、上田ヶ丘公園、大井関公園など) | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 171,259 | 46,300 | 217,559 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 安全で安定した水の供給

| | |
|------|---------|
| 施策番号 | 5-6-3-1 |
|------|---------|

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|-------|-------|-----|------|-------------|-------------|-----------------|---------|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合 計 | | | | | 0 | 0 | 0 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 下水道整備の推進

施策番号 5-6-3-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01039800 | 排水施設管理事業 | 経営総務課 | 市単独事業 | 48,572 | 15,488 | 64,060 | ①市内一円スクリーン清掃業務 水路の通水阻害とならないよう、適宜スクリーン清掃を行う。 ②浸水対策用ポンプ点検業務 計画以上の降水量による浸水の発生に対応する為、その対策として浸水対策用雨水ポンプを設置。降雨時に適正に稼動するよう定期的に保守点検(5回/年12箇所19台)している。 ③円田川排水ポンプ設備維持管理業務 施設が適正に稼動するよう定期点検を実施。ゴミを当ポンプ場で引き上げ処分する。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 48,572 | 15,488 | 64,060 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 安全で快適な住宅地の整備

施策番号 5-6-4-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|--------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01040640 | 既存建築物耐震化推進事業 | 都市計画課 | 法定受託以外の法令 | 18,779 | 9,188 | 27,967 | 耐震改修促進計画の促進並びに耐震診断補助制度の啓発及び対象建築物所有者の耐震診断・設計・改修・除却・改造費用に対して補助金を交付する。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01083228 | 特定空家対策事業 | 都市計画課 | 市単独事業 | 28,526 | 16,610 | 45,136 | 泉佐野市空家等対策協議会を開催し、特定空家指定などの意見を聴取する。特定空家等を解消するため、相続財産清算人申立てや寄付受けにより取得した建物を除却する。行政代執行等法に基づき、建物を除却する。木造の不良住宅の除却工事を行う所有者に対し、除却の補助金を交付する。 | A | 昨年度 A |
| 合計 | | | | | 47,305 | 25,798 | 73,103 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 市営住宅の整備

施策番号 5-6-4-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01042900 | 市営住宅管理事務事業 | 建築住宅課 | 市単独事業 | 5,638 | 54,534 | 60,172 | ①市営住宅空家入居者募集 ②市営住宅入居者の異動・同居承認・名義承継等の入居管理 ③市営住宅家賃決定に係る収入の認定及び家賃の算定 ④市営住宅家賃等の徴収及び滞納者に対する納付催告 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01043000 | 市営住宅施設管理事業 | 建築住宅課 | 市単独事業 | 68,697 | 32,576 | 101,273 | ①市営住宅及び関連施設の修繕対応及び維持管理 ②市営住宅駐車場の管理 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 74,335 | 87,110 | 161,445 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域に合った都市機能の形成、安全で快適なまちづくりの推進

施策番号 5-6-5-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|----------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|----------------------------------|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01070301 | 市街地再開発事業 | 都市計画課 | 法定受託以外の法令 | 7,003 | 2,123 | 9,126 | 栄町街区まちづくり研究会運営。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01083420 | 地籍調査事業 | 道路公園課 | 法定受託以外の法令 | 14,557 | 6,443 | 21,000 | 国土調査法に基づく土地1筆ごとの地番、地目、面積、所有者等の調査 | B | 昨年度 A |
| 合 計 | | | | | 21,560 | 8,566 | 30,126 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 快適で住みやすいまちづくり

施策番号 5-6-1-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01009700 | コミュニティバス事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 60,464 | 4,318 | 64,782 | 路線バスが運行していない地域の交通手段を確保するため、泉佐野駅を起点として市内主要公共施設などを巡回するコミュニティバスを「北回り」「中回り」「南回り」「西回り」の4コースで運行しています。 また、日曜日、祝日には、観光客が市内の観光地及び商業施設を訪れる交通手段として観光周遊バスを運行しています。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01009710 | 路線バス運賃助成事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 2,569 | 2,731 | 5,300 | 大木・土丸・東上地区に住所(在宅者)を有する満65歳以上の方を対象に、路線バス(犬鳴線)を利用する際、かかる運賃の一部を助成する。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 63,033 | 7,049 | 70,082 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 道路環境の充実と道路網の整備

施策番号 5-6-1-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01037410 | 土木管理事業 | 道路公園課 | 法定受託以外の法令 | 11,660 | 57,027 | 68,687 | 市の土地(道路、里道や水路などの法定外公共物、公園)と民有地との境界明示。道路などに継続して占有物件を使用する為の申請、里道機能や水路機能を喪失した法定外公共物の用途廃止などの申請、風致地区内の土地に新築・造成などをの行為を行う場合の申請 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01037420 | りんくうタウン共同溝管理事業 | 道路公園課 | 法定受託以外の法令 | 18,451 | 250 | 18,701 | 平成19年度より大阪府から移管された施設であり、大阪府、泉佐野市及び各埋設事業者間における「りんくうタウン共同溝管理規定」に基づき、一元管理を原則とした維持管理事業 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01039200 | 道路等施設保全事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 47,814 | 16,706 | 64,520 | ①市道の補修・点検作業 ②路面清掃作業 ③浚渫作業・スクリーン・会所・管清掃点検作業 ③営繕作業(施設営繕、消毒等) | B | 昨年度 B |
| 4 | 01070140 | 道路維持事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 84,587 | 16,706 | 101,293 | 市道にかかる以下の維持管理業務を行っている。 ①街路樹維持管理(植樹帯の剪定、灌水、害虫駆除) ②除草 ③道路照明、地下道排水ポンプ等の修繕 ④地下道排水ポンプの点検 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 162,512 | 90,689 | 253,201 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 憩いとレクリエーション空間の形成

施策番号 5-6-2-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|----------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01041400 | 公園施設管理事業 | 道路公園課 | 市単独事業 | 171,259 | 46,300 | 217,559 | 公園施設の修繕、公園トイレの保守点検、汲み取り、照明の点灯等維持管理。(北中公園、末広公園、上田ヶ丘公園、大井関公園など) | B | 昨年度 B |
| 合 計 | | | | | 171,259 | 46,300 | 217,559 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 安全で安定した水の供給

| | |
|------|---------|
| 施策番号 | 5-6-3-1 |
|------|---------|

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|-------|-------|-----|------|-------------|-------------|-----------------|---------|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合 計 | | | | | 0 | 0 | 0 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 下水道整備の推進

施策番号 5-6-3-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|----------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|--|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01039800 | 排水施設管理事業 | 経営総務課 | 市単独事業 | 48,572 | 15,488 | 64,060 | ①市内一円スクリーン清掃業務 水路の通水阻害とならないよう、適宜スクリーン清掃を行う。 ②浸水対策用ポンプ点検業務 計画以上の降水量による浸水の発生に対応する為、その対策として浸水対策用雨水ポンプを設置。降雨時に適正に稼働するよう定期的に保守点検(5回/年12箇所19台)している。 ③円田川排水ポンプ設備維持管理業務 施設が適正に稼働するよう定期点検を実施。ゴミを当ポンプ場で引き上げ処分する。 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 48,572 | 15,488 | 64,060 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 安全で快適な住宅地の整備

施策番号 5-6-4-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|--------------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01040640 | 既存建築物耐震化推進事業 | 都市計画課 | 法定受託以外の法令 | 18,779 | 9,188 | 27,967 | 耐震改修促進計画の促進並びに耐震診断補助制度の啓発及び対象建築物所有者の耐震診断・設計・改修・除却・改造費用に対して補助金を交付する。 | A | 昨年度 A |
| 2 | 01083228 | 特定空家対策事業 | 都市計画課 | 市単独事業 | 28,526 | 16,610 | 45,136 | 泉佐野市空家等対策協議会を開催し、特定空家指定などの意見を聴取する。特定空家等を解消するため、相続財産清算人申立てや寄付受けにより取得した建物を除却する。行政代執行等法に基づき、建物を除却する。木造の不良住宅の除却工事を行う所有者に対し、除却の補助金を交付する。 | A | 昨年度 A |
| 合計 | | | | | 47,305 | 25,798 | 73,103 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 市営住宅の整備

施策番号 5-6-4-2

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|----|----------|------------|-------|-------|-------------|-------------|-----------------|---|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01042900 | 市営住宅管理事務事業 | 建築住宅課 | 市単独事業 | 5,638 | 54,534 | 60,172 | ①市営住宅空家入居者募集 ②市営住宅入居者の異動・同居承認・名義承継等の入居管理 ③市営住宅家賃決定に係る収入の認定及び家賃の算定 ④市営住宅家賃等の徴収及び滞納者に対する納付催告 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01043000 | 市営住宅施設管理事業 | 建築住宅課 | 市単独事業 | 68,697 | 32,576 | 101,273 | ①市営住宅及び関連施設の修繕対応及び維持管理 ②市営住宅駐車場の管理 | B | 昨年度 B |
| 合計 | | | | | 74,335 | 87,110 | 161,445 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 地域に合った都市機能の形成、安全で快適なまちづくりの推進

施策番号 5-6-5-1

| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
|-----|----------|----------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|----------------------------------|------|---------|
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01070301 | 市街地再開発事業 | 都市計画課 | 法定受託以外の法令 | 7,003 | 2,123 | 9,126 | 栄町街区まちづくり研究会運営。 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01083420 | 地籍調査事業 | 道路公園課 | 法定受託以外の法令 | 14,557 | 6,443 | 21,000 | 国土調査法に基づく土地1筆ごとの地番、地目、面積、所有者等の調査 | B | 昨年度 A |
| 合 計 | | | | | 21,560 | 8,566 | 30,126 | | | |

令和7年度行政評価 事務事業評価一覧表

施策 その他

| | | | | | | | | 施策番号 | 5-7-1-1 | |
|----|----------|----------|-------|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|---------|---------|
| NO | 予算コード | 事務事業名 | 担当課 | 実施根拠 | 事業費 (千円) | 人件費 (千円) | 事業費+人件費 (千円) | 事務事業の内容 | 評価欄 | |
| | | | | | | | | | 1次評価 | 昨年度評価結果 |
| 1 | 01000300 | 議会運営事業 | 議会事務局 | 法定受託以外の法令 | 6,211 | 27,696 | 33,907 | 議会運営事業として以下の会議にかかる業務を処理している。 ①本会議開催(3月定例会、6月定例会、9月定例会、12月定例会及び臨時会) ②委員会開催(常任委員会:総務産業委員会・厚生文教委員会)(議会運営委員会) (特別委員会:関空りんくうまちづくり特別委員会) (特設委員会:行財政委員会・りんくう総合医療センター対策委員会) ③議案処理 ④市議会だより発行、インターネットによる議会中継配信(本会議、委員会) ⑤ペーパーレス会議システムの運用 | B | 昨年度 B |
| 2 | 01000400 | 議会調査研究事業 | 議会事務局 | 市単独事業 | 9,386 | 14,712 | 24,098 | 各党派の政務活動、資料作成等に資すると共に、市政へ反映するために必要な経費に対し補助を行い、その他議員の調査研究全般に関する事務処理を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 3 | 01000500 | 会議録作成等事業 | 議会事務局 | 法定受託以外の法令 | 2,979 | 6,300 | 9,279 | 会議録作成等事業として以下の業務を行っている。 ①定例会・臨時会の会議録の作成 ②予算・決算委員会の会議録の作成 ③常任・特別・特設委員会の会議録の作成 ④ホームページに登載している会議録検索システムの更新 | B | 昨年度 B |
| 4 | 01000900 | 秘書事務事業 | 秘書課 | 市単独事業 | 4,023 | 34,868 | 38,891 | 市長、副市長の公務の円滑な遂行を補助するとともに、各種行事や面談等の日程調整及び随行を行う。 ①市交際費:市の交際上必要なもの、並びに市において市長等が公務執行のため必要とする交際費の執行管理。②公用車運転業務:市長・副市長等の公務を円滑かつ迅速に遂行するため、主に副市長車の運行業務の補助のために臨時嘱託員を雇用していたが、平成23年度で廃止した。③負担金:国等へ地方自治に影響を及ぼす法律・政令等に関する意見・要望等の事務処理を行う。 ④平成23年度(H24.1)をもって互礼会の開催をとりやめていたが、平成29年度(H30.1)より開催。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|-------------------|-------|-----------|---------|--------|---------|--|---|-------|
| 5 | 01001000 | 表彰事業 | 秘書課 | 市単独事業 | 252 | 8,353 | 8,605 | ①善行者表彰は、町会等より推薦を受けた被表彰候補者について選考委員会において選考の上決定し、表彰を行う。②有功者表彰は、市長、議員等規定を満たす者を有功者として表彰する。③大阪府知事表彰、④叙勲は、地方自治功労分野において功績のあった者を府、国に推薦する。⑤名誉市民条例に基づき、該当者に名誉市民の称号を贈る顕彰式を実施する。⑥文化・スポーツ功労者、ふるさと功労者、市政特別功労者、市民栄誉賞に該当する者を表彰する。(平成27年度より) | B | 昨年度 B |
| 6 | 01001500 | 電算管理運営事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 166,725 | 15,357 | 182,082 | 市の根幹となる住民情報の維持管理及び各課での大量帳票の月例処理などについて、自治体クラウドでのパッケージソフトを利用したシステムに移行している。また、全利用課に関連する横断的な事案についての企画・調整・運用業務を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 7 | 01001600 | 情報政策(地域イントラネット)事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 127,177 | 15,357 | 142,534 | 本庁、公共施設及び市立学校園をネットワーク接続し、情報の共有化を図るとともに情報公開システムを支える文書管理システム、経理の基幹となる財務会計システムを稼働させ、事務の効率化、迅速化を図っている。 | B | 昨年度 B |
| 8 | 01001800 | 情報政策(電子自治体)事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 2,711 | 3,412 | 6,123 | 大阪府と府内全市町村が、共通の課題である「電子自治体」の実現に向け、共同で事業や調査研究を実施している。また、LGWAN回線を使って電子証明書の発行を行っている公的認証サービスや情報政策(CATV)事業から移行した泉州4市3町地域情報化推進協議会等の事業に参画している。 | B | 昨年度 B |
| 9 | 01002300 | 職員等福利厚生事業 | 人事課 | 法定受託以外の法令 | 20,533 | 4,809 | 25,342 | 労働安全衛生法等に基づく責務により、職員に対し、以下のとおり事業を実施している。 ①労働安全衛生法に基づく健康診断など労働安全衛生事業 ②地方公務員法に基づく職員の元気回復その他厚生に関する事業 ③地方公務員災害補償法及び上記条例・規則に基づく公務災害・通勤災害に関する事務 | B | 昨年度 B |
| 10 | 01002400 | 職員研修事業 | 人事課 | 市単独事業 | 5,273 | 5,011 | 10,284 | 職員の資質向上、能力開発、人材育成のため以下の業務を行っている。 ①新規採用職員研修や係長級研修など階層別一般研修 ②接遇、安全運転、健康管理などについての特別研修 ③おおさか市町村職員研修研究センターなどへの派遣研修 ④人権研修などの職場研修 ⑤通信教育講座などの自主研修 | B | 昨年度 B |
| 11 | 01002500 | 人事管理事業 | 人事課 | 法定受託以外の法令 | 34,534 | 55,679 | 90,213 | 職員(会計年度任用職員等含む)の人事異動、採用、退職に伴う諸事務、給与等支給事務、出退勤等労務管理事務を行っている。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|--------------|-------|-------|--------|--------|--------|---|---|-------|
| 12 | 01002900 | 契約事務事業 | 契約検査課 | 市単独事業 | 147 | 59,188 | 59,335 | ①入札参加資格登録審査申請の受付・審査・登録事務 ②業者選定事務 ③入札執行・見積徴取事務 ④契約締結事務 ⑤検査事務(工事・業務委託の中間・完了検査、物品購入における納入検査) | B | 昨年度 B |
| 13 | 01003000 | 物品管理事業 | 会計課 | 市単独事業 | 3,045 | 309 | 3,354 | 地方自治法第239条において規定する物品について行う物品会計の主要な業務として以下の業務を行う。 ①備品(性質又は形状を変えずに、比較的長時間にわたって使用若しくは保存に耐えるもの又は性質上消耗品に属するもののうち永続性のある標本又は陳列品。ただし、20,000円未満のものは、消耗品)の記録管理 ②共用物品の購入、保管、払出 | B | 昨年度 B |
| 14 | 01003100 | 行政等相談事業 | 人権推進課 | 市単独事業 | 2,152 | 4,917 | 7,069 | ①無料法律相談…弁護士が、法律知識が必要な問題に無料で相談に応じる。 ②労働(法律)相談…労働問題に詳しい弁護士が、労働に関する相談に無料で応じる。 ③行政相談…総務大臣が委嘱した行政相談委員が国の行政などに対する苦情や要望の相談に応じる。 | B | 昨年度 B |
| 15 | 01003300 | 広報公聴事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 12,125 | 4,505 | 16,630 | 広報公聴事業として以下の事務を行っている。 ①泉佐野市政モニターアンケートの実施 ②市政記者クラブ運営(第1記者クラブ:NHK、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、共同通信 第2記者クラブ:日本経済新聞等) ③陳情・要望処理 ④市民提案箱(市役所本庁舎1階ロビーに設置)処理 ⑤市ホームページ、市SNSの運営 ⑥タウンミーティングの開催 ⑦早朝駅前広報活動 | B | 昨年度 B |
| 16 | 01003400 | 広報公聴(市報作成)事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 24,029 | 22,815 | 46,844 | 広報公聴(市報作成)事業として以下の事務を行っている。 ①市報記事の写真撮影などの取材、担当課から寄せられる記事の編集・校正、DTPIによる紙面のレイアウトを行い、毎月1日に発行している。 ②運送会社を通じて町会・自治会およびその他の団体への市報の配付を行う。 ③ホームページ版市報の作成を行う。 | B | 昨年度 B |
| 17 | 01003500 | 広報公聴(CATV)事業 | 自治振興課 | 市単独事業 | 13,202 | 12,195 | 25,397 | 本市の行政情報や防災情報などを発信する地域に密着した行政情報番組を制作し、ケーブルテレビのネットワークを活用したコミュニティ・チャンネルにおいて放映している。また、ホームページやYoutubeの泉佐野公式チャンネルでも配信している。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|-----------------|-------------|-----------|---------|---------|---------|---|---|-------|
| 18 | 01003800 | 共用事務事業 | 総務課 | 市単独事業 | 6,193 | 6,796 | 12,989 | ①共用OA機器(コピー機・印刷機)の維持管理業務 ②庁内郵便物等取りまとめ業務 | B | 昨年度 B |
| 19 | 01003900 | 法制文書事務事業 | 総務課 | 市単独事業 | 18,307 | 12,529 | 30,836 | ①条例、規則等の制定及び例規システムの更新・HPでの公開 ②市行政において生じる法制(解釈等)相談 ③議会との調整及び議案書作成 | B | 昨年度 B |
| 20 | 01004200 | 行財政事務事業 | 行財政管理課 | 法定受託以外の法令 | 2,027 | 16,706 | 18,733 | 予算編成及び執行についてのこと、財政計画の作成についてのこと、財政事情の作成及び公表についてのこと、市債、地方交付税についてのことなど、水道などの事業会計の会計処理を除く財政全般を取り扱っている。 | B | 昨年度 B |
| 21 | 01004400 | 市有財産管理事業 | 総務課 | 市単独事業 | 3,771 | 11,396 | 15,167 | 市有財産(普通財産)の取得・処分・貸付・占用許可の実施、登記事務、財産管理に係る測量・鑑定・除草等の委託、市有地の境界確定業務を行っている。 令和6年度末 普通財産【141,659.72㎡】 | B | 昨年度 B |
| 22 | 01004500 | 庁舎管理事業 | 総務課 | 市単独事業 | 141,934 | 14,603 | 156,537 | 市庁舎維持のための光熱水費及び通信運搬費の負担。各設備等の修理、補修に伴う物品等の購入。市庁舎の清掃、警備、各設備の保守点検業務委託、庁舎(SRC造地上7階地下1階、延べ床面積10352.40㎡、昭和49年3月竣工、建築価格1,183,287千円)別館庁舎(RC造2階、延べ床面積2440.44㎡、昭和49年3月竣工、建築価格332,738千円)プレハブ庁舎(S造2階、延べ床面積842.34㎡、平成4年4月竣工、リース終了により平成9年4月取得、増築平成29年3月)その他車庫、倉庫、自転車置場【計 14258.75㎡】 | B | 昨年度 B |
| 23 | 01005000 | 空港対策事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 306 | 1,670 | 1,976 | 関西国際空港のさらなる発展、泉州の均衡ある地域振興及び良好な環境づくりを図るため、関連事業等について意見交換、調整、支援及び関係機関への要望等を行うことを目的とし、堺市以南の9市4町で構成する泉州市・町関西国際空港推進協議会(関空協)をはじめ、関空関連各種協議会に参画している。 | B | 昨年度 B |
| 24 | 01005300 | まちづくり推進事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 33,243 | 25,776 | 59,019 | まちづくり推進事業として以下の事務を行っている。 ①部長会議の運営 ②その他企画調整事務(行政評価運用、国府要望、施政方針、地方分権、広域連携、職員提案、各部署間の総合調整等) | B | 昨年度 B |
| 25 | 01005500 | 固定資産評価審査委員会運営事業 | 固定資産評価審査委員会 | 法定受託以外の法令 | 26 | 835 | 861 | 地方自治法第180条の5及び第202条の2の規定により、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服の審査決定を行うため設置された固定資産評価審査委員会の運営と固定資産評価審査申出書の受付から、決定書送付に至るまでの事務を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 26 | 01011000 | 賦課事務(固定資産税)事業 | 税務課 | 法定受託以外の法令 | 21,878 | 110,762 | 132,640 | 固定資産税の課税客体(土地・家屋・償却資産)の適正な把握及び調査を行い、評価にかかる事務及び基準年の評価替え作業をもとに賦課計算を行い納税通知書を送付する。国有資産等所在市町村交付金・納付金については、各団体からの価格通知をもとに請求を行う。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|-------------|------------|-----------|--------|---------|---------|---|---|-------|
| 27 | 01011100 | 賦課事務(市民税)事業 | 税務課 | 法定受託以外の法令 | 19,782 | 83,530 | 103,312 | 地方税法、市税条例等に基づき、申告書・給与支払報告書等の賦課資料をもとに賦課計算を行い納税通知書を発送する。また、各種税務調査を行い、適正公平な課税を実施する。 | B | 昨年度 B |
| 28 | 01011200 | 賦課事務(諸税)事業 | 税務課 | 法定受託以外の法令 | 3,742 | 18,162 | 21,904 | 固定資産税・都市計画税、個人市民税を除く地方税の賦課事務として以下の業務を行っている。 ①軽自動車税(種別割)～申告書をもとに課税客体を把握し納税通知書を送付する。 ②法人市民税～法人からの申告に基づく賦課決定 ③市たばこ税～申告に基づく賦課決定 ④入湯税～申告に基づく賦課決定 | B | 昨年度 B |
| 29 | 01011300 | 徴収事務事業 | 税務課 | 法定受託以外の法令 | 11,910 | 112,935 | 124,845 | 市税徴収のための以下の事務を処理している。 ①市税収納事務(窓口収納、市税消し込み、口座振替) ②納付督促事務(督促状・催告状の送付、納付相談・指導) ③滞納整理事務(滞納処分、滞納処分の執行停止) | A | 昨年度 A |
| 30 | 01011700 | 戸籍事務事業 | 市民課 | 法定受託事務 | 21,270 | 37,411 | 58,681 | 国民の国籍とその親族的身分関係(出生・死亡・婚姻・離婚・養子縁組等)を戸籍簿に登録し、これを公証するため以下の業務を実施している。 ①戸籍届書の受理、戸籍の記載、関連戸籍事務 ②戸籍謄抄本等の交付事務 ③戸籍事務電算システムの運用・管理 | B | 昨年度 B |
| 31 | 01011800 | 住民基本台帳事務事業 | 市民課 | 法定受託以外の法令 | 46,706 | 102,572 | 149,278 | 住民登録事務、住民票の写し等の交付、住民基本台帳カード及び公的個人認証の取扱等の業務を行っている。平成27年10月導入開始のマイナンバー制度により、マイナンバーカード関連業務が追加され、マイナンバーカード申請受付や交付、及び電子証明書の更新、住民異動及び戸籍等届出に伴う継続利用や券面事項変更手続等を実施している。住民基本台帳カード交付件数は、廃止となっているため、令和7年度行政評価から削除。 | B | 昨年度 B |
| 32 | 01011900 | 印鑑登録事務事業 | 市民課 | 法定受託以外の法令 | 770 | 5,214 | 5,984 | 不動産の売買・登記、公正証書などの作成や相続の手続き等に必要となる印鑑の登録事務及び印鑑登録証(カード)と印鑑登録証明書の交付を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 33 | 01012200 | 住居表示事業 | 市民課 | 法定受託以外の法令 | 11,036 | 21,802 | 32,838 | 新築届にともなう住居表示付番、現地調査、街区表示板の張り替えなどの維持管理事業、住居表示証明書の交付などの業務を行っている。新たな住居表示実施計画を策定し、住居表示の実施を進めていく。 | A | 昨年度 A |
| 34 | 01012300 | 選挙管理委員会運営事業 | 選挙管理委員会事務局 | 法定受託事務 | 1,611 | 1,815 | 3,426 | 選挙管理委員会を運営するため以下の事業を行っている。①月1回の定例選挙管理委員会の開催に関する事務 ②選挙時の臨時選挙管理委員会の開催に関する事務 ③年4回(3月、6月、9月、12月)の永久選挙人名簿の定時登録等に関する事務 ④検察審査員や裁判員の選定に関する事務 ⑤選挙管理委員及び事務局職員の各種研修会への参加 ⑥在外選挙人名簿の調製に関する事務 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|--------------|------------|-----------|-------|--------|--------|---|---|-------|
| 35 | 01012400 | 選挙啓発事業 | 選挙管理委員会事務局 | 法定受託事務 | 304 | 1,815 | 2,119 | 選挙が公明かつ適正に行われるように、広報や防災無線放送、ホームページ等を活用した選挙に関する啓発や周知等の活動を行っている。 | B | 昨年度 B |
| 36 | 01013200 | 統計調査総務事業 | 政策推進課 | 市単独事業 | 2 | 1,670 | 1,672 | 泉佐野市オープンデータ作成のために、各種資料の提供依頼・収集・整理・編集・校正・提供し、各種統計データの還元、提供を行っている。ホームページの作成・管理。オープンデータ化に伴い、令和6年度より成果指標「市ホームページの統計書閲覧回数」は削除する。 | B | 昨年度 B |
| 37 | 01013300 | 統計調査員確保対策事業 | 政策推進課 | 法定受託以外の法令 | 7 | 1,670 | 1,677 | 国からの委託により統計調査員希望者の登録・管理を行い、統計調査の種類・制度・調査上必要とされる知識や注意事項・秘密の保持等について研修し、調査員の資質を向上させるとともに登録調査員の確保に努める。 | B | 昨年度 B |
| 38 | 01013400 | 委託統計調査事業 | 政策推進課 | 法定受託事務 | 2,611 | 12,589 | 15,200 | ・国が指定する統計調査について市域内での調査を実施する。 ①経済センサス調査区管理 ②基幹統計調査 | B | 昨年度 B |
| 39 | 01013500 | 監査事務事業 | 監査委員事務局 | 法定受託以外の法令 | 1,902 | 17,725 | 19,627 | 監査事務事業として、例月現金出納検査、決算審査、財政健全化判断比率等審査、定期監査、随時(工事)監査及び住民監査請求監査を実施している。 | B | 昨年度 B |
| 40 | 01013600 | 公平委員会運営事業 | 公平委員会事務局 | 法定受託以外の法令 | 537 | 1,670 | 2,207 | 地方自治法第180条の5及び第202条の2、地方公務員法第8条第2項の規定により、職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し裁決すること、職員の苦情を処理すること、並びにこれについての必要な措置を講ずるために設置された公平委員会の運営と公平委員会委員及び事務局職員の各種研修会への参加などを行っている。 | B | 昨年度 B |
| 41 | 01014000 | 行旅死亡人等取扱事業 | 生活福祉課 | 法定受託以外の法令 | 0 | 167 | 167 | 行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき以下の業務を行っている。 ①生活保護法の適用又は準用を受けない者が旅行中に病気で倒れた場合の救護等 ②身元不明の死亡人及び死胎の火葬等 | B | 昨年度 B |
| 42 | 01018600 | 介護保険低所得者対策事業 | 介護保険課 | 市単独事業 | 67 | 835 | 902 | 介護保険低所得者対策事業として以下の業務を行っている。 ①低所得世帯(自立支援法で境界層該当者)の介護保険訪問介護の利用者負担の軽減。 ②社会福祉法人の社会的役割に鑑み、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人が、低所得者で特に生計維持が困難である者に対して、利用者負担の軽減を行った場合、府と市で所要の財政的支援を行う。 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|------------------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|---|---|-------|
| 43 | 01022200 | 国民年金事務事業 | 国保年金課 | 法定受託事務 | 210 | 34,487 | 34,697 | 国民年金の以下の業務を行っている。①被保険者の資格・住所等の変更による届出の受付と国への進達等②納付が困難な場合等の保険料免除(学生納付特例、納付猶予)申請の受付等③年金受給のための年金給付裁定請求(老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金・寡婦年金・死亡一時金・未支給年金・特別障害給付金等)の受付等④年金生活者支援給付金の相談、申請受付⑤国民年金に関する相談業務 | B | 昨年度 B |
| 44 | 01023200 | 母子生活支援施設措置事業 | 子育て支援課 | 法定受託以外の法令 | 4,429 | 453 | 4,882 | DV等の様々な事情で保護された18歳未満の児童とその母親が、生活の自立を希望し、支援の必要性を認めた場合に、母子生活支援施設への入所措置をし、自立支援を行う。 | B | 昨年度 B |
| 45 | 01025800 | 生活保護事務事業 | 生活福祉課 | 法定受託事務 | 17,555 | 83,530 | 101,085 | 生活保護事務事業として以下の業務を行っている。 ①生活保護の決定及び適正実施に必要な調査・点検の実施 ②生活保護に関する相談の実施 ③生活保護費の支給事務 | B | 昨年度 B |
| 46 | 01026000 | 生活保護事業 | 生活福祉課 | 法定受託事務 | 3,721,002 | 125,180 | 3,846,182 | 生活保護法に定める各扶助費及び施設事務費 | B | 昨年度 B |
| 47 | 01080210 | 中国残留邦人生活支援給付事業 | 生活福祉課 | 法定受託事務 | 4,013 | 835 | 4,848 | 中国残留邦人生活支援給付事業として以下の業務を行っている。 ①中国残留邦人等への給付の決定及び適正実施に必要な調査・点検の実施 ②中国残留邦人等への給付に関する相談の実施 ③支援給付費の支給事務 | B | 昨年度 B |
| 48 | 01082170 | 空港連絡橋利用税事業 | 税務課 | 法定受託以外の法令 | 24,276 | 4,176 | 28,452 | 特別徴収義務者からの申告に基づく課税 | B | 昨年度 B |
| 49 | 01082270 | 証明書等コンビニ交付事業 | 市民課 | 法定受託以外の法令 | 10,931 | 10,333 | 21,264 | 全国のコンビニエンスストア等(セブン・イレブン、ファミリーマート、ローソン、イオンリテール、ポプラ、ミニストップ)各店舗において、午前6時30分から午後11時までの時間帯に住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部・個人事項証明書、戸籍の附票の写し、市・府民税課税証明書の交付。 | A | 昨年度 A |
| 50 | 01083175 | ふるさと応援寄附金事業 | ふるさと創生課 | 市単独事業 | 8,528,792 | 43,604 | 8,572,396 | ①寄附の受付、②返礼品の配送、③受領証明書等の発送、④申告特例申請の受付 等 | A | 昨年度 A |
| 51 | 01083178 | 生活困窮者自立支援事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 65,242 | 6,717 | 71,959 | 生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、生活困窮者一時生活支援事業等を行う。 | B | 昨年度 B |
| 52 | 01083191 | 住宅総合助成事業 | 都市計画課 | 市単独事業 | 93,151 | 11,719 | 104,870 | 本市で居住用の住宅を購入又は建設する方に対して、本人の申請により地域ポイント(さのぼ)を助成する。 | B | 昨年度 B |
| 53 | 01083241 | 成長戦略事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 379,587 | 13,364 | 392,951 | 市域(特にりんくうタウン地域)の発展に必要な計画・企画・調整等 | B | 昨年度 B |
| 54 | 01083284 | りんくうタウン駅ビル施設管理事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 191,259 | 3,341 | 194,600 | りんくうタウン駅ビルの施設管理事業 | B | 昨年度 B |
| 55 | 01083330 | 東京事務所等運営事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 7,379 | 1,670 | 9,049 | 国の省庁や関係機関との連絡調整、市政に関連のある情報及び資料の収集、市の情報発信・PR、首都圏でのイベント開催や支援、東京いずみさの会の活動 | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|----------------|---------|-----------|---------|--------|---------|--|---|-------|
| 56 | 01083331 | 旅券発給事務事業 | 市民課 | 法定受託事務 | 31,900 | 13,997 | 45,897 | 日本国籍を有し、泉佐野市の住民登録者または泉佐野市で居住していることが証明できる他市区町村の住民登録者への旅券発給業務を行う。 | A | 昨年度 A |
| 57 | 01083381 | 自殺対策事業 | 地域共生推進課 | 法定受託以外の法令 | 4,946 | 2,505 | 7,451 | 平成30年度に策定された泉佐野市自殺対策推進計画に基づき、自殺対策事業を実施する。 | A | 昨年度 A |
| 58 | 01083469 | デジタル化推進事業 | 総務課 | 市単独事業 | 19,834 | 29,235 | 49,069 | 総務省が策定した「デジタル・ガバメント実行計画」「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を踏まえて着実に自治体のDXに取り組めるよう、令和3年7月に自治体DX推進手順書を公表した。 これらの推進計画や手順書に基づき、本市のDX化を推進するため必要な取り組みを行うもので ①DX推進関係課担当者会議の開催 ②自治体DX推進についての企画調整事務(泉佐野市DX全体方針の策定、行政手続きオンライン化、デジタル推進関係部署へのアドバイス支援及び庁内連携体制の構築、経費や効果を含めた実現可能なデジタル化の検討等のデジタルシフト推進にかかる各部課の支援) | A | 昨年度 A |
| 59 | 01083493 | シティプロモーション推進事業 | おもてなし課 | 市単独事業 | 306,212 | 8,353 | 314,565 | 地域資源を他地域に発信する | B | 昨年度 B |
| 60 | 02050020 | 給付事務事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 13,323 | 29,242 | 42,565 | レセプト点検・過誤調整・返納金・第三者行為求償、高齢受給者証および限度額適用認定証の交付、療養費、高額療養費等の申請・支給及びそれらに伴う窓口事務など国民健康保険に関する処理業務を行う。ジェネリック医薬品利用率(数量ベース)(旧)は、平成25年度に厚生労働省の指標基準が変更したことにより、ジェネリック医薬品利用率(数量ベース)(新)に変更したため、この度、指標項目から削除します。 | B | 昨年度 B |
| 61 | 02050060 | 賦課事務事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 10,175 | 36,633 | 46,808 | 賦課事務事業として以下の業務を行っている。 ①資格異動届の受付 ②保険料の賦課決定 ③納付困難につき申請による保険料の減免申請・失業軽減申請受付 ④所得申告受付 | B | 昨年度 B |
| 62 | 02050070 | 徴収事務事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 18,568 | 51,321 | 69,889 | 徴収事務事業として以下の事務を処理している。 ①国民健康保険料の収納事務(窓口収納、納付証明書の発行、国保料の消し込み、口座振替) ②納付督促事務(督促状・催告書の送付、納付相談・指導) ③滞納整理事務(滞納処分、滞納処分の執行停止) | B | 昨年度 B |
| 63 | 02050090 | 運営協議会運営事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 229 | 1,420 | 1,649 | 国民健康保険法第11条に基づき泉佐野市国民健康保険運営協議会を設置。泉佐野市国民健康保険条例第2条により委員の定数を定め、泉佐野市国民健康保険条例施行規則第2条から第5条の6により協議会に関しての必要事項を定めている。泉佐野市国民健康保険運営協議会の開催(年2回) | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | | |
|----|----------|-------------|-------|-----------|--------|--------|--------|---|---|-------|
| 64 | 02053870 | 特定健康診査事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 53,045 | 4,677 | 57,722 | 40歳以上の国民健康保険被保険者に対し、生活習慣病予防に関する特定健康診査を実施するもの。大阪府医師会と大阪府内国保被保険者で特定健診の基本的な健診項目等の集合契約を締結。泉佐野市国民健康保険では追加項目を泉佐野泉南医師会と委託契約をし、特定健診実施医療機関となる市内医療機関などでは併せて実施できるもの。府内のその他の実施機関では基本的な健診項目を受診できる。 | A | 昨年度 A |
| 65 | 02053880 | 特定保健指導事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 7,859 | 835 | 8,694 | 特定健康診査の結果により、特定保健指導の対象となった人に対して保健指導を実施。 | A | 昨年度 A |
| 66 | 06090020 | 資格管理事務事業 | 介護保険課 | 法定受託以外の法令 | 745 | 8,353 | 9,098 | 資格管理事務事業として以下の事務を処理している。 ① 介護保険被保険者の資格取得及び喪失事務 ② 給付制限対象者(保険料の滞納による介護サービス制限者)の資格管理事務 ③ 介護保険住所地特例者(施設入所に係る住所異動にかかわらず前住所地市町村が保険者となる被保険者)の資格管理事務 | B | 昨年度 B |
| 67 | 06090040 | 賦課徴収事務事業 | 介護保険課 | 法定受託以外の法令 | 5,452 | 16,706 | 22,158 | 賦課徴収事務事業として以下の事務を処理している。 ① 介護保険料の賦課および収納管理事務 ② 介護保険料口座振替勧奨事務 ③ 介護保険料滞納者の保険料の納付管理事務 | B | 昨年度 B |
| 68 | 06090050 | 給付管理事業 | 介護保険課 | 法定受託以外の法令 | 3,090 | 16,587 | 19,677 | 給付管理事業として以下の事務を処理している。 ① 高額介護サービス費支給決定事務 ② 負担限度額認定事務 ③ 高額医療合算介護サービス費支給決定事務 ④ 住宅改修・福祉用具購入費支給決定事務 ⑤ 負担割合証発行事務 | A | 昨年度 A |
| 69 | 06090060 | 介護認定審査会運営事業 | 介護保険課 | 市単独事業 | 26,892 | 61,720 | 88,612 | ① 65歳以上の第1号被保険者と40歳以上65歳未満の初老期における認知症、脳血管疾患など加齢に伴う16種類の特定疾病による第2号被保険者からの申請に基づき認定を行う。 ② 調査員による認定調査と主治医の意見書の取り付けを行い「泉佐野市田尻町介護認定審査会」において審査・判定を行う。 | A | 昨年度 A |
| 70 | 06090070 | 運営協議会運営事業 | 介護保険課 | 市単独事業 | 210 | 1,670 | 1,880 | 市の付属機関として介護保険事業の運営に関する重要事項の調査審議を行う介護保険運営協議会の事務を行なう。平成17年度より、地域包括支援センター運営協議会と地域密着型サービスの運営に関する委員会を兼任することとなる。開催日程の調整、会場の確保、会議案件の企画・選定、資料作成、会場設定。委員改選による委嘱事務。 | B | 昨年度 B |
| 71 | 07040010 | 徴収事務事業 | 国保年金課 | 法定受託以外の法令 | 1,347 | 18,684 | 20,031 | 徴収事務事業として以下の事務を処理している。 ① 後期高齢者医療保険料の収納事務(窓口収納、納付証明書の発行、後期保険料の消し込み、口座振替、還付充当) ② 納付督促事務(督促状・催告書の送付、納付相談・指導) ③ 滞納整理(財産調査、滞納処分) | B | 昨年度 B |

| | | | | | | | | | |
|-----|-------------------------|--------|-----------|------------|-----------|------------|--|---|-------|
| 72 | 企業版ふるさと応援寄附金事業 | おもてなし課 | 未入力 | 14,596 | 18,376 | 32,972 | 企業版ふるさと納税に関する事業 | A | - |
| 73 | 泉佐野市行政事務サービスセンター運営交付金事業 | 政策推進課 | 法定受託以外の法令 | 298,744 | 6,205 | 304,949 | 市に代わって市民課や国保年金課などの窓口業務のうち定型的・補助的な事務を処理する地方独立行政法人の運営に係る経費を交付する。 | A | 昨年度 A |
| 合 計 | | | | 14,649,439 | 1,584,066 | 16,233,505 | | | |

行政評価シートの見方について

1. 施策評価シートの見方について

(1) 施策の担当

主管課名、関係課名。

(2) 総合計画における位置づけ

総合計画において、当該施策が属する政策と節を表記。

総合計画（後期基本計画）より、当該施策にかかる「基本方針」、「現況と課題」を転記。

対象をどのような状態にしたいのかという施策目標を表記。

(3) 市民ニーズ

令和5年3月実施のアンケート調査結果より、当該施策の「重要度」（偏差値）、「満足度」（偏差値）を転記。

(4) 施策にかかるコスト

施策を構成する評価対象となる事務事業にかかるコストを集計して、施策にかかるコストとして表示。

コストの内訳ごとの金額と財源内訳を示す。

(5) 施策の需要業績成果指標(KPI)

施策の進捗を測定するモノサシとして設定された数値目標。単年度ごとの目標値と実績値、及びその達成度（％）を経年で示す。

K P I の設定根拠、K P I 目標数値の設定根拠は、第5次総合計画策定時又は後期基本計画策定時の設定による。

目標達成・未達成の理由・背景は毎年事後評価として説明。

図表 成果指標の進捗状況をグラフで表示。

(6) 施策の事後評価

一次評価(担当課による評価)

以下①②③の3つの判定項目と構成事務事業の評価を鑑み、④の基準で総合評価を担当課が記入。

① 施策の成果レベル

施策評価指標の分析から施策を4点満点で評価する。

(KPI 達成度の平均値を計算した結果(割合)により4点満点で評価する。)

所見には評価理由や今後の方向性等を記入

4点：達成度が100%以上

3点： 90～100%未満

2点： 80～90%未満

1点： 80%未満

②【市民満足度】施策に対する市民ニーズ

アンケート結果より3点満点で評価する。

所見には評価理由や今後の方向性等を記入。

3点：満足度偏差値5.5以上

2点：満足度偏差値4.5～5.5未満

1点：満足度偏差値4.5未満

③【重要度】施策を取り巻く状況（法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など）

施策を取り巻く状況を3点満点で評価する。

所見には評価理由や今後の方向性等を記入。

3点：満足度偏差値5.5以上

2点：満足度偏差値4.5～5.5未満

1点：満足度偏差値4.5未満

④総合評価の基準

以上の判定項目と構成事務事業の評価等を鑑み、主管課が総合的に評価。

A：計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。

B：ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。

C：目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

D：目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)

政策推進課及び行財政管理課が、一次評価の総合評価と同じ4段階評価及び所見にて評価します。

三次評価(理事者による評価)

理事者が一次評価の総合評価と同じ4段階評価及び所見にて評価します。

(7)施策を構成する事務事業

①予算コードと事務事業名を表示

②事業費（令和6年度実績）：評価年度の事業費、人件費（事務事業評価より転記）および一般財源額を記述。

③1次評価：事務事業評価より担当課による1次評価を転記。

④事務事業の評価対象について

事務事業の内、人件費事業、車両管理事業を除いた全事務事業を対象とする。

ただし、その事務事業のうち、一般事務事業、基金積立事業、繰出金事業、負担金事業、返還金事業、公債費事業、一借事業、繰上充用金、保険給付事業、企業会計、投資事業については、評価はなしとする。

— 統一的な基準 —
泉佐野市の財務書類

(令和6年度決算版)

令和7年12月

泉佐野市市長公室行財政管理課

目 次

| | | |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 統一的な基準による泉佐野市の財務書類 | 3 |
| 2 | 財務書類の対象となる会計（団体）の範囲 | 4 |
| 3 | 作成基準日 | 4 |
| 4 | 財務4表の体系 | 5 |
| | （1）貸借対照表 BS（バランスシート） | |
| | （2）行政コスト計算書 PL（損益計算書） | |
| | （3）純資産変動計算書 NW（株主資本等変動計算書） | |
| | （4）資金収支計算書 CF（キャッシュ・フロー計算書） | |
| 5 | 財務書類について | 7 |
| | （1）貸借対照表 BS（対前年度比較） | |
| | （2）行政コスト計算書 PL（対前年度比較） | |
| | （3）純資産変動計算書 NW（対前年度比較） | |
| | （4）資金収支計算書 CF（対前年度比較） | |
| 6 | 主な財務指標の説明について | 14 |
| | （1）資産形成度（公共施設などの資産状況） | |
| | （2）世代間公平性（将来世代と現役世代との負担分担） | |
| | （3）持続可能性（財政の健全性） | |
| | （4）自律性 | |
| | （5）市民一人当たりの指標 | |
| 7 | 年度別の主な財務指標一覧 | 15 |

統一的な基準による泉佐野市の財務書類

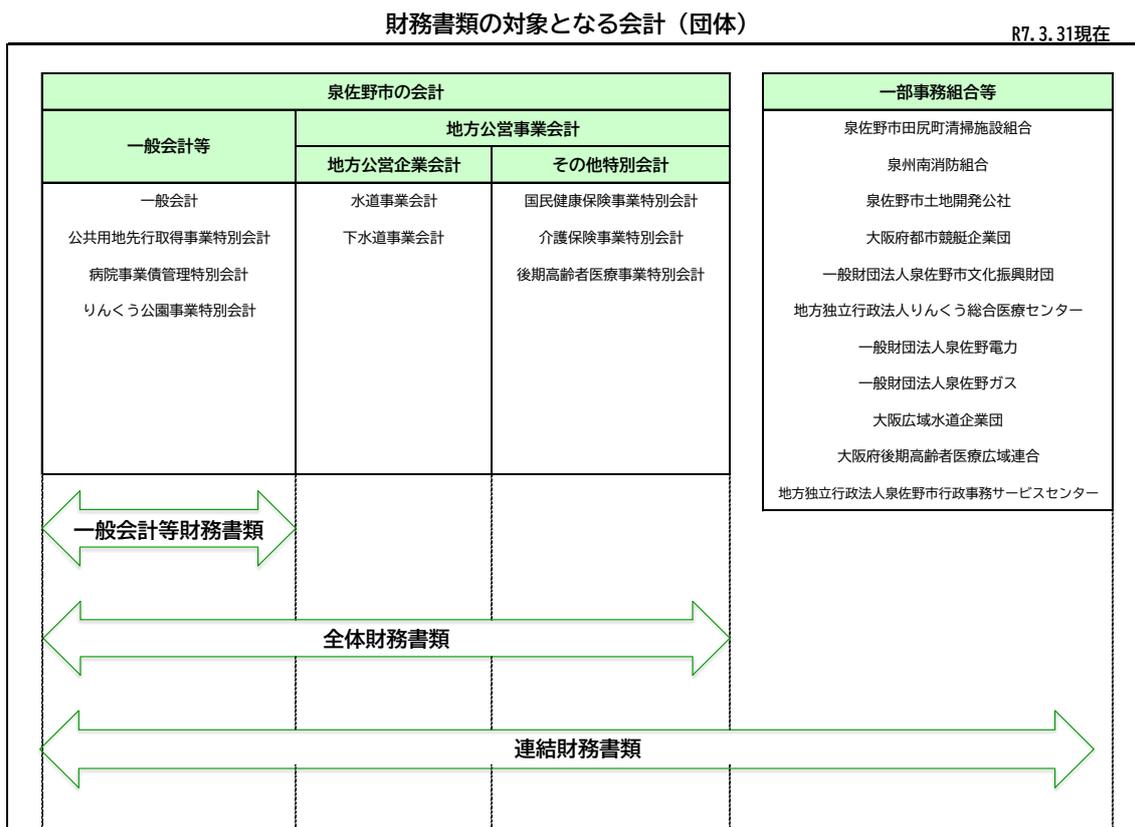
1. はじめに

地方公会計制度は、地方公共団体の単式簿記・現金主義の会計制度に、複式簿記・発生主義といった企業会計と同じ要素を取り入れることで、資産・負債などのストック情報や行政サービスのコストを把握し、その情報をわかりやすく開示するとともに、適正な管理とその有効活用を図ることが目的とされています。

本市では、平成 27 年 1 月に総務省から「統一的な基準による地方公会計の整備促進について（総務大臣通知）」、「統一的な基準による地方公会計マニュアル」が示され、平成 29 年度末までに全ての地方公共団体に、この基準による財務書類を作成することが要請されたことを受け、平成 28 年度決算から「統一的な基準」に基づく財務書類等を作成しています。

2. 財務書類の対象となる会計（団体）の範囲

財務書類は、「一般会計等」と、地方公営企業会計や特別会計をあわせた「全体会計」、本市が関係する団体を含めた「連結会計」の3つの区分を対象としています。



3. 作成基準日

会計年度末（3月31日）を基準日としています。ただし、一般会計及び特別会計における出納整理期間における歳入歳出及び資産債務の変動などは、基準日及び対象期間までに終了したものとして処理しています。

4. 財務4表の体系

財務書類は、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4種類の表からなり、財務4表と呼ばれ相互に関連しながら資産・負債の状況や行政コストに関する内容を表しています。

(1) 貸借対照表 BS (Balance Sheet) …【ストック情報】

基準日時点における財政状態（資産・負債・純資産）の内訳及び残高を表したもので、市が保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で調達したのかを総括的に表しています。

(2) 行政コスト計算書 PL (Profit Loss) …【フロー情報】

企業会計では、損益計算書にあたるもので、1年間における費用・収益の取引高を表したもので、現金収入を伴わない減価償却費等も費用として計上し、行政サービスに係る経費とその行政サービスの直接の対価として得られた収入を対比させています。

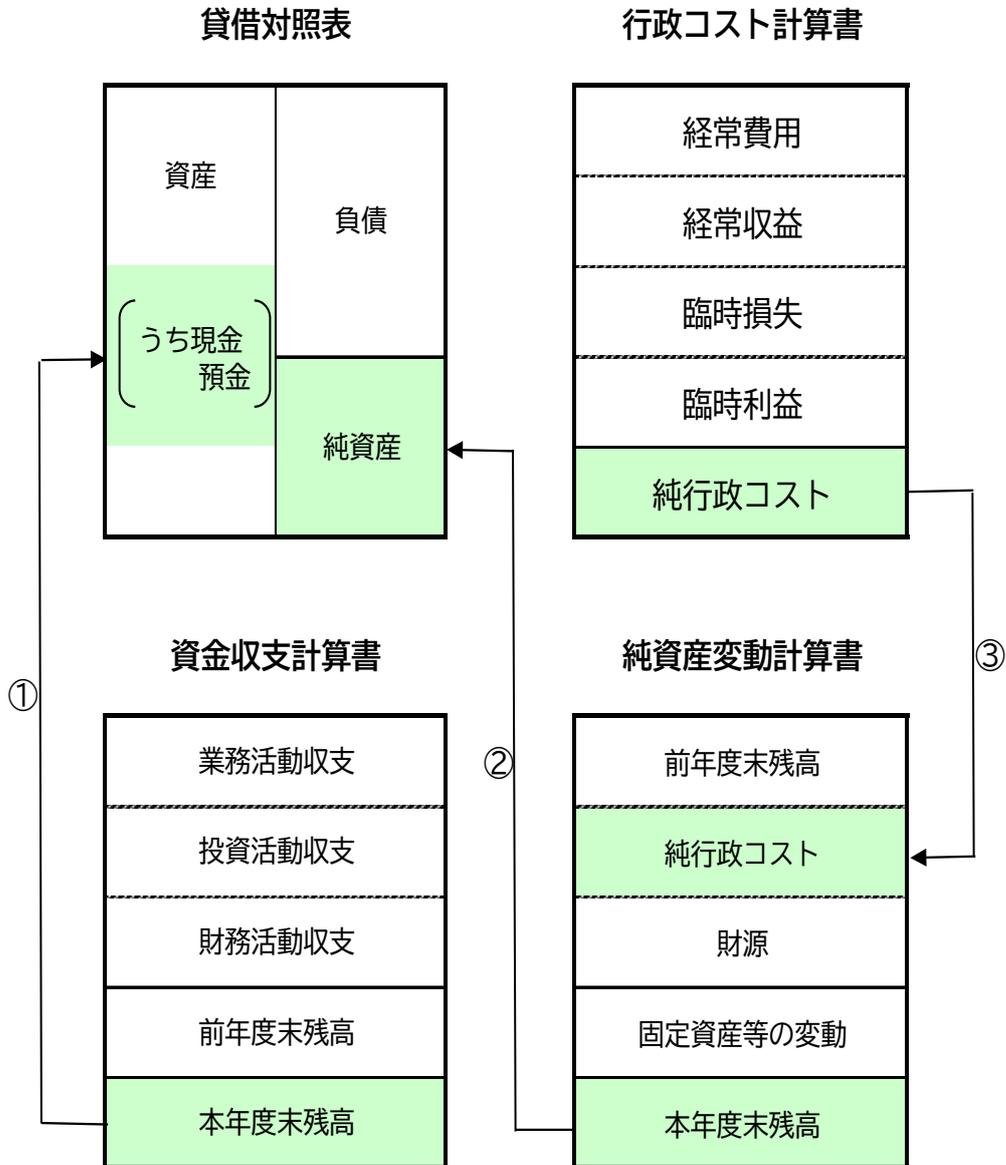
(3) 純資産変動計算書 NW (Net Worth) …【純資産の変動情報】

企業会計では、株主資本等変動計算書にあたるもので、1年間における貸借対照表（BS）の純資産の部に計上されている各数値が、どのように変動したのか、また、どのような財源や要因で増減したのかを表しています。

(4) 資金収支計算書 CF (Cash Flow) …【現金収支情報】

企業会計では、キャッシュ・フロー計算書とも呼ばれているもので、1年間における現金の受払いを業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の3つの性質区分に分けて、どのような活動に資金が使われたかを表しています。

財務4表 構成の相互関係



- ① 貸借対照表の資産のうち「現金預金」の金額は、資金収支計算書の本年度末残高に本年度末歳計外現金残高を足したものと対応します。
- ② 貸借対照表の「純資産」の金額は、純資産変動計算書の本年度末残高と対応します。
- ③ 行政コスト計算書の「純行政コスト」の金額は、純資産変動計算書に記載されます。

5. 財務書類について

(1) 貸借対照表

BS：貸借対照表（対前年度比較）

会計：一般会計等

（各年度とも3月31日現在）

（単位：千円）

| | 資産の部 | | | | 負債の部 | | |
|-------------|--------------|--------------|-------------|------------------|-------------|-------------|-------------|
| | ①令和6年度 | ②令和5年度 | ①-②差額 | | ①令和6年度 | ②令和5年度 | ①-②差額 |
| 固定資産 | 129,377,495 | 126,273,220 | 3,104,275 | 固定負債 | 57,192,953 | 60,055,127 | △ 2,862,174 |
| 有形固定資産 | 101,179,043 | 100,031,430 | 1,147,613 | 地方債 | 50,941,219 | 52,218,577 | △ 1,277,358 |
| 事業用資産 | 61,392,420 | 60,578,860 | 813,560 | 長期未払金 | - | - | - |
| 土地建物等 | 100,848,778 | 98,576,845 | 2,271,933 | 退職手当引当金 | 4,265,726 | 4,595,069 | △ 329,343 |
| 減価償却累計額 | △ 39,456,358 | △ 37,997,985 | △ 1,458,373 | 損失補償等引当金 | - | - | - |
| インフラ資産 | 39,222,343 | 38,884,051 | 338,292 | その他 ※2 | 1,986,008 | 3,241,481 | △ 1,255,473 |
| 土地工作物等 | 69,117,114 | 67,840,222 | 1,276,892 | 流動負債 | 6,611,870 | 6,550,776 | 61,094 |
| 減価償却累計額 | △ 29,894,771 | △ 28,956,171 | △ 938,600 | 1年内償還予定地方債 | 4,523,254 | 4,531,138 | △ 7,884 |
| 物品 | 2,707,439 | 2,572,967 | 134,472 | 未払金 | - | - | - |
| 物品減価償却累計額 | △ 2,143,159 | △ 2,004,448 | △ 138,711 | 未払費用 | - | - | - |
| 無形固定資産 | 7,419 | 5,793 | 1,626 | 前受金 | - | - | - |
| 投資その他の資産 | 28,191,033 | 26,235,997 | 1,955,036 | 前受収益 | - | - | - |
| 流動資産 | 4,609,432 | 4,420,731 | 188,701 | 賞与等引当金 | 348,056 | 337,013 | 11,043 |
| 現金預金 | 840,434 | 741,793 | 98,641 | 預り金 | 485,087 | 431,456 | 53,631 |
| 未収金 | 104,740 | 102,244 | 2,496 | その他 ※3 | 1,255,473 | 1,251,169 | 4,304 |
| 短期貸付金 | 539,582 | 611,399 | △ 71,817 | 負債合計 | 63,804,823 | 66,605,903 | △ 2,801,080 |
| 基金 | 2,069,203 | 1,914,126 | 155,077 | 純資産の部 | | | |
| 棚卸資産 | - | - | - | 純資産合計 | 70,182,104 | 64,088,048 | 6,094,056 |
| その他 ※1 | 1,055,473 | 1,051,169 | 4,304 | | | | |
| 徴収不能引当金 | - | - | - | | | | |
| 資産合計 | 133,986,927 | 130,693,951 | 3,292,976 | 負債及び純資産合計 | 133,986,927 | 130,693,951 | 3,292,976 |

【主な用語の説明】

- ・有形固定資産…庁舎、学校等の事業用資産、道路、公園等のインフラ資産など
- ・無形固定資産…物的な形を持たないソフトウェアなど
- ・投資その他資産…公営企業会計への出資金や財団法人への出捐金、長期貸付金、基金（財政調整基金等を除く）など
- ・流動資産…現金預金、市税や使用料などの未収金、短期貸付金など
- ・固定負債…地方債（1年以内に償還するものを除く）、退職手当引当金（将来発生する退職手当の見込額）など
- ・流動負債…未払金（既に確定している債務のうち、翌年度に支払うもの）、賞与等引当金（賞与など当期に発生する費用に引当てるもの）など
- ・純資産…資産から負債を差し引いたもので、過去の世代や国府が負担した将来返済しなくてもよい財産

※1 流動資産(その他)…主に、病院独法移行前地方債償還金として翌年度返済予定分など

※2 固定負債(その他)…主に、病院独法移行前地方債のうち1年を超える債務など

※3 流動負債(その他)…主に、病院独法移行前地方債償還金(元金分)など

【特徴】

本市ではこれまでに、1,340億円の資産形成をしてきました。このうち、純資産の702億円については、過去から現代の世代や国府の負担で既に支払い済であり、負債の638億円については、将来世代の負担となります。

また、これまでに形成した資産を市民一人当たりで換算すると、134.9万円となり、資産合計のうち固定資産が96.6%を占めています。これらは、主に、庁舎、学校等の事業用資産、道路、公園などのインフラ資産にあたります。

また、資産合計に占める純資産合計の割合から、これまでに現代の世代がどの程度負担したのかを表す純資産比率は、52.4%となっています。

次に、前年度比較からみると、令和6年度末の資産合計は1,340億円で、前年度より33億円増加しました。

これは、建設事業の進捗などによる有形固定資産で11億円、基金の積立てなどの投資その他の資産で20億円、現金預金などの流動資産で2億円、それぞれ増加したことなどによるものです。

一方、将来世代の負担となる負債については、前年度より28億円減少しました。

これは、地方債で13億円、退職手当引当金で3億円、病院独法移行前地方債で13億円、それぞれ減少したことなどによるものです。

こうしたことから、これまでの世代が負担してきた純資産合計は、前年度より61億円の増加となりました。

(2) 行政コスト計算書

PL：行政コスト計算書（対前年度比較）

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

(単位：千円)

会計：一般会計等

| | ①令和6年度 | ②令和5年度 | ①-②差額 |
|--------------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 1. 経常費用 | 57,333,160 | 57,074,543 | 258,617 |
| 業務費用 | 29,448,729 | 30,224,906 | △ 776,177 |
| 人件費 | 7,032,312 | 6,411,099 | 621,213 |
| 物件費等 | 21,851,803 | 22,937,063 | △ 1,085,260 |
| その他 ※1 | 564,614 | 876,744 | △ 312,130 |
| 移転費用 | 27,884,431 | 26,849,637 | 1,034,794 |
| 補助金等 | 14,273,900 | 14,342,755 | △ 68,855 |
| 社会保障給付 | 10,816,600 | 10,126,282 | 690,318 |
| 他会計への繰出金 | 2,742,784 | 2,265,502 | 477,282 |
| その他 ※2 | 51,147 | 115,098 | △ 63,951 |
| 2. 経常収益 | 2,018,089 | 2,166,840 | △ 148,751 |
| 使用料及び手数料 | 778,255 | 775,976 | 2,279 |
| その他 ※3 | 1,239,834 | 1,390,864 | △ 151,030 |
| 3. 純経常行政コスト (1-2) | 55,315,071 | 54,907,703 | 407,368 |
| 4. 臨時損失 | 435,143 | 596,675 | △ 161,532 |
| 5. 臨時利益 | 0 | 0 | 0 |
| 6. 純行政コスト (3+4-5) | 55,750,214 | 55,504,378 | 245,836 |

【主な用語の説明】

- ・業務費用…人件費や物件費(固定資産の維持管理費)、固定資産の減価償却費など
- ・移転費用…市民や他団体に対する補助金や社会保障に係る扶助費など
- ・経常収益…サービスの対価として使用料及び手数料の形態で徴収するものや、財産貸付収入、雑入など

※1 業務費用(その他)…地方債や一時借入金の利子など

※2 移転費用(その他)…公課費(自動車重量税など)、補償補填及び賠償金など

※3 経常収益(その他)…財産貸付収入や雑入など

- ・純経常行政コスト…経常費用から経常収益を差引きしたもので、市税や国府支出金などで賄うべき額
- ・臨時損失…災害復旧に要する経費、資産の売却損など臨時に発生するもの
- ・臨時利益…資産の売却益など臨時に発生するもの
- ・純行政コスト…純資産変動計算書(NW)の純行政コストと一致するもの

【特徴】

令和6年度の経常費用から経常収益を差引きした純経常行政コストは、553億円となっています。また、純経常行政コストから臨時損失と臨時利益の差額を加えた純行政コストは、558億円となり、次の(3)純資産変動計算書(NW)にも記載されていますが、純行政コストを市民一人当たりで換算すると、56.1万円となります。

また、使用料や手数料などの経常収益に対して、1年間の行政サービスを提供するために要した経常費用の割合である受益者負担比率は、3.5%となっています。

次に、前年度比較からみると、令和6年度の純行政コストは、558億円で前年度より2億円の増加となりました。これは、業務費用で物件費等が減少した反面、移転費用で社会保障給付や他会計への繰出金が増加したことなどによります。

業務費用の物件費等の減少は、ふるさと応援寄附金関連経費などの費用で11億円減少となったことによるものであり、移転費用の社会保障給付の増加は、生活保護費等の扶助費が増加したことによるもの、他会計への繰出金の増加は、国民健康保険事業特別会計等への繰出金が増加したことによるものです。(なお、収入のうちふるさと応援寄附金は経常収益ではなく、(3)純資産変動計算書(NW)の財源の税収等に含まれています。)

(3) 純資産変動計算書

NW：純資産変動計算書（対前年度比較）

| 会計：一般会計等 | | 自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日 | | (単位：千円) |
|-----------------------|--------------|---------------------------|-----------|---------|
| | ①令和6年度 | ②令和5年度 | ①-②差額 | |
| 1. 前年度末純資産残高 | 64,088,048 | 59,263,421 | 4,824,627 | |
| 2. 純行政コスト(△) | △ 55,750,214 | △ 55,504,378 | △ 245,836 | |
| 3. 財源 | 61,409,127 | 59,985,055 | 1,424,072 | |
| 税収等 | 46,930,187 | 45,200,732 | 1,729,455 | |
| 国県等補助金 | 14,478,940 | 14,784,323 | △ 305,383 | |
| 4. 本年度差額(2+3) | 5,658,913 | 4,480,677 | 1,178,236 | |
| 5. 資産評価差額 | - | - | - | |
| 6. 無償所管換等 | - | - | - | |
| 7. その他 ※1 | 435,143 | 343,950 | 91,193 | |
| 8. 本年度純資産変動額(4+5+6+7) | 6,094,056 | 4,824,627 | 1,269,429 | |
| 本年度末純資産残高(1+8) | 70,182,104 | 64,088,048 | 6,094,056 | |

【主な用語の説明】

税収等…地方税、国から譲与又は交付される地方譲与税、地方交付税、ふるさと応援寄附金など

資産評価差額…有価証券などの資産の評価差額

無償所管換等…無償で譲渡又は取得した固定資産の評価額など

※1 その他…出資金、固定資産の過年度修正など

◎純行政コストは、行政コスト計算書の純行政コストと一致します。

但し、純資産変動計算書では、純資産の減少要因となりマイナスとして取り扱うため、(△)と表記しています。

【特徴】

令和6年度末の純資産残高(期末)は702億円となっており、前年度末純資産残高(期首)と比較して61億円の増加となっています。

純資産変動計算書は、貸借対照表上「純資産＝資産から負債を差引きしたものが、1年間でどう変動したのかを示すもの」で、令和6年4月1日から令和7年3月31日までに得られた財源(税収、地方交付税、国県等補助金など)から、純行政コストを差引きした本年度差額は57億円となっています。これは、前年度より国県等補助金に含まれる地方創生臨時交付金が減となった反面、税収等に含まれるふるさと応援寄附金が大きく増となったことなどによるものです。

次に、令和6年度の本年度純資産変動額は61億円で、前年度より、13億円増加しています。これは、その他の資産異動で1億円、財源(国県等補助金で3億円減少したものの、税収等で17億円増加)で14億円それぞれ増加した反面、純行政コストで2億円増加したことによるものです。

(4) 資金収支計算書

CF：資金収支計算書（対前年度比較）

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

(単位：千円)

会計：一般会計等

| | ①令和6年度 | ②令和5年度 | ①-②差額 |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 業務支出 | 55,098,452 | 54,825,844 | 272,608 |
| (1) 業務費用支出 | 27,214,022 | 27,976,207 | △ 762,185 |
| 人件費支出 | 7,350,612 | 6,723,824 | 626,788 |
| 物件費等支出 | 19,313,785 | 20,512,613 | △ 1,198,828 |
| 支払利息支出 | 410,848 | 447,770 | △ 36,922 |
| その他の支出 ※1 | 138,777 | 292,000 | △ 153,223 |
| (2) 移転費用支出 | 27,884,430 | 26,849,637 | 1,034,793 |
| 補助金等支出 | 14,273,900 | 14,342,755 | △ 68,855 |
| 社会保障給付支出 | 10,816,600 | 10,126,282 | 690,318 |
| 他会計への繰出支出 | 2,742,784 | 2,265,502 | 477,282 |
| その他の支出 ※2 | 51,146 | 115,098 | △ 63,952 |
| 2. 業務収入 | 62,425,676 | 61,421,338 | 1,004,338 |
| (1) 税込等収入 | 46,917,808 | 45,244,667 | 1,673,141 |
| (2) 国県等補助金収入 | 13,489,780 | 14,009,831 | △ 520,051 |
| (3) 使用料及び手数料収入 | 778,255 | 775,976 | 2,279 |
| (4) その他の収入 ※3 | 1,239,833 | 1,390,864 | △ 151,031 |
| 3. 臨時支出 | - | 252,725 | △ 252,725 |
| 4. 臨時収入 | - | - | - |
| A. 業務活動収支 (2+4) - (1+3) | 7,327,224 | 6,342,769 | 984,455 |
| 1. 投資活動支出 | 29,800,581 | 23,049,110 | 6,751,471 |
| (1) 公共施設等整備費支出 | 3,687,256 | 3,388,590 | 298,666 |
| (2) 基金積立金支出 | 23,073,101 | 18,296,070 | 4,777,031 |
| (3) 投資及び出資金支出 | 107,964 | 127,670 | △ 19,706 |
| (4) 貸付金支出 | 2,932,260 | 1,236,780 | 1,695,480 |
| (5) その他の支出 | - | - | - |
| 2. 投資活動収入 | 25,054,778 | 19,607,977 | 5,446,801 |
| (1) 国県等補助金収入 | 989,160 | 774,492 | 214,668 |
| (2) 基金取崩収入 | 20,776,450 | 16,358,764 | 4,417,686 |
| (3) 貸付金元金回収収入 | 3,289,168 | 2,474,721 | 814,447 |
| (4) 資産売却収入 | - | - | - |
| (5) その他の収入 | - | - | - |
| B. 投資活動収支 (2-1) | △ 4,745,803 | △ 3,441,133 | △ 1,304,670 |
| 1. 財務活動支出 | 5,782,110 | 5,989,206 | △ 207,096 |
| (1) 地方債償還支出 | 5,582,110 | 5,789,206 | △ 207,096 |
| (2) その他の支出 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| 2. 財務活動収入 | 3,245,700 | 2,895,600 | 350,100 |
| (1) 地方債発行収入 | 3,245,700 | 2,895,600 | 350,100 |
| (2) その他の収入 | - | - | 0 |
| C. 財務活動収支 (2-1) | △ 2,536,410 | △ 3,093,606 | 557,196 |
| D. 本年度資金収支額 (A+B+C) | 45,011 | △ 191,970 | 236,981 |
| E. 前年度未資金残高 | 310,337 | 502,307 | △ 191,970 |
| F. 本年度未資金残高 (D+E) | 355,348 | 310,337 | 45,011 |
| G. 前年度未歳計外現金残高 | 431,456 | 460,244 | △ 28,788 |
| H. 本年度歳計外現金増減額 | 53,630 | △ 28,788 | 82,418 |
| I. 本年度未歳計外現金残高 (G+H) | 485,086 | 431,456 | 53,630 |
| 本年度未現金預金残高 (F+I) | 840,434 | 741,793 | 98,641 |

【主な用語の説明】

- ・業務活動収支…行政サービスを行う中で、毎年度継続的に生じる収入と支出の差額
- ・投資活動収支…公共施設や道路整備、基金などの資産形成に係る収入と支出の差額
- ・財務活動収支…資金の借入やその返済などに関する収入と支出の差額

※1 業務費用(その他)…市税の還付金、国府補助金の返還など

※2 移転費用(その他)…公課費(自動車重量税など)、補償補填及び賠償金など

※3 業務収入(その他)…財産貸付収入や雑入など

【特徴】

投資活動及び財務活動以外のキャッシュ・フローである業務活動収支は、73 億円、固定資産の取得や処分、基金の積立や取崩しなどに係るキャッシュ・フローである投資活動収支は、△47 億円、地方債の発行や償還などに係るキャッシュ・フローである財務活動収支は、△25 億円となっています。

また、業務・投資活動収支は、52 億 8,900 万円の黒字【業務活動収支(支払利息支出を除く) + 投資活動収支(基金積立金、基金取崩収入を除く)】となっています。

次に、前年度比較からみると、令和 6 年度の本年度資金収支額は 5 千万円で、前年度より 2 億 4 千万円の増加となっています。

6. 主な財務指標の説明について

(1) 資産形成度(公共施設などの資産状況)

- ・歳入額対資産比率【単位：年】

⇒これまでに形成された資産が、歳入の何年分に相当するかを表したもの

- ・有形固定資産減価償却率【単位：％】

⇒有形固定資産の耐用年数に対し、どのくらい時期が経過しているかを表したもの

(2) 世代間公平性(将来世代と現役世代との負担分担)

- ・純資産比率【単位：％】

⇒総資産に占める純資産の割合で、純資産は過去から現代の世代が既に負担したもので、負債は将来世代の負担となるもの

- ・将来世代負担比率(社会資本等形成の世代間負担比率)【単位：％】

⇒有形・無形固定資産のうち、将来の返済などが必要な地方債による形成割合を表したもの

(3) 持続可能性(財政の健全性)

- ・業務・投資活動収支【単位：百万円】

⇒行政活動に係る経費を地方債の償還や発行を除き、歳入歳出のバランスを表したもの

(4) 自律性

- ・受益者負担比率【単位：％】

⇒1年間の行政サービスを提供するために要した経常的な費用のうち、使用料や手数料などの受益者負担によって賄われている割合を表したもの

(5) 市民一人当たりの指標【単位：万円】

- ・市民一人当たりの資産、市民一人当たりの負債、市民一人当たりの行政コスト

⇒市民一人当たりで表すことで、人口規模の違う他団体との比較や分析に活用

7. 年度別の主な財務指標一覧

一般会計等

| | 指標名 | 計算式 | R6年度 | R5年度 |
|----------|-------------------------------|--|----------------|----------------|
| 資産形成度 | 歳入額対資産比率 | 【BS:資産合計÷CF:歳入総額(業務収入+臨時収入+投資活動収入+財務活動収入+前年度未資金残高)】 | (年) 1.5 | (年) 1.5 |
| | 有形固定資産減価償却率 | 【BS:減価償却累積額÷(BS:有形固定資産合計-土地等の非償却資産+減価償却累積額)】 | (%) 58.6 | (%) 58.3 |
| 世代間公平性 | 純資産比率 | 【BS:純資産合計÷BS:資産合計】 | (%) 52.4 | (%) 49.0 |
| | 将来世代負担比率 (社会資本等形成の世代間負担比率) | 【(BS:地方債等+1年内償還予定地方債)-特例地方債(臨時財政対策債、減税補てん債等)÷BS:有形固定資産+無形固定資産】 | (%) 41.8 | (%) 42.4 |
| 持(健全可能性) | 業務・投資活動収支 | 【CF:業務活動収支(支払利息支出を除く)+投資活動収支(基金積立金、基金取崩収入を除く)】 | (百万円) 5,289 | (百万円) 5,287 |
| 自律性 | 受益者負担比率 | 【PL:経常収益÷PL:経常費用】 | (%) 3.5 | (%) 3.8 |
| 市民一人当たり | 市民一人当たりの資産 | 【BS:資産合計÷住民基本台帳人口(各年度とも1月1日時点)】 | (万円) 134.9 | (万円) 132.0 |
| | 市民一人当たりの負債 | 【BS:負債合計÷住民基本台帳人口(各年度とも1月1日時点)】 | (万円) 64.2 | (万円) 67.3 |
| | 市民一人当たりの行政コスト | 【PL:純行政コスト÷住民基本台帳人口(各年度とも1月1日時点)】 | (万円) 56.1 | (万円) 56.0 |

【特徴】

◇歳入額対資産比率…これまでに形成されたストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するかを表すもので、資産形成の度合いを測ることができます。

府内平均（※1）は2.5年、類似団体平均（※2）は2.9年となっており、本市は1.5年となっており、数値が大きいほど歳入規模に対して資産を多く保有していることとなりますが、その分維持管理コストもかかっていることになるため、良し悪しの判断は難しいとされています。なお、本市は歳入に占めるふるさと寄附収入の割合が高いことも影響していると考えられます。

※1 府内平均…総務省が公表している最新の「令和5年度全市区町村の公会計指標」をもとに、政令指定都市、中核市、特例市を除いた平均値

※2 類似団体平均…総務省が公表している最新の「令和5年度全市区町村の公会計指標」をもとにした類似団体「都市Ⅲ-3」の平均値

◇有形固定資産減価償却率…償却資産の取得価額等に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することができます。数値が大きいほど施設の老朽化が進んでいることとなります。

府内平均は66.4%、類似団体平均は64.9%に対し、本市は58.6%で下回っていますが、前年度からは上昇しており、施設の老朽化が進みつつあると考えられます。

◇純資産比率…純資産の変動は、将来世代と現世代との負担割合が変動したことを意味するもので、純資産の減少は、現世代が将来世代にとっても利用可能であった資源を費消し、将来世代に負担が先送りされたことを意味し、逆に、純資産の増加は、現世代が自ら負担によって将来世代も利用可能な資源を蓄積したことを意味すると考えられます。

府内平均は64.8%、類似団体平均は72.5%となっており、本市は52.4%ですので、将来世代への負担が高い傾向にあると考えられます。

◇将来世代負担比率…社会資本等について将来の償還等が必要な負債による形成割合を算出することにより、社会資本等形成に係る将来世代の負担の比重を把握することができます。

府内平均は19.7%、類似団体平均は16.1%となっており、本市は41.8%ですので、将来世代の負担の比重が高いと考えられます。

◇業務・投資活動収支…は、資金収支計算書（キャッシュ・フロー）上の業務活動収支（支払利息支出を除く。）及び投資活動収支（基金積立金、基金取崩収入を除く）の合計額を算出することにより、地方債等の元利償還額を除いた歳出と、地方債等発行収入を除いた歳入のバランスを示す指標となります。

府内平均は1,433百万円、類似団体平均は1,713百万円となっており、本市は5,289百万円ですが、これは、ふるさと応援寄附金が他団体より高い収入となっていることが要因

であり、今後も分析が必要であると考えられます。

※令和6年度決算から、従来の「基礎的財政収支（プライマリーバランス）」を「業務・投資活動収支」に名称変更した。

◇受益者負担比率…行政コスト計算書の経常収益は、使用料及び手数料など行政サービスに係る受益者負担の金額ですので、これを経常費用と比較することにより、行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を算出することができます。また、地方公共団体の行政サービス全体の受益者負担の割合を経年比較したりすることにより、受益者負担の特徴を把握することができます。

府内平均は3.4%、類似団体平均は4.1%となっており、本市は3.5%ですので、受益者負担の割合が、府内団体よりやや高く、類似団体よりやや低い水準となっています。

◇市民一人当たりの資産…資産額を住民基本台帳人口で割って、住民一人当たり資産額で他団体との比較が容易にできます。

府内平均は125万6千円、類似団体平均は138万6千円となっており、本市は134万9千円ですので、府内団体よりやや高く、類似団体よりやや低い水準となっています。

◇市民一人当たりの負債…負債額を住民基本台帳人口で割って、住民一人当たり負債額で他団体との比較が容易にできます。

府内平均は42万6千円、類似団体平均は35万8千円となっており、本市は64万2千円ですので、府内団体の1.5倍、類似団体の1.8倍となっています。

◇市民一人当たりの行政コスト…行政コスト計算書で算出される行政コストを住民基本台帳人口で割って、住民一人当たり行政コストとすることにより、地方公共団体の行政活動の効率性を測定することができ、当該団体の効率性の度合いを評価することができます。

府内平均は41万2千円、類似団体平均は38万8千円、本市は56万1千円となっていますが、ふるさと応援寄附金関連経費の割合が高いことから、単純に他団体との比較は難しいものとなっています。